

令和 8 年度 中学部 1年 (Ⅱ課程A) 国語科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	中学部1年Ⅱ課程-A		こくご☆☆、こくご☆☆☆、 こくご1~3 各種絵本、動画、画像、新聞

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 日常生活や社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができる。 (中1段階) (思判表力) 順序だてて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができる。(中1段階) (学・人) 言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合ったりしようとする事ができる。(中1段階)
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	5	(知及技) 発音や声の大きさに気を付けて話すことができる。(中1段階ア(イ)) (思判表力) 自己紹介について、内容が伝わるように伝える順番を考えることができる。(中1段階A工) (学・人) 伝えたいことを決め、相手に伝えようとする態度を養う。(中1段階)	(知・技) 発音や声の大きさに気を付けて話している。 (思・判・表) 自己紹介について、内容が伝わるように伝える順番を考えている。 (主学) 伝えたいことを決め、相手に伝えようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	「学校生活」 ・自己紹介をしよう ・自分のことを書こう	・プリントを用いて、自己紹介文を作成する。 ・自分が好きな食べ物や、好きなことについて書いたり、選んだりする。 ・書いた内容を、みんなの前で発表する。
	8	(知及技) 長音、拗音、促音、撥音、助詞の正しい読み方や書き方を理解することができる。(中1段階ア(ウ)) (思判表力) 体験したことの中から、伝えたいこと柄を選び、日記を書くことができる。(中1段階Bア) (学・人) 自分の気持ちを表現する良さに気づき、自分の思いを伝えようとする態度を養う。(中1段階)	(知・技) 長音、拗音、促音、撥音、助詞の正しい読み方や書き方を理解しようとしている。 (思・判・表) 体験したことの中から、伝えたいこと柄を選び、日記を書いている。 (主学) 自分の気持ちを表現する良さに気づき、自分の思いを伝えようとしている。 【評価資料】 活動の様子や学習プリントで評価する。	「文字を学ぼう」 ・ひらがな、カタカナ、漢字の正確な読み書き ・季節に応じた表現を学ぼう ・ゴールデンウィークの思い出作文	・見本を示し正確な形を意識し、丁寧に書写する。 ・連休であった出来事の中から話題の一つ決め、5W1Hに合わせて思い出作文を書くことができる。
	6	(知及技) 自然や季節の言葉を取り入れた俳句などを聞いたり作ったりして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(中1段階ウ(ア)) (思判表力) 俳句の情景を想像することができる。(中1段階Cア) (学・人) 感じたことや読み取ったことを伝え合おうとする態度を養う。(中1段階)	(知・技) 自然や季節の言葉を取り入れた俳句などを聞いたり作ったりして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思・判・表) 俳句の音読から情景を想像している。 (主学) 好きな俳句を音読し、暗唱しようとしている。 【評価資料】 活動の様子や学習プリントで評価する。	「俳句」 ・リズムよく音読しよう ・五感を使って想像しよう	・NHK「にほんごであそぼ」にある俳句動画を視聴する。 ・教科書を音読し、五七五の言葉のリズムに慣れる。 ・季語から、どの季節か考える。 ・好きな俳句の暗唱に挑戦する。
	7	(知及技) 挨拶状などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現があることを知ることができる。(中1段階ウ(イ)) (思判表力) 文の構成、語句の使い方に気を付けて書くことができる。(中1段階Bウ) (学・人) 暑中見舞いの作成や書くことに意欲的に取り組む態度を養う。(中1段階)	(知・技) 挨拶状などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現をすることができる。 (思・判・表) 文の構成、語句の使い方に気を付けて書くことができる。 (主学) 暑中見舞いの作成や書くことに意欲的に取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子や暑中見舞いで評価する。	「手紙を書こう」 ・暑中見舞いの作成	・基本的な葉書の書き方を動画などで学ぶ。 ・送る相手を決め、相手や自分の氏名や住所など情報を集める。 ・下書きをする。 ・暑中見舞いを仕上げる。
	10	(知及技) 主語と述語の関係や接続する語句の役割を理解することができる。(中1段階ア(オ)) (思判表力) 経験したことの中から、伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめることができる。(中1段階Aウ) (学・人) 新聞を読んだ感想を伝え合う態度を養う。(中1段階)	(知・技) 主語と述語の関係や接続する語句の役割を理解しようとしている。 (思・判・表) 経験したことの中から、伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめようとしている。 (主学) 新聞を読んだ感想を伝え合うことができる。 【評価資料】 活動の様子や夏休み新聞で評価する。	「文を書こう」 ・夏休み新聞の作成 ・運動会新聞の作成	・新聞を書くことを決める。 ・詳しく思い出しメモを取る。 ・新聞を書く順番を考える。 ・自分の気持ちを書く。 ・下書きを行う。 ・書いた文章を読み返し、間違いがあったら正しく直す。 ・新聞を仕上げる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
2 学期	5	(知及技) 読書に親しみ、簡単な物語や、自然や季節などの美しさを表した詩や紀行文などがあることを知ることができる。(中1段階ウ(ア)) (思判表力) 文章を読んで分かったことを伝えたり、感想をもったりすることができる。(中1段階C工) (学・人) 気に入った本について進んで紹介したり読み聞かせしたりすることができる。(中1段階)	(知・技) 学校図書館にある本の種類に触れ、内容に応じて分類分けすることができる。 (思・判・表) 本を見たり読んだりしながら本の特徴を感じ取り、説明することができる。 (主学) 気に入った本や種類について進んで紹介している。 【評価資料】 活動の様子や学習プリントで評価する。	「本に親しまおう」 ・読書に親しむ ・さまざまな種類の本を読む ・本の種類を分けよう	・図書館でたくさん本の種類について司書から聞く。 ・いろいろな種類の本を読む。 ・物語、詩、紀行文、図鑑、伝記などの分類分けをする。 ・自分が気に入った本や興味をもった本を紹介する。
	5	(知及技) 読書に親しみ、簡単な物語や、自然や季節などの美しさを表した詩や紀行文などがあることを知ることができる。(中1段階ウ(ア)) (思判表力) 簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。(中1段階Cア) (学・人) 物語に興味をもち、自分で読んだり気に入った文を覚えたりすることができる。(中1段階)	(知・技) 小学生に親しまれる絵本を選び、絵本の中から読み聞かせに必要な材料を見つけることができる。 (思・判・表) 簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像し、セリフを考えることができる。 (主学) 読み聞かせに参加し、担当するセリフを覚えようとしている。 【評価資料】 活動の様子や学習プリントで評価する。	「読書を楽しもう」 ・ペーパーサートを作り読み聞かせ体験をしよう	・絵本を一冊選び、その絵本のペーパーサートを作る。 ・小学部へ読み聞かせをしに行く。
	6	(知及技) 挨拶状などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現があることを知ることができる。(中1段階ウ(イ)) (思判表力) 伝えたいことを大まかにまとめ、文章を読み返して間違いを直すことができる。(中1段階B工) (学・人) 手紙を書くことで、日常生活を充実させたり人間関係の形成を図ったりしようとする態度を養う。(中1段階)	(知・技) 年賀状の基本的な書き方を理解している。 (思・判・表) 伝えたいことを大まかにまとめ、文章を読み返して間違いを直すことができる。 (主学) 年賀状の作成を通して、相手を気遣う気持ちを表そうとしている。 【評価資料】 活動の様子や年賀状で評価する。	「季節の手紙を書こう」 ・年賀状の作成 ・干支に関連した読み聞かせ	・年賀状の決まりについて動画を見て学ぶ。 ・干支の確認をする。 ・年賀状に使う言葉や表現を確認する。 ・はがきを書く内容を決め、年賀状を仕上げる。 ・年賀状の見直しをする。
3 学期	6	(知及技) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら、丁寧に書くことができる。(中1段階ウ(ウ)②) (思判表力) 書いた文字を丁寧に読み返し、間違いを直すことができる。(中1段階B工) (学・人) 書くことを通して思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(中1段階)	(知・技) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら、丁寧に書いている。 (思・判・表) 書いた文字を丁寧に読み返し、間違いを正している。 (主学) 書くことを通して思いや考えを伝え合おうとしている。 【評価資料】 活動の様子や学習プリントで評価する。	「色々な筆記具で書く」 ・書道に親しまう ・筆ペンに親しまう	・習字を書くときの姿勢を知る。 ・使う道具の名前を覚える。 ・見本の本を見ながら書く。 ・作品をつつ完成させる。 ・展示会を開き、お互いに良いところを伝え合う。
	6	(知及技) 身の回りにあるローマ字について知ることができる。(中1段階ア(ウ)) (思判表力) 簡単な単語について、ローマ字で書いたり読んだりすることができる。(中1段階Cウ) (学・人) 身の回りにあるローマ字について関心を持ち、活用しようとする態度を養う。(中1段階)	(知・技) 身の回りにローマ字が使われていることを理解している。 (思・判・表) 簡単な単語について、ローマ字で書いたり読んだりしている。 (主学) 身の回りにあるローマ字表記について関心を持つようとしている。 【評価資料】 活動の様子や学習プリントで評価する。	「ローマ字」 ・自分の名前をローマ字で書く ・ローマ字入力に挑戦しよう	・日常で使われている簡単な単語について、ローマ字を読んだり、書いたりする。 ・PCやタブレットを使って、ローマ字で入力する。
	6	(知及技) 主語や述語など語句の役割を理解して文を構成し、発音や声の大きさに気を付けて話すことができる。(中1段階ア(イ)(オ)) (思判表力) 伝えたいことを決め発表をするとともに、聞いた話を書き留めたりして話の大体を捉えることができる。(中1段階AアCイ) (学・人) 自分の思いや考えを相手にわかりやすく伝えようとする態度を養う。(中1段階)	(知・技) 主語や述語など語句の役割を理解して文を構成し、発音や声の大きさに気を付けて話している。 (思・判・表) 伝えたいことを決め発表をするとともに、聞いた話を書き留めたりして話の大体を捉えている。 (主学) 自分の思いや考えを相手にわかりやすく伝えようとしている。 【評価資料】 活動の様子や学習プリントで評価する。	「テーマを決めて話そう」 ・一年間の振り返り ・先輩へのエール ・後輩へのエール	・テーマを決める。 ・伝えたいことを簡条書きで書き出す。 ・主語、述語を意識しながら文章を組み立てる。 ・文字や表現の間違いがないか見直しをする。 ・発表練習をする。 ・皆に聞こえる声の大きさを意識して発表する。 ・相手の発表を聞きながら、わかったことや印象に残った言葉をメモ用紙に書き留める。 ・発表の感想を伝え合う。
留意点 引継ぎ等		○年間を通して、授業の初めに五十音の歌唱や読み聞かせを取り入れ、文字や言葉、物語に触れる学習活動を継続する。 ○五十音やカレンダーの読み方や見方を毎時間確認する。 ○学校行事や学部行事との関連性を図ったりしながら、教科の視点で指導および評価する。			

令和 8 年度 中学部 2 年 (Ⅱ課程A) 国語科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	中学部 2 年Ⅱ課程 - A		こくご☆☆、こくご☆☆☆、 こくご1~3 各種絵本、動画、画像、新聞

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 日常生活や社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができる。 (中1段階) (思判表力) 順序だてて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができる。(中1段階) (学・人) 言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合ったりしようとする事ができる。(中1段階)
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	5	(知及技) 発音や声の大きさに気を付けて話すことができる。(中1段階ア(イ)) (思判表力) 自己紹介について、内容が伝わるように伝える順番を考えることができる。(中1段階A工) (学・人) 伝えたいことを決め、相手に伝えようとする態度を養う。(中1段階)	(知・技) 発音や声の大きさに気を付けて話している。 (思・判・表) 自己紹介について、内容が伝わるように伝える順番を考えている。 (主学) 伝えたいことを決め、相手に伝えようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	「学校生活」 ・自己紹介をしよう ・自分のことを書こう	・プリントを用いて、自己紹介文を作成する。 ・自分が好きな食べ物や、好きなことについて書いたり、選んだりする。 ・書いた内容を、みんなの前で発表する。
	8	(知及技) 長音、拗音、促音、撥音、助詞の正しい読み方や書き方を理解することができる。(中1段階ア(ウ)) (思判表力) 体験したことの中から、伝えたいこと柄を選び、日記を書くことができる。(中1段階Bア) (学・人) 自分の気持ちを表現する良さに気づき、自分の思いを伝えようとする態度を養う。(中1段階)	(知・技) 長音、拗音、促音、撥音、助詞の正しい読み方や書き方を理解しようとしている。 (思・判・表) 体験したことの中から、伝えたいこと柄を選び、日記を書いている。 (主学) 自分の気持ちを表現する良さに気づき、自分の思いを伝えようとしている。 【評価資料】 活動の様子や学習プリントで評価する。	「文字を学ぼう」 ・ひらがな、カタカナ、漢字の正確な読み書き ・季節に応じた表現を学ぼう ・ゴールデンウィークの思い出作文	・見本を示し正確な形を意識し、丁寧に書写する。 ・連休であった出来事の中から話題を一つ決め、5W1Hに合わせて思い出作文を書くことができる。
	6	(知及技) 自然や季節の言葉を取り入れた俳句などを聞いたり作ったりして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(中1段階ウ(ア)) (思判表力) 俳句の情景を想像することができる。(中1段階Cア) (学・人) 感じたことや読み取ったことを伝え合おうとする態度を養う。(中1段階)	(知・技) 自然や季節の言葉を取り入れた俳句などを聞いたり作ったりして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思・判・表) 俳句の音読から情景を想像している。 (主学) 好きな俳句を音読し、暗唱しようとしている。 【評価資料】 活動の様子や学習プリントで評価する。	「俳句」 ・リズムよく音読しよう ・五感を使って想像しよう	・NHK「にほんごであそぼ」にある俳句動画を視聴する。 ・教科書を音読し、五七五の言葉のリズムに慣れる。 ・季節から、どの季節か考える。 ・好きな俳句の暗唱に挑戦する。
	7	(知及技) 挨拶状などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現があることを知ることができる。(中1段階ウ(イ)) (思判表力) 文の構成、語句の使い方に気を付けて書くことができる。(中1段階Bウ) (学・人) 暑中見舞いの作成や書くことに意欲的に取り組む態度を養う。(中1段階)	(知・技) 挨拶状などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現をすることができる。 (思・判・表) 文の構成、語句の使い方に気を付けて書くことができる。 (主学) 暑中見舞いの作成や書くことに意欲的に取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子や暑中見舞いで評価する。	「手紙を書く」 ・暑中見舞いの作成	・基本的な葉書の書き方を動画などで学ぶ。 ・送る相手を決め、相手や自分の氏名や住所など情報を集める。 ・下書きをする。 ・暑中見舞いを仕上げる。
	10	(知及技) 主語と述語の関係や接続する語句の役割を理解することができる。(中1段階ア(オ)) (思判表力) 経験したことの中から、伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめることができる。(中1段階Aウ) (学・人) 新聞を読んだ感想を伝え合う態度を養う。(中1段階)	(知・技) 主語と述語の関係や接続する語句の役割を理解しようとしている。 (思・判・表) 経験したことの中から、伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめることができる。 (主学) 新聞を読んだ感想を伝え合うことができる。 【評価資料】 活動の様子や夏休み新聞で評価する。	「文を書く」 ・夏休み新聞の作成 ・運動会新聞の作成	・新聞を書くことを決める。 ・詳しく思い出しメモを取る。 ・新聞を書く順番を考える。 ・自分の気持ちを書く。 ・下書きを行う。 ・書いた文章を読み返し、間違いがあったら正しく直す。 ・新聞を仕上げる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
2 学期	5	(知及技) 読書に親しみ、簡単な物語や、自然や季節などの美しさを表した詩や紀行文などがあることを知ることができる。(中1段階ウ(ア)) (思判表力) 文章を読んで分かったことを伝えたり、感想をもったりすることができる。(中1段階C工) (学・人) 気に入った本について進んで紹介したり読み聞かせたりすることができる。(中1段階)	(知・技) 学校図書館にある本の種類に触れ、内容に応じて分類分けすることができる。 (思・判・表) 本を見たり読んだりしながら本の特徴を感じ取り、説明することができる。 (主学) 気に入った本や種類について進んで紹介している。 【評価資料】 活動の様子や学習プリントで評価する。	「本に親しもう」 ・読書に親しむ ・さまざまな種類の本を読む ・本の種類を分けよう	・図書館でたくさん本の種類について司書から聞く。 ・いろいろな種類の本を読む。 ・物語、詩、紀行文、図鑑、伝記などの分類分けをする。 ・自分が気に入った本や興味をもった本を紹介する。
	5	(知及技) 読書に親しみ、簡単な物語や、自然や季節などの美しさを表した詩や紀行文などがあることを知ることができる。(中1段階ウ(ア)) (思判表力) 簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。(中1段階Cア) (学・人) 物語に興味をもち、自分で読んだり気に入った文を覚えたりすることができる。(中1段階)	(知・技) 小学生に親しまれる絵本を選び、絵本の中から読み聞かせに必要な材料を見つけることができる。 (思・判・表) 簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像し、セリフを考えることができる。 (主学) 読み聞かせに参加し、担当するセリフを覚えようとしている。 【評価資料】 活動の様子や学習プリントで評価する。	「読書を楽しもう」 ・ペープサートを作り読み聞かせ体験しよう	・絵本を一冊選び、その絵本のペープサートを作る。 ・小学部へ読み聞かせをしに行く。
	6	(知及技) 挨拶状などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現があることを知ることができる。(中1段階ウ(イ)) (思判表力) 伝えたいことを大まかにまとめ、文章を読み返して間違いを正すことができる。(中1段階B工) (学・人) 手紙を書くことで、日常生活を充実させたり人間関係の形成を図ったりしようとする態度を養う。(中1段階)	(知・技) 年賀状の基本的な書き方を理解している。 (思・判・表) 伝えたいことを大まかにまとめ、文章を読み返して間違いを正すことができる。 (主学) 年賀状の作成を通して、相手を気遣う気持ちを表そうとしている。 【評価資料】 活動の様子や年賀状で評価する。	「季節の手紙を書こう」 ・年賀状の作成 ・干支に関連した読み聞かせ	・年賀状の決まりについて動画を見て学ぶ。 ・干支の確認をする。 ・年賀状に使う言葉や表現を確認する。 ・はがきを書く内容を決め、年賀状を仕上げる。 ・年賀状の見直しをする。
3 学期	6	(知及技) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら、丁寧に書くことができる。(中1段階ウ(ウ)㉔) (思判表力) 書いた文字を丁寧に読み返し、間違いを正すことができる。(中1段階B工) (学・人) 書くことを通して思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(中1段階)	(知・技) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら、丁寧に書いている。 (思・判・表) 書いた文字を丁寧に読み返し、間違いを正している。 (主学) 書くことを通して思いや考えを伝え合おうとしている。 【評価資料】 活動の様子や学習プリントで評価する。	「色々な筆記具で書く」 ・書道に親しもう ・筆ペンに親しもう	・習字を書くときの姿勢を知る。 ・使う道具の名前を覚える。 ・見本の字を見ながら書く。 ・作品をつつ完成させる。 ・展示会を開き、お互いに良いところを伝え合う。
	6	(知及技) 身の回りにあるローマ字について知ることができる。(中1段階ア(ウ)) (思判表力) 簡単な単語について、ローマ字で書いたり読んだりすることができる。(中1段階Cウ) (学・人) 身の回りにあるローマ字について関心を持ち、活用しようとする態度を養う。(中1段階)	(知・技) 身の回りにはローマ字が使われていることを理解している。 (思・判・表) 簡単な単語について、ローマ字で書いたり読んだりしている。 (主学)身の回りにはローマ字表記について関心を持つようとしている。 【評価資料】 活動の様子や学習プリントで評価する。	「ローマ字」 ・自分の名前をローマ字で書こう ・ローマ字入力に挑戦しよう	・日常で使われている簡単な単語について、ローマ字を読んだり、書いたりする。 ・PCやタブレットを使って、ローマ字で入力する。
	6	(知及技) 主語や述語など語句の役割を理解して文を構成し、発音や声の大きさに気を付けて話すことができる。(中1段階ア(イ)(オ)) (思判表力) 伝えたいことを決め発表するとともに、聞いた話を書き留めたりして話の大体を捉えることができる。(中1段階AアCイ) (学・人) 自分の思いや考えを相手にわかりやすく伝えようとする態度を養う。(中1段階)	(知・技) 主語や述語など語句の役割を理解して文を構成し、発音や声の大きさに気を付けて話している。 (思・判・表) 伝えたいことを決め発表するとともに、聞いた話を書き留めたりして話の大体を捉えている。 (主学) 自分の思いや考えを相手にわかりやすく伝えようとしている。 【評価資料】 活動の様子や学習プリントで評価する。	「テーマを決めて話そう」 ・一年間の振り返り ・先輩へのエール ・後輩へのエール	・テーマを決める。 ・伝えたいことを簡条書きで書き出す。 ・一年間の振り返り ・主語、述語を意識しながら文章を組み立てる。 ・文字や表現の間違いがないか見直しをする。 ・発表練習をする。 ・皆に聞こえる声の大きさを意識して発表する。 ・相手の発表を聞きながら、わかったことや印象に残った言葉をメモ用紙に書き留める。 ・発表の感想を伝え合う。
留意点 引継ぎ等		○年間を通して、授業の初めに五十音の歌唱や読み聞かせを取り入れ、文字や言葉、物語に触れる学習活動を継続する。 ○五十音やカレンダーの読み方や見方を毎時間確認する。 ○学校行事や学部行事との関連性を図ったりしながら、教科の視点で指導および評価する。			

令和 8 年度 中学部 3 年 (Ⅱ課程A) 国語科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	中学部3年Ⅱ課程-A		こくご☆☆、こくご☆☆☆、 こくご1~3 各種絵本、動画、画像、新聞

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 日常生活や社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができる。 (中1段階) (思判表力) 順序だてて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができる。(中1段階) (学・人) 言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合ったりしようすることができる。(中1段階)
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	5	(知及技) 発音や声の大きさに気を付けて話すことができる。(中1段階A(イ)) (思判表力) 自己紹介について、内容が伝わるように伝える順番を考えることができる。(中1段階A工) (学・人) 伝えたいことを決め、相手に伝えようとする態度を養う。(中1段階)	(知・技) 発音や声の大きさに気を付けて話している。 (思・判・表) 自己紹介について、内容が伝わるように伝える順番を考えている。 (主学) 伝えたいことを決め、相手に伝えようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	「学校生活」 ・自己紹介をしよう ・自分のことを書こう	・プリントを用いて、自己紹介文を作成する。 ・自分が好きな食べ物や、好きなことについて書いて、選んだりする。 ・書いた内容を、みんなの前で発表する。
	8	(知及技) 長音、拗音、促音、撥音、助詞の正しい読み方や書き方を理解することができる。(中1段階A(ウ)) (思判表力) 体験したことの中から、伝えたいこと柄を選び、日記を書くことができる。(中1段階Bア) (学・人) 自分の気持ちを表現する良さに気づき、自分の思いを伝えようとする態度を養う。(中1段階)	(知・技) 長音、拗音、促音、撥音、助詞の正しい読み方や書き方を理解しようとしている。 (思・判・表) 体験したことの中から、伝えたいこと柄を選び、日記を書いている。 (主学) 自分の気持ちを表現する良さに気づき、自分の思いを伝えようとしている。 【評価資料】 活動の様子や学習プリントで評価する。	「文字を学ぼう」 ・ひらがな、カタカナ、漢字の正確な読み書き ・季節に応じた表現を学ぼう ・ゴールデンウィークの思い出作文	・見本を示し正確な形を意識し、丁寧に書写する。 ・連休であった出来事の中から話題を一つ決め、5W1Hに合わせて思い出作文を書くことができる。
	6	(知及技) 自然や季節の言葉を取り入れた俳句などを聞いたり作ったりして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(中1段階ウ(ア)) (思判表力) 俳句の情景を想像することができる。(中1段階Cア) (学・人) 感じたことや読み取ったことを伝え合おうとする態度を養う。(中1段階)	(知・技) 自然や季節の言葉を取り入れた俳句などを聞いたり作ったりして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思・判・表) 俳句の音読から情景を想像している。 (主学) 好きな俳句を音読し、暗唱しようとしている。 【評価資料】 活動の様子や学習プリントで評価する。	「俳句」 ・リズムよく音読しよう ・五感を使って想像しよう	・NHK「にほんごであそぼ」にある俳句動画を視聴する。 ・教科書を音読し、五七五の言葉のリズムに慣れる。 ・季節から、どの季節か考える。 ・好きな俳句の暗唱に挑戦する。
	7	(知及技) 挨拶状などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現があることを知ることができる。(中1段階ウ(イ)) (思判表力) 文の構成、語句の使い方に気を付けて書くことができる。(中1段階Bウ) (学・人) 暑中見舞いの作成や書くことに意欲的に取り組む態度を養う。(中1段階)	(知・技) 挨拶状などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現をすることができる。 (思・判・表) 文の構成、語句の使い方に気を付けて書くことができる。 (主学) 暑中見舞いの作成や書くことに意欲的に取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子や暑中見舞いで評価する。	「手紙を書く」 ・暑中見舞いの作成	・基本的な葉書の書き方を動画などで学ぶ。 ・送る相手を決め、相手や自分の氏名や住所など情報を集める。 ・下書きをする。 ・暑中見舞いを仕上げる。
	10	(知及技) 主語と述語の関係や接続する語句の役割を理解することができる。(中1段階A(オ)) (思判表力) 経験したことの中から、伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめることができる。(中1段階Aウ) (学・人) 新聞を読んだ感想を伝え合う態度を養う。(中1段階)	(知・技) 主語と述語の関係や接続する語句の役割を理解しようとしている。 (思・判・表) 経験したことの中から、伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめるようとしている。 (主学) 新聞を読んだ感想を伝え合うことができる。 【評価資料】 活動の様子や夏休み新聞で評価する。	「文を書く」 ・夏休み新聞の作成 ・運動会新聞の作成	・新聞に書くことを決める。 ・詳しく思い出しメモを取る。 ・新聞に書く順番を考える。 ・自分の気持ちを書く。 ・下書きを行う。 ・書いた文章を読み返し、間違いがあったら正しく直す。 ・新聞を仕上げる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
2 学期	5	(知及技) 読書に親しみ、簡単な物語や、自然や季節などの美しさを表した詩や紀行文などがあることを知ることができる。(中1段階ウ(ア)) (思判表力) 文章を読んで分かったことを伝えたり、感想をもったりすることができる。(中1段階C工) (学・人) 気に入った本について進んで紹介したり読み聞かせたりすることができる。(中1段階)	(知・技) 学校図書館にある本の種類に触れ、内容に応じて分類分けすることができる。 (思・判・表) 本を見たり読んだりしながら本の特徴を感じ取り、説明することができる。 (主学) 気に入った本や種類について進んで紹介している。 【評価資料】 活動の様子や学習プリントで評価する。	「本に親しまう」 ・読書に親しむ ・さまざまな種類の本を読む ・本の種類を分けよう	・図書館でたくさん本の種類について司書から聞く。 ・いろいろな種類の本を読む。 ・物語、詩、紀行文、図鑑、伝記などの分類分けをする。 ・自分が気に入った本や興味をもった本を紹介する。
	5	(知及技) 読書に親しみ、簡単な物語や、自然や季節などの美しさを表した詩や紀行文などがあることを知ることができる。(中1段階ウ(ア)) (思判表力) 簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。(中1段階Cア) (学・人) 物語に興味をもち、自分で読んだり気に入った文を覚えたりすることができる。(中1段階)	(知・技) 小学生に親しまれる絵本を選び、絵本の中から読み聞かせに必要な材料を見つけることができる。 (思・判・表) 簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像し、セリフを考えることができる。 (主学) 読み聞かせに参加し、担当するセリフを覚えようとしている。 【評価資料】 活動の様子や学習プリントで評価する。	「読書を楽しもう」 ・ペープサートを作り読み聞かせ体験しよう	・絵本を一冊選び、その絵本のペープサートを作る。 ・小学部へ読み聞かせをしに行く。
	6	(知及技) 挨拶状などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現があることを知ることができる。(中1段階ウ(イ)) (思判表力) 伝えたいことを大まかにまとめ、文章を読み返して間違いを正すことができる。(中1段階B工) (学・人) 手紙を書くことで、日常生活を充実させたり人間関係の形成を図ったりしようとする態度を養う。(中1段階)	(知・技) 年賀状の基本的な書き方を理解している。 (思・判・表) 伝えたいことを大まかにまとめ、文章を読み返して間違いを正すことができる。 (主学) 年賀状の作成を通して、相手を気遣う気持ちを表そうとしている。 【評価資料】 活動の様子や年賀状で評価する。	「季節の手紙を書こう」 ・年賀状の作成 ・干支に関連した読み聞かせ	・年賀状の決まりについて動画を見て学ぶ。 ・干支の確認をする。 ・年賀状に使う言葉や表現を確認する。 ・はがきを書く内容を決め、年賀状を仕上げる。 ・年賀状の見直しをする。
3 学期	6	(知及技) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら、丁寧に書くことができる。(中1段階ウ(ウ)㉔) (思判表力) 書いた文字を丁寧に読み返し、間違いを正すことができる。(中1段階B工) (学・人) 書くことを通して思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(中1段階)	(知・技) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら、丁寧に書いている。 (思・判・表) 書いた文字を丁寧に読み返し、間違いを正している。 (主学) 書くことを通して思いや考えを伝え合おうとしている。 【評価資料】 活動の様子や学習プリントで評価する。	「色々な筆記具で書く」 ・書道に親しまう ・筆ペンに親しまう	・習字を書くときの姿勢を知る。 ・使う道具の名前を覚える。 ・見本の字を見ながら書く。 ・作品をつつ完成させる。 ・展示会を開き、お互いに良いところを伝え合う。
	6	(知及技) 身の回りにあるローマ字について知ることができる。(中1段階ア(ウ)) (思判表力) 簡単な単語について、ローマ字で書いたり読んだりすることができる。(中1段階Cウ) (学・人) 身の回りにあるローマ字について関心を持ち、活用しようとする態度を養う。(中1段階)	(知・技) 身の回りにローマ字が使われていることを理解している。 (思・判・表) 簡単な単語について、ローマ字で書いたり読んだりしている。 (主学) 身の回りにあるローマ字表記について関心を持つようとしている。 【評価資料】 活動の様子や学習プリントで評価する。	「ローマ字」 ・自分の名前をローマ字で書こう ・ローマ字入力に挑戦しよう	・日常で使われている簡単な単語について、ローマ字を読んだり、書いたりする。 ・PCやタブレットを使って、ローマ字で入力する。
	6	(知及技) 主語や述語など語句の役割を理解して文を構成し、発音や声の大きさに気をつけて話すことができる。(中1段階ア(オ)) (思判表力) 伝えたいことを決め発表をするとともに、聞いた話を書き留めたりして話の大体を捉えることができる。(中1段階AアCイ) (学・人) 自分の思いや考えを相手にわかりやすく伝えようとする態度を養う。(中1段階)	(知・技) 主語や述語など語句の役割を理解して文を構成し、発音や声の大きさに気をつけて話している。 (思・判・表) 伝えたいことを決め発表をするとともに、聞いた話を書き留めたりして話の大体を捉えている。 (主学) 自分の思いや考えを相手にわかりやすく伝えようとしている。 【評価資料】 活動の様子や学習プリントで評価する。	「テーマを決めて話そう」 ・一年間の振り返り ・先輩へのエール ・後輩へのエール	・テーマを決める。 ・伝えたいことを簡条書きで書き出す。 ・主語、述語を意識しながら文章を組み立てる。 ・文字や表現の間違いがないか見直しをする。 ・発表練習をする。 ・皆に聞こえる声の大きさを意識して発表する。 ・相手の発表を聞きながら、わかったことや印象に残った言葉をメモ用紙に書き留める。 ・発表の感想を伝え合う。
留意点 引継ぎ等		○年間を通して、授業の初めに五十音の歌唱や読み聞かせを取り入れ、文字や言葉、物語に触れる学習活動を継続する。 ○五十音やカレンダーの読み方や見方を毎時間確認する。 ○学校行事や学部行事との関連性を図ったりしながら、教科の視点で指導および評価する。			

令和8年度 中学部 1～3年（Ⅱ課程B） 国語科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	1・2・3学年Ⅱ課程-B		絵本・学習プリントなど

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間目標		(知及技)日常生活に必要な国語について、その特質を理解し使うことができるようにする。(小3段階) (思判表力)日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身につけ、思考力や想像力を養う。(小3段階) (学・人)言葉が伝え合うよさを感じるとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。(小3段階)			
一学期	3	(知及技)自分の名前や友だちの名前を選んだり、なぞったり、書いたりすることができる。(小2段階イ(ウ)) (思判表力)自己紹介することができる。(小2段階Aウ) (学・人)言葉でのやりとりを聞いたり、伝えようとしたりすることができる。(小2段階ウ)	(知・技)自分や友だちの名前を、名札から選んだり、なぞったり、書いたりしようとする。 (思・判・表)自己紹介に必要な事柄についてなぞり書きしたり、絵や写真などを用いて発表しようとする。 (主学)教師と一緒に表現方法を工夫しながら、自己紹介をしたり、友だちにも関心を持つようとする。 【評価資料】 学習プリント/ 提出物 /活動の様子 で評価する。	話してみよう、聞いてみよう ・自分や友だちの名前を確認しよう。 ・自分のことを知ってもらおう ・友だちや先生のことを知ろう	・自分や友だち、先生の名前をプリントに書いたり、なぞり書きしたり、名札や写真で選んだりする。 ・教師と一緒に自己紹介で話すことを考え、プリントに記入、なぞり書きしたり、絵や写真を活用して自己紹介のプリントを完成させる。 ・自己紹介を行う。 ・友だちの自己紹介を聞く。
	4	(知及技)会話や読み聞かせを通して、言葉には物事の内容を表す働きを知ることができる。(小3段階ア(ア)) (思判表力)物と事柄を結びつけることができる。(小2段階Aア) (学・人)丁寧に文字を書くことができる。(小2段階)	(知・技)曜日や天気、学習道具、教科名や学校の施設、挨拶や季節の言葉などを、ひらがなで読んだり、書いたり、単語カードや絵カードで選んだりしようとする。 (思・判・表)単語を聞いてそれに対応する名称カードや絵カードを示したり、身振りで伝えようとしたりする。 (主・学)筆記用具を用いて、丁寧に文字を書こうとしたり、教師と一緒になぞろうとしたり、名称カードや絵カードを選ぼうとする。 【評価資料】 学習プリント/ 提出物 /活動の様子 で評価する。	ことばを学ぼう① ・身近なことばを読んでもみよう、書いてみよう (日常生活で使用することば/五十音表)	・絵本やプリントに描かれたイラストや写真を見て、教師とその名前を1つずつ読み上げたり、指差しなどしながら確認する。 ・筆記用具を用いて、ひらがなでそれぞれの単語の書き取りやなぞり書きに取り組み。 ・写真やイラストを見て事物の名前を答えたり、読み上げた単語と写真やイラストとのマッチングをしたりする。
	4	(知及技)絵本の読み聞かせやさまざまな資料を通して、戦争や平和について触れることができる。(小2段階イ(エ)) (思判表力)戦争や平和について見聞し、伝えたいことを考えたりすることができる。(小2段階Aウ) (学・人)教師の説明を聞き、問いかけに答えようとしることができる。(小2段階ウ)	(知・技)戦争や平和に関する読み聞かせ、写真や動画、歌などを通して、戦争や平和について関心を持つようとする。 (思・判・表)戦争や平和について見聞し、伝えたいことを言葉や表情、しぐさなどで表そうとする。 (主・学)教師の説明を聞いたり、問いかけに言葉や表情、しぐさなどで答えようとする。 【評価資料】 学習プリント/ 提出物 /活動の様子 で評価する。	平和学習を通して考えてみよう ・話を聞こう、読んでみよう ・思ったこと、感じたことを表現してみよう	・戦争や平和に関する絵本の読み聞かせ、写真、動画の視聴 ・戦争や平和について思ったことや感じたことのため(文やメッセージの記入、写真や絵カードの添付) ・関連する語句のなぞり
	3	(知及技)葉書の書き方を知ることができる。(小3段階ウ(ウ)) (思判表力)伝えたい事柄を選んだりしながら、親しい人に暑中見舞いを書くことができる。(小2段階ア) (学・人)葉書や暑中見舞いの表現に関心を持ち、書き方に沿って丁寧に文字を書くことができる。	(知・技)葉書の書き方を知ろうとする。 (思判表力)暑中見舞いを送る相手を決め、伝えたい事柄を選び、書き方に沿って自分や相手の住所や名前、挨拶文をなぞったり、書いたりする。 (主・学)暑中見舞いの葉書や表現に関心を持ったりしている、書き方に沿って葉書に丁寧に文字を書こうとしたり、文字カードや写真を添付したりする。 【評価資料】 学習プリント/ 提出物 /活動の様子 で評価する。	季節の挨拶 ・季節の挨拶を学ぼう ・暑中見舞いを書いてみよう	・葉書に必要な筆記用具を確認する。 ・葉書の書き方を確認する。 ・季節の挨拶を音読したり、なぞり書きする。 ・決められた場所に適切な大きさで文字を書いたり、季節にあった絵や写真を選んで貼ったりする。
	4	(知及技)身近な島くとうばの単語や挨拶などについて学び、それを用いて表現することができる。(小2段階イ(ア)) (思判表力)夏休みの思い出について振り返り、簡易な文や絵でまとめたり、発表したりすることができる。(小2段階Aウ、Bア) (学・人)島くとうばに関心を持ち、身近な単語や簡単な会話の音読や模倣、発表などを楽しむことができる。(小2段階)	(知・技)身近な島くとうばの単語や挨拶をプリントや絵本、動画などで確認し、それらを模倣して活用しようとしたりする。 (思・判・表)体験したことを絵日記や教師との対話を手掛かりに振り返り、文や身振りなどでくわしく伝えようとしたりする。 (主・学)島くとうばでの簡単な会話や歌、発表などを楽しもうとする。 【評価資料】 学習プリント/ 提出物 /活動の様子 で評価する。	島くとうばについて学ぼう ・島くとうばを探してみよう。 ・聞いてみよう、話してみよう ・島くとうばを紹介しよう	・島くとうばの説明を聞き、絵本の読み聞かせや動画・歌などを鑑賞し島くとうばに親しむ。 ・身近な島くとうばを探したり、絵カードやipadなどで、単語とのマッチングをしたりする。 ・島くとうばでの挨拶を学び、友だちや先生と挨拶を交わしたりしてみる。 ・島くとうばの中から、自分が好きなことばを探して紹介する。

2 学 期	3	(知及技)読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味を持つことができる。(小2段階イ(工)) (思判表力)教師と一緒に絵本などを見て登場するものや様子、大まかな流れを捉え、言葉などの模倣や好きな場面を伝えたりすることができる。(小2段階Cアイエ) (学・人)自分で読みたい本を選んだり、読んだ本を、友だちに紹介をすることができる。(小3段階)	(知・技)読み聞かせなどに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑に興味を示したりする。 (思・判・表)絵本などを見て、登場するものや様子、大まかな流れを捉えたり、言葉を模倣や好きな場面を選んで伝えようとする。 (学・人)読みたい本を自分で選ぼうとしたり、読んだ本を文や絵、身振りなどで紹介しようとする。 【評価資料】 学習プリント/ 提出物 /活動の様子 で評価する。	読書に親しもう ・いろいろな本に触れよう ・感想を伝えよう(好きな場面を探そう) ・本の感想を発表しよう ・本を紹介しよう。	・読み聞かせや視聴覚教材でいろいろな作品を鑑賞する。 ・好きな本の中から、好きな言葉や場面を探したり、本の写真や絵を活用して、感想を伝える。 ・本を紹介するポスターを作る。
	3	(知及技)物の動きや様子、気持ちを表す言葉やひらがなで読んだり、書いたりすることができる。(小3段階ウ(ウイ)) (思判表力)事物と事柄を結びつけることができる。(小2段階Aア) (学・人)動きや様子、気持ちを表す言葉の模倣を通して、言葉の響きやリズム、言葉による表現に親しむことができる。(小2段階)	(知・技)教師と一緒に絵本やプリントのイラスト、動画などを見ながら、示される動きや様子、気持ちを表すことばを読み上げたり、確認したりする。 (思・判・表)言葉とイラストや絵カードとマッチングさせたり、動きや様子、気持ちを表すことばを探したり、区別したりする。 (主・学)言葉に関心を持ち、響きやリズムを楽しもうとする。 【評価資料】 学習プリント/ 提出物 /活動の様子 で評価する。	ことばを学ぼう② ・身近なことばを読んでもみよう、書いてみよう (動きや様子、気持ちを表すことば/五十音表) ・言葉の響きや音を楽しもう	・絵本やプリント、動画などで描写される人や物の動きや様子、気持ちを表すことばなどを、教師と一緒にその物の名前を1つずつ確認しながら読み上げる。 ・プリントを用いて、それぞれの単語のひらがなでの書き取りやなぞり書きに取り組み。 ・単語カードと写真やイラストのマッチング ・読み聞かせや音読、童謡の歌詞などを通して言葉の響きやリズムを楽しむ。
	3	(知及技)新年に関する物の名前や事柄、挨拶について学び、年賀状を書くことができる。(小3段階ウ(ウ)) (思判表力)伝えたい事柄を選んだりしながら、親しい人に年賀状を書くことができる。(小2段階ア) (学・人)表現に親しみ、丁寧に新年の挨拶を書くことができる。(小2段階)	(知・技)葉書の書き方を知ろうとする。 (思判表力)送る相手を決め、新年の言葉や事柄を選び、自分や相手の住所や名前、挨拶文をなぞったり、書いたりする。 (学・人)書き方に沿って、丁寧に年賀状を書こうとしている。 【評価資料】 学習プリント/ 提出物 /活動の様子 で評価する。	季節の挨拶を学ぶ ・季節の言葉を学ぼう ・年賀状を書いてみよう	・新年の挨拶や関連することばなど書いたり、なぞったり、読み上げたりする。 ・葉書の書き方をおさらいする。 ・決められた場所に適切な大きさで文字を書く。
3 学 期	2	(知及技)道具の名前や使い方を知り、書き初めに取り組むことができる。(小3段階ウ(ウ)④) (思判表力)季節の言葉を読んだり、書いたりすることができる。(小2段階Aア、Bイ) (学・人)書きたい文字を選び、毛筆で丁寧に書くことができる。(小3段階)	(知・技)書き初めに取り組もうとしている。 (思・判・表)季節の言葉を読んだり、書いたりしようとしている。 (主学)書きたい文字を選び、道具を適切に用いて毛筆で丁寧に書こうとしている。 【評価資料】 学習プリント/ 提出物 /活動の様子 で評価する。	毛筆に親しむ ・書き初めをしよう	・言葉・毛筆の道具の名前、道具の使い方を確認する。 ・手添えで基本練習を行う。 ・季節に関する言葉や新年の抱負などから、書きたい文字を選ぶ。 ・お手本を見て、教師に手添えしてもらいながら文字を書く。
	3	(知及技)言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる。 (思判表力)簡単な事柄と語句を結びつけたり、語句などから事柄を結びつけたりすることができる。(小2段階Aア) (学・人)適切な筆記用具を用いて、丁寧に文字を書こうとすることができる。(小3段階)	(知・技)絵本や絵カードなどを参考にしながら、「だれが」+「どうした・どんなだ」の主語と述語の二語を音読し、言葉の意味や組み合わせを意識しようとする。 (思・判・表)昔話の読み聞かせや歌の歌詞などから、教師と一緒に言葉の響きやリズムを抜き出して、音読したり、模倣したりする。 (主・学)適切な筆記用具を用いて、丁寧に文字を書こうとしたり、教師と一緒になぞろうとしたりする。 【評価資料】 学習プリント/ 提出物 /活動の様子 で評価する。	ことばを楽しむ③ ・文を作ってみよう ・ことばの音やリズムを楽しもう	・プリントや単語カードや絵カードを使って、主語と述語の適切な組み合わせを確認する。 ・組み合わせた二語を音読する。 ・絵本の挿絵や写真やイラストを見て、対象物とその動きや様子を、適切な単語を選んで答えたり、単語カードや絵カードを使って言葉の組み合わせを確認する。
	3	(知及技)1年間の学習を振り返ることができる。(小2段階Bア) (思判表力)1年間の学習を振り返り、頑張ったことを考えたり、書いたりすることができる。(小3段階Bア、小3段階Aイ) (学・人)自分の考えを発表したり、友だちの発表を聞いたりすることができる。(小3段階ウ)	(知・技)1年間の学習を、プリントや写真などで振り返ろうとする。 (思・判・表)授業で学んだことを振り返り、頑張ったことを文や絵で伝えたり、写真などで選んで伝えようとする。 (学・人)自分の考えを発表しようとしたり、友だちの発表を静かに聞こうとする。 【評価資料】 授業プリント(ふり返しシート)/ 提出物 /活動の様子 /発表やミニテストで評価する。	1年間の学習を振り返ろう	・学習してきた内容を、プリントや発問、音読などで復習する。 ・学習した内容を振り返り、頑張ったことを文や絵で表したり、写真から選んだりする。 ・自分の振り返りや感想を発表したり、友だちの発表を聞いたりする。
留意点 引継ぎ等					

令和 8年度 中学部 (Ⅱ課程 Aグループ) 社会科 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
70	中学部1年Aグループ		社会☆☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動、地域の産業と消費生活の様子及び身近な地域の様子の移り変わり並びに社会生活に必要なきまり、公共施設の役割及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して、自分との関わりが分かるとともに、調べまとめる技能を身に付けるようにする。(中社会Ⅰ段階) (思判表力)社会的事象について、自分の生活や地域社会と関連付けて具体的に考えたことを表現する基礎的な力を養う。(中社会Ⅰ段階) (学・人)身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養う。(中社会Ⅰ段階)			
1 学期	8	(知及技)学級や学校の中で、自分の意見を述べたり相手の意見を聞いたりするなど、集団生活の中での役割を果たすための知識や技能を身に付けることができる。【中学部Ⅰ段階ア(ア)】 (思判表力)集団生活の中で何が必要かに気付き、自分の役割を考え、表現することができる。【中学部Ⅰ段階ア(ア)】 (学・人)自分の係に気づき進んで行おうという気持ちを持つことができる。【中学部Ⅰ段階ア(ア)】	(知・技)それぞれの係にはどのような意味があるのか、話し合おうとしている。 (思・判・表)家や学級にはどのような係があるのか、自分の係は何かを発表しようとしている。 (主学)目的を設定し、積極的に自分の係活動を行おうとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	単元1「学級の係活動について」～社会参加するために必要な集団生活に関わる学習活動～ ・なぜ係があるのかや、話し合いの方法について学習する。 ・それぞれの係にはどのような意味があるのか、話し合う。 ・イラストを用いて、係活動に関するイメージを持たせる。
	10	(知及技)家庭や学校でのきまりを知り、生活の中でそれを守ることの大切さが分かる。【中学部Ⅰ段階ア(イ)】 (思判表力)社会生活ときまりとの関連を考え、表現できる。【中学部Ⅰ段階ア(イ)】 (学・人)学校内できまりを守ることができたか、ふりかえることができる。【中学部Ⅰ段階ア(イ)】	【評価標準】 (知・技)家や学校には、様々なきまりがあることに気づいている。 (思・判・表)学校や道路にある設備、マークが何のためにあるか考えようとしている。 (主学)きまりを守って行動できているか、ふりかえろうとしている。	単元2「家や学校のきまりを守ろう」 ・家や学校で、色々なきまりがあることを知る。 ・動画の視聴や疑似体験を通して、きまりの意義やきまりを守らないとケガをすることに気づくようにする。 ・標識やポスターを探して、なぜそのような「きまり」があるか、考える学習。
	4	(知及技)身近な公共施設や公共物の役割が分かる。【中学部Ⅰ段階イ(ア)】 (思判表力)公共施設や公共物について調べ、それらの役割を考え、表現できる。【中学部Ⅰ段階イ(ア)】 (学・人)公共施設などを使う際の、マナーについて考えることができる。【中学部Ⅰ段階イ(ア)】	(知・技)身近な公共施設や公共物の役割を知ろうとしている。 (思・判・表)学校周辺の公共施設や公共物の役割を考えようとしている。 (主学)公共施設などを使う際の、マナーについて考えようとしている。	単元3「身近な公共施設をしらべよう」 ・近くの公園や体育館などをとりあげ、インターネットや新聞などを活用ししらべたり、利用時のマナーについて考える。 ・行きたい公共施設を教師と一緒に調べ、移動手段や料金など考える機会を設ける。
2 学期	6	(知及技)身近な生活に関する制度が分かる。【中学部Ⅰ段階イ(イ)】 (思判表力)身近な生活に関する制度について調べ、自分との関わりを考え、表現できる。【中学部Ⅰ段階イ(イ)】 (学・人)療育手帳やマイナンバーカードを使う際の約束を確認することができる。【中学部Ⅰ段階イ(イ)】	(知・技)療育手帳やマイナンバーカードを使う場所・機会が理解できている。 (思・判・表)療育手帳を活用して行きたいところを考えようとしている。 (主学)療育手帳やマイナンバーカードを使う際の約束を確認しようとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	単元4「療育手帳やマイナンバーカードの活用」 ・療育手帳を提示すると受けられるサービスを確認する。 ・マイナンバーカードの役割と病院の利用の仕方を確認する。
	22	(知及技)地域の安全を守るため、関係機関が地域の人々と協力していることが理解できる。【中学部Ⅰ段階ウ(ア)】 (思判表力)地域における災害や事故に対する施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、そこに関わる人々の働きを考え、表現できる。【中学部Ⅰ段階ウ(ア)】 (学・人)安全な生活を送るために、自分は何ができるか考えることができる。【中学部Ⅰ段階ウ(ア)】	(知・技)災害や事故にむけて、消防署や警察の取り組みを知ろうとしている。 (思・判・表)事件や災害に備えて、消防・警察がどのような準備をしているか、また学校内でもどのような設備があるのか、調べようとしている。 (主学)安全な生活を送るために、自分は何ができるか考えようとしている。	単元5「地域の安全」 ・消防署・警察・災害の動画視聴を通して、地域の安全を守るための取り組みについて調べ、まとめる。 ・沖縄で起こりえる災害について考える。 ・校内外の安全・消防設備を調べ、活用について考える学習。 ・避難経路や不審者に対する対応についても取り上げる。

3 学 期	10	<p>(知及技)生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることに気付くことができる。【中学部Ⅰ段階エ(ア)】</p> <p>(思判表力)仕事の種類や工程などに着目して、生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現することができる。【中学部Ⅰ段階エ(ア)】</p> <p>(学・人)地域の農作物・特産物がどのように利用されているか、調べることができる。【中学部Ⅰ段階エ(ア)】</p>	<p>(知・技)身近な市町村で生産されている農作物や商品を知ろうとしている。</p> <p>(思・判・表)農作物の栽培や商品の販売にどのような人々が関わっているのか、教師と一緒に調べようとしている。</p> <p>(学・人)特産物の活用方法を教師と一緒にしらべている。</p>	単元6「沖縄の産業」	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄で生産されている「塩や紅芋」などをとりあげ、どのように加工されているか知る。 ・どのような人が生産や販売に関わっているか、調べる。 ・製品がどのように使用されているか、考える。 ・リサイクルの様子も関連付けて指導する。
	10	<p>(知及技)販売の仕事は、消費者のことを考え、工夫して行われていることに気付くことができる。【中学部Ⅰ段階エ(イ)】</p> <p>(思判表力)消費者の願いや他地域との関わりなどに着目して、販売の仕事に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現できる。【中学部Ⅰ段階エ(イ)】</p> <p>(学・人)地域にはどのようなお店があるか考えることができる。【中学部Ⅰ段階エ(イ)】</p>	<p>(知・技)スーパーマーケットがお客様が買い物しやすくするためにしている工夫について気づいている。</p> <p>(思・判・表)商品が国内外から来ていることを調べ、教師と一緒にまとめようとしている。</p> <p>(主学)地域にはどのようなお店があるか考えようとしている。</p>	単元7「お店に買い物に行こう」～お店のしくみ～	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の買い物や動画の視聴を通して、お店のしくみについて、確認をする。商品が国内外から運ばれていることを学習する。 ・店舗の種類(飲食店、スーパー、コンビニエンスストア、自動販売機、インターネットショッピングなど)や形態が様々あることを学習する。
留意点 引継ぎ等	生徒の実態や学習到達度、学習状況に応じて、単元等の順番を入れ替えて学習する場合もある。				

令和 8年度 中学部 (Ⅱ課程 Aグループ) 社会科 年間指導計画

単位数 /配当時間	児童生徒	担当者	教科書/副教材
70	中学部2年Aグループ		社会☆☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 自分たちの都道府県の地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える役割、自然災害から地域の安全を守るための諸活動及び地域の伝統と文化並びに社会参加するためのきまり、社会に関する基本的な制度及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調べまとめる技能を身に付けるようにする(中社会Ⅱ段階) (思判表力) 社会的時事について、自分の生活や地域社会と関連付けて具体的に考えたことを表現する力を養う(中社会Ⅱ段階) (学・人) 社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養う(中社会Ⅱ段階)	
1 学期	8	(知及技) 身近な地域や自分たちの市の様子を知ることができる。【中社会Ⅰ段階オ(ア)】 (思判表力) 都道府県内における市の位置や市の地形、土地利用などに着目して、身近な地域や市の様子を捉え、土地の使われ方を考え、表現できる。【中社会Ⅰ段階オ(ア)】 (学・人) 学校や住んでいる市町村の良いところを教師や友達と一緒にまとめることができる。【中社会Ⅰ段階オ(ア)】	(知・技) 学校や住んでいる市町村の名前や位置を理解しようとしている。 (思・判・表) 身近な市町村内にある、商業施設・公園・公共施設などの写真やコメントを白地図に加えるようとしている。 (主学) 教師や友達と相談しながら、身近な市町村の良いところを調べようとしている。
	10	(知及技) 身近な地域や自分たちの市の様子、人々の生活は、時間とともに移り変わってきたことに気付くことができる。【中社会Ⅰ段階オ(イ)】 (思判表力) 人々の生活が時間と共に移り変わってきたことに気づき、表現できる。【中社会Ⅰ段階オ(イ)】 (学・人) 昔の生活についてわかったり、体験したりしたことを振り返ることができる。【中社会Ⅰ段階オ(イ)】	(知・技) 人々の生活や街は、時間とともに移り変わってきたこと実物や資料を通してを知ろうとしている。 (思・判・表) 昔の道具を体験し、今の道具と比較して感じたことを発表している。 (主学) 昔の生活についてわかったり、体験したりしたことを振り返ろうとしている。
	4	(知及技) 文化や風習の特徴や違いを知ることができる。【中社会Ⅰ段階カ(ア)】 (思判表力) そこに暮らす人々の生活などに着目して、日本との違いを考え、表現することができる。【中社会Ⅰ段階カ(ア)】 (学・人) 外国の文化を大切にしようという気持ちを持つことができる。【中社会Ⅰ段階カ(ア)】	(知・技) 文化や風習の特徴や違いを知ろうとしている。 (思・判・表) そこに暮らす人々の生活などに着目して、日本との違いを考え、表現しようとしている。 (主学) 外国の文化を大切にしようとしている。
2 学期	14	(知及技) 学級や学校の中で、意見を述べ合い、助け合い、協力しながら生活する必要性を理解し、そのための知識や技能を身に付けることができる。【中社会Ⅱ段階ア(ア)】 (思判表力) 周囲の状況を判断し、集団生活の中の自分の役割と責任について考え、表現することができる。【中社会Ⅱ段階ア(ア)】 (学・人) 困っている時や困っている人を見かけたときにどうしたらよいか、意見を出すことができる。【中社会Ⅱ段階ア(ア)】	(知・技) 学級や学校、家庭・地域社会の中で、自分が行なっていることをあげたり、話し合ったりしようとしている。 (思・判・表) 自分が係を行なわなかったらどのような影響がでるか考え、発表しようとしている。 (主学) 困っている時や困っている人を見かけたときにどうしたらよいか、意見を出そうとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子
	14	(知及技) 家庭や学校、地域社会でのきまりは、社会生活を送るために必要であることを理解することができる。【中社会Ⅱ段階ア(イ)】 (思判表力) 社会生活に必要なきまりの意義について考え、表現することができる。【中社会Ⅱ段階ア(イ)】 (学・人) 様々な場面にある「きまり」を守っているか、ふりかえることができる。【中社会Ⅱ段階ア(イ)】	【評価規準】 (知・技) 家庭や学校、地域社会でのきまりは、社会生活を送るために必要であることを理解しようとしている。 (思・判・表) 社会生活に必要なきまりの意義について考え、表現しようとしている。 (主学) 様々な場面にある「きまり」を守っているかふりかえるようとしている。

3 学 期	10	(知及技) 自分の生活の中での公共施設や公共物の役割とその必要性を理解することができる。【中社会Ⅱ段階イ(ア)】 (思判表力)公共施設や公共物の役割について調べ、生活の中での利用を考え、表現することができる。【中社会Ⅱ段階イ(ア)】 (学・人)公共施設が税金で建設、運営されていることを知り、どのように利用していけばよいか、考えることができる。【中社会Ⅱ段階イ(ア)】	(知・技)公共施設・公共交通機関の役割が理解できている。 (思・判・表)各種メディアを活用して、公共交通機関を利用する計画を立てようとしている。 (主学)公共施設が税金で建設、運営されていることに気づき、どのように利用していけばよいか、考えようとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	単元6「公共施設、公共交通機関をしらべよう」 ・市立図書館、体育館、公民館など ・出かけるための計画の立て方 ・どのように利用していけばよいだらう	・施設の利用や動画の視聴を通して、体験的に理解できるようにする。道路・航路・空路などを調べ、沖縄が交通網に支えられていることを学習する。 ・公共交通機関利用時のマナーについても確認をする。 ・自分で時刻表や天気をしらべて利用計画を立ててみる。 ・iPadなどで、必要な情報を調べる機会を設ける。 ・公共施設が税金でたてられていることをおさえ、適切に利用できるようにする。
	10	(知及技)社会に関する基本的な制度について理解することができる。【中社会Ⅱ段階イ(イ)】 (思判表力)社会に関する基本的な制度について調べ、それらの意味を考え、表現することができる。【中社会Ⅱ段階イ(イ)】 (学・人)投票のマナーに関心をもつことができる。【中社会Ⅱ段階イ(イ)】	(知・技)選挙のしくみについて理解している。 (思・判・表)選挙の際、どのような点に注目して投票したらよいか、考えようとしている。 (主学)投票のマナーを守ろうとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	単元7「選挙について」 ～模擬投票をしよう～	・やりたい行事や、あったらいいものを考えさせ、どの候補者に投票したら、自分の思いが実現できるか、模擬投票を行う。 ・生徒会役員選挙とも関連付けて、指導する。 ・投票のマナーについても取り上げる。
留意点 引継ぎ等	生徒の実態や学習到達度、学習状況に応じて、単元等の順番を入れ替えて学習する場合もある。				

令和 8年度 中学部 (Ⅱ課程 Aグループ) 社会科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
70	中学部3年Aグループ		社会☆☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)自分たちの都道府県の地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える役割、自然災害から地域の安全を守るための諸活動及び地域の伝統と文化並びに社会参加するためのきまり、社会に関する基本的な制度及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調べまどめる技能を身に付けるようにする(中社会Ⅱ段階) (思判表力)社会的事象について、自分の生活や地域社会と関連付けて具体的に考えたことを表現する力を養う(中社会Ⅱ段階) (学・人)社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養う(中社会Ⅱ段階)				
1 学期	8	(知及技) 地域の関係機関や人々は、過去に発生した地域の自然災害や事故に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解することができる。【中社会Ⅱ段階ウ(ア)】 (思判表力) 過去に発生した地域の自然災害や事故、関係機関の協力などに着目して、危険から人々を守る活動と動きを考え、表現することができる。(【中社会Ⅱ段階ウ(ア)】) (学・人) 防災・減災に関わる自助・共助・公助に着目し、自分ができることについて考えることができる。【中社会Ⅱ段階ウ(ア)】	(知・技) 災害に対応するため、市役所、消防、警察、学校・地域住民などが協力して備えていることを理解している。 (思・判・表) 自分たちが住む地域で今後起こる可能性のある災害を想定し、自分たちができることを選択・判断しようとしている。 (主学) 防災・減災に関わる自助・共助・公助に着目し、自分ができることについて考えようとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	単元1「災害に備えよう」 ・災害の種類 ・災害に備えるための工夫 ・自分の地域での取り組み、避難場所 ・災害に備えてできることを考えよう	・災害の種類を知る。 ・災害には、様々な機関が連携していることを、動画やニュースから調べたり、自分たちでもできることはないか、考える機会を設ける。
	10	(知及技) 地域では、人々が協力し、産業の発展に努めていることを理解することができる。【中社会Ⅱ段階エ(ア)】 (思判表力) 人々の活動や産業の歴史的背景などに着目して、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現することができる。【中社会Ⅱ段階エ(ア)】 (学・人) 住んでいる市町村の産業・観光について考えることができる。【中社会Ⅱ段階エ(ア)】	(知・技) 盛んな産業や主な観光地を理解している。 (思・判・表) 街を盛んにするための取り組みについて気づき、発表しようとしている。 (主学) 住んでいる市町村の産業・観光について考えようとしている。	単元2「観光がさかんな地域～本部町についてしらべよう～」	・本部町に行った経験を思い出しながら、主な観光地や特産物について、発表を促す。 ・観光客に来てもらえるような、工夫について考える機会を設ける。 ・自分が住んでいる町と似ているところや、良い点について考える。
	4	(知及技) 水道、電気及びガスなどの生活を支える事業は、安全で安定的に供給や処理できるよう実施されていることを理解できる。【中社会Ⅱ段階エ(イ)】 (思判表力) 供給や処理の仕組みや関係機関の協力などに着目して、水道、電気及びガスなどの生活を支える事業の様子を捉え、それらの事業が果たす役割を考え、表現できる。【中社会Ⅱ段階エ(イ)】 (学・人) 限られた資源を大切に活かすにはどうしたらよいか考えることができる。【中社会Ⅱ段階エ(イ)】	(知・技) 水道、電気及びガスなどの生活を支える事業は、安全で安定的に供給や処理できるよう実施されていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることが理解できている。 (思・判・表) 生活を支える事業の様子を捉え、それらの事業が果たす役割を考え、表現しようとしている。 (学・人) 資源を大切に使うために、自分ができることを考えようとしている(ゴミの分別や電気を消すなど)。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	単元3「資源を大切にしよう」 ・水のしくみ ・ゴミを減らすには ・電気のしくみ、節電しよう	・生活のどの場面で水や電気が利用されているか、調べる。 ・各家庭まで、水や電気が供給・処理されている様子を調べる。 ・限りある資源を大切に使うことも考えていく。 ・ゴミの分別について
2 学期	14	(知及技) 自分たちの県の概要を理解できる。(中社会Ⅱ段階オ(ア)) (思判表力) 我が国における自分たちの県の位置、県全体の地形などに着目して、県の様子を捉え、地理的環境の特色を考え、表現できる。(中社会Ⅱ段階オ(ア)) (学・人) 沖縄県のよいところを考えることができる。(中社会Ⅱ段階オ(ア))	(知・技) 沖縄県の位置や地形、特産物・文化財を理解している。 (思・判・表) 沖縄県の土地の使われ方、交通の様子、文化財を地図にまどめようとしている。 (主学) 沖縄県の良いところを考えようとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	単元4「沖縄県について調べよう」 ・沖縄県の場所や形、市町村 ・土地の使われ方 ・主な農産物 ・交通手段	・沖縄県の概要を動画や資料を活用しながらまどめる。(土地の使われ方、主な産業など) ・主な文化財を地図に貼り付けていく。 ・沖縄県には様々な島があることを知る。 ・いくつかの選択肢を用意しながら、沖縄県の良いところ、好きなところを発表する。
	14	(知及技) 県内の主な歴史を手掛かりに、先人の働きや出来事、文化遺産などを知ることができる。【中社会Ⅱ段階オ(イ)】 (思判表力) 歴史的背景や現在に至る経緯などに着目し、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、それらの特色を考え、表現することができる。【中社会Ⅱ段階オ(イ)】 (学・人) 沖縄の文化財や行事を大切にしていこうという気持ちをもつことができる。【中社会Ⅱ段階オ(イ)】	(知・技) 県内の主な伝統行事や文化遺産について知ろうとしている。 (思・判・表) 県内の文化財の役割や年中行事の様子・目的を調べ、表にまどめることができる。 (主学) 興味のある文化遺産や行事を選び、発表しようとしている。	単元5「沖縄の伝統・文化」 ・沖縄の行事や文化遺産について ・行事の由来(目的、願い)	・歴史的背景に着目しながら、県内の芸能(エイサー等)や年中行事、文化遺産を調べる。

3 学 期	10	<p>(知及技)文化や風習の特徴や違いを理解することができる。【中社会Ⅱ段階カ(ア)】</p> <p>(思判表力)人々の生活や習慣などに着目して、多様な文化について考え、表現することができる。【中社会Ⅱ段階カ(ア)】</p> <p>(学・人)興味のある国を選んだり、国旗をしらべたりすることができる。【中社会Ⅱ段階カ(ア)】</p>	<p>(知・技)国が違くと食事や服装が違うことに気づいている。</p> <p>(思・判・表)他の国がどのような食事や服装をしているか、写真や動画などをみて気づいたことを発表したり、プリントにまとめたりにしている。</p> <p>(主学)興味のある外国の様子について写真や動画を見たり、国旗に親しんでいる。</p>	<p>単元6「世界の食事や服装をしらべよう」</p>	<p>・外国の衣装や写真・動画を見て、感じたことを発表する。</p> <p>・各国の国旗についても扱う。</p>
	10	<p>(知及技)人々の生活の様子を大まかに理解することができる。【中社会Ⅱ段階カ(イ)】</p> <p>(思判表力)世界の出来事などに着目して、それらの国の人々の生活の様子を捉え、交流することの大切さを考え、表現することができる。【中社会Ⅱ段階カ(イ)】</p> <p>(学・人)日本でできた遊びの他に、外国との交流によってもたらされた遊びに気づくことができる。【中社会Ⅱ段階カ(イ)】</p>	<p>(知・技)国によって、食べられるものや生活習慣に違いがあることに気づくことができる。</p> <p>(思・判・表)国を超えた交流の場として、どのような機会があるか、考えようとしている。</p> <p>(主学)日本でできた遊びの他に、外国との交流によってもたらされた遊びについて調べ、発表しようとしている。</p>	<p>単元7「他の国と仲良くするには」</p>	<p>・世界的なスポーツ大会や、外国との交流でできたあそび(お手玉・おはじき・たこあげ・けん玉・家庭用ゲーム)や、日本から外国に広がった文化(折り紙など)について取り上げる。</p>
留意点 引継ぎ等	<p>生徒の実態や学習到達度、学習状況に応じて、単元等の順番を入れ替えて学習する場合もある。</p>				

令和 8年度 中学部 (Ⅱ課程 Bグループ) 社会科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
1/35	中学部ⅡB		プリント・『みじかなマーク』など

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴や変化に気付くとともに、身近な生活において必要な習慣や技能を身に付けることができる。(生活Ⅱ段階) (思判表力)自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて気付き、感じたことを表現できる。(生活Ⅱ段階) (学・人)自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけようとして、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かすことができる。(生活Ⅱ段階)			
1 学期	4	(知及技)沖縄の様子について知ることができる。【生活Ⅱ段階Ⅰ】 (思判表力)教師と一緒に沖縄の文化を体験しようとするができる。【生活Ⅱ段階Ⅰ】 (学・人)利用してみたい公共施設や好きな特産物について、教師と一緒に選ぶことができる。【生活Ⅱ段階Ⅰ】	(知・技)沖縄の様子について、動画や絵を見ようとしてしている。 (思・判・表)教師と一緒に沖縄の文化を体験しようとしている。 (主学)利用してみたい公共施設や好きな特産物について、教師と一緒に選ぶようとしている。	単元1「沖縄について知ろう」 ・観光地 ・エイサー ・食べ物 ・乗り物	・写真や動画を使って沖縄の公共施設や伝統文化を確認する。 ・実物を用意し、体験できるようにする。
	4	(知及技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができる。【生活Ⅱ段階Ⅰ】 (思判表力)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとするができる。【生活Ⅱ段階Ⅰ】 (学・人)利用してみたい公共施設やお店、公共交通機関について、教師と一緒にまとめることができる。【生活Ⅱ段階Ⅰ】	(知・技)学校周辺の店舗・公共施設について理解しようとしている。 (思・判・表)学校周辺の店舗・公共施設での利用方法について考えようとしている。 (主学)利用してみたい公共施設やお店、公共交通機関について、教師と一緒にまとめるようとしている。	単元2「みじかな公共施設やお店をしらべよう」 ・地域ではたらく人 ・学校で働く人、学校探検 ・色々なお店、のりもの	・写真や動画を使って学校近隣の店舗、公共施設を確認する。 ・色々な店舗があり、利用のマナーがあることを確認する。
	5	(知及技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けることができる。【生活Ⅱ段階Ⅰ】 (思判表力)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組むことができる。【生活Ⅱ段階Ⅰ】 (学・人)安全に活動できたか、教師と一緒に振り返ることができる。【生活Ⅱ段階Ⅰ】	(知・技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとしている。 (主学)安全に活動できたか、教師と一緒に写真などを使って振り返えようとしている。	単元3「きまりをまもろう」 ・さわってはいけないところ、はいてはいけないところ ・交通安全、避難訓練 ・警察や消防署	・教師と一緒に挿絵をみながら、身の回りにある物の名前をいったり、模型をつかって誤った使い方とその危険性確認する。 ・危険な場面を動画視聴も活用して、確認したり、校内をまわって入ってはいけないところ、危ない所を教師と一緒に確認する。 ・校内の横断歩道を使い、渡り方を教師と確認する。 ・避難の際の行動について、動画視聴やロールプレイングで学習する。
2 学期	5	(知及技)簡単な手伝いや仕事について知ることができる。【生活Ⅱ段階Ⅰ】 (思判表力)教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとするができる。【生活Ⅱ段階Ⅰ】 (学・人)手伝いの様子を教師と一緒にまとめることができる。【生活Ⅱ段階Ⅰ】	(知・技)簡単な手伝いや仕事について知ろうとしている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとしている。 (主学)手伝いの様子を教師と一緒にまとめるようとしている。	単元4「先生の手伝いをしよう」 ・手伝い、掃除、片付け、お使い	・道具運び、ゴミ捨て、保健室へのお使いなど生徒の実態を考慮して、手伝えそうな場面を設定する。 ・活動している様子を写真にとり振り返られるようにする。 ・「おわりました」「ありがとう」など、生徒同士、生徒と教師で関わりを意識して活動を行う。
	3	(知及技)文化や風習の特徴や違いを知ることができる。【中社会Ⅰ段階力(ア)】 (思判表力)そこに暮らす人々の生活などに着目して、日本との違いを考え、表現することができる。【中社会Ⅰ段階力(ア)】 (学・人)外国の文化を大切にしようという気持ちを持つことができる。【中社会Ⅰ段階力(ア)】	(知・技)文化や風習の特徴や違いを知ろうとしている。 (思・判・表)そこに暮らす人々の生活などに着目して、日本との違いを考え、表現しようとしている。 (主学)外国の文化を大切にしようとしている。	単元5「外国の文化について」	・外国の食文化、外国産の食べ物、風習をてがかりに、日本との違い、似ているところを調べる。
	5	(知及技)簡単なきまりやマナーについて知ることができる。【生活Ⅱ段階Ⅰ】 (思判表力)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動できる。【生活Ⅱ段階Ⅰ】 (学・人)きまりをまもって行動できたか、教師とふりかえることができる。【生活Ⅱ段階Ⅰ】	(知・技)簡単なきまりやマナーについて知ろうとしている。 (思・判・表)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとしている。 (主学)きまりをまもって行動できたか、教師とふりかえろうとしている。	単元6「いろいろなきまり」 ・学校のきまり ・自分のものとみんなのもの ・順番をまもろう	・動画を使って「きまりを守らないと、どうなるのか、考える。 ・場所によって「きまり」があることを確認する。
3 学期	2	(知及技)選挙の意味を知る。【生活Ⅱ段階Ⅰ】 (思判表力)教師と一緒に、投票の仕方を模擬体験することができる。【生活Ⅱ段階Ⅰ】 (学・人)身近な選挙活動に参加する。【生活Ⅱ段階Ⅰ】	(知・技)選挙のしくみを知ろうとしている。 (思・判・表)教師と一緒に、投票の仕方を模擬体験することができる。 (主学)身近な選挙活動に参加しようとしている。	単元7「選挙に参加しよう」 ・選挙って何？ ・模擬投票を体験しよう ・生徒会役員選挙に参加しよう	・親しみのあるキャラクターを使って、リーダーを選ぶ方法を体験する。
	7	(知及技)簡単な係活動などの役割について知ることができる。【生活Ⅱ段階Ⅰ】 (思判表力)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとするができる。【生活Ⅱ段階Ⅰ】 (学・人)係活動に取り組めたか、教師と一緒に振り返ることができる。【生活Ⅱ段階Ⅰ】	(知・技)簡単な係活動などの役割について知ろうとしている。 (思・判・表)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとしている。 (主学)係活動に取り組めたか、写真などを使って、教師と一緒に振り返えようとしている。	単元8「係のしごと」 ・すきな係をえらぼう ・模擬店舗をしよう	・教師と一緒に係活動の挿絵をみながら、係の名前をいったり、選んでできる場面を設定する。 ・レジ係、袋詰め係、放送係などを設定し、イラストを用意してどの係をしたいか、考える機会を設ける。 ・活動している様子を写真にとり振り返られるようにする。
留意点 引継ぎ等		生徒の実態や学習到達度、学習状況に応じて、単元等の順番を入れ替えて学習する場合もある。			

令和8年度 中学部 1年 (Ⅱ課程A) 数学科年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	1学年Ⅱ課程A		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。(中1段階) (思判表力)日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。(中1段階) (学・人)数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。(中1段階)
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	5	(知及技)100までの数について、数詞を唱えたり、個数を数えたり、書き表したり、数の大きさを比べたりすることができる。【小3段階Aア㉔㉕㉖㉗】 (思判表力)数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考えることができる。【小3段階Aア㉗】 (学・人)数を用いて量を表すことの良さに気づくことができる。【中1段階】	(知・技)100までの数について、具体物を用いて個数を数えたり、数の大きさを比べたり、数詞を唱えたりようとしている。 (思・判・表)10までの数の数え方や大小比較等を元にしながらか100までの数の数え方や表し方について考えようとしている。 (主学)10以上の数を表現できることの良さに気づき、身近にある具体物等を数えることに活用しようとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「数と計算」 ・10までの数 ・20までの数 ・一の位、十の位について知ろう ・色々なものを数えよう ・100までの数 ・お金	・タイル、数字、具体物を結びつけて数について学ぶ ・数唱しながら物を取ったり配ったりする。また、物を対応させて配る。色や形、位置が変わっても、数は変わらないことに気づく。 ・数の系列が分かり、順序や位置を表すのに数を用いる。 ・2すつ5すつまとめて数える。 ・1つの数を2つの数に分けたり、2つの数を1つにまとめたりして表す。 ・一の位と十の位があることを知る。 ・10までの数の数え方を元にして、11から20までの数の数カードを順番良く並べる。 ・10個以上あるおはじきやブロック等をちょうど10個入る卵パックや製氷皿を利用して、10のまとまりと端数にわけて数を数える。
	8	(知及技)加法が用いられる合併や増加等の場合について理解し、1位数と2位数の和が20までの加法の計算ができる。【小3段階Aイ㉘】 (思判表力)「あわせて」や「みんなで」等の文言から加法が用いられる場面を式に表すことができる。【小3段階Aイ㉘】 (学・人)進んで学習に参加し、具体物の和を求められることができる。【中1段階】	(知・技)20までの数の範囲で具体物を用いて加法の計算をしようとしている。 (思・判・表)「あわせて」や「みんなで」等の文言に気づき、加法が用いられる場面を式に表そうとしている。 (主学)進んで学習に参加し、具体物の和を求めようとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「数と計算」 ・加法の意味 ・加法の式 ・加法の計算	・おはじき・磁石等を用いて和を求める。 ・「あわせて」や「みんなで」等の言葉の意味を具体物を用いて確認し、式で表して答えを求める。 ・1位数同士の加法の計算をする。 ・1位数と2位数の和が20までの加法の計算をする。
	8	(知及技)長針と短針が示す時間を理解し、時計の表示から時刻を読み取ることができる。【小3段階Cイ㉙㉚】 (思判表力)一日の流れを時刻をもとに順に並べ、時計が示す時刻と生活の流れを結び付けることができる。【小3段階Cイ㉙】 (学・人)時間と時刻の学習に進んで取り組み、日常の場面に関連付けて時刻や時間を読むことができる。【中1段階】	(知・技)長針と短針の示す時間を理解し、時計の表示から時刻を読み取ることができる。時と分の関係(もうちょっとで/もう〇時)の表現をしたり、職員の時と分に関する言葉かけを理解することができる。 (思・判・表)1日の時間の流れに沿って、活動イラストを順に貼り付けている。 (主学)時刻に関心を向け、日常生活に関連して対応しようとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「測定」 ・時刻や時間	・時間の単位(時、分)について知る。 ・長針と短針の示す時間を理解し、時計の表示から時刻を読み取ったり、時刻の表示されたカードから選んだりする。 ・1日の時間の流れに沿って、活動イラストを順に貼り付ける。 ・自分の生活と時刻を関連付け、それぞれの生活の時刻を時計の絵カード等から選ぶ。
	5	(知及技)長さ、広さなどの量を直接比べる方法について理解し、比較することができる。【小3段階Cア㉛】 (思判表力)身の回りのもの長さ・広さについて、その単位に着目し大小を比較したり、表現したりする。【小3段階C測定】 (学・人)測定に関心をもち、生活や学習に活用することができる。【中1段階】	(知・技)長さについて、比較物と端を揃えてまっすぐに並べている。広さについて、比較物と2辺を揃えて並べている。 (思・判・表)長さ・広さについて、色板やタイル等を使い2つの比較物の「〇個分」から、長い方(短い方)・広い方(狭い方)を選択している。 (主学)測定に関心をもち、興味を持って学習に取り組んでいる。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「C測定」 ・長さ ・広さ	・長さや高さなどの量の大きさを知る。 ・2つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べ、「長い・短い、高い・低い」を判断する。 ・「広い・狭い」の用語を知る。 ・2つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べ「広い・狭い」を判断する。
	10	(知及技)減法が用いられる求残や減少等の場合について理解し、20までの数の範囲で減法の計算ができる。【小3段階Aイ㉜㉝】 (思判表力)「残りはいくつ?」「違いはいくつ?」等の文言から減法が用いられる場面を式に表すことができる。【小3段階Aイ㉜】 (学・人)進んで学習に参加し、具体物の差を求められることができる。【中1段階】	(知・技)減法の意味(求残・求差)を理解し、1位数同士の減法の計算をしている。 (思・判・表)日常生活の中から加法と減法の必要な場面をみつけ、言葉や磁石、絵カード等を使って式に表している。 (主学)進んで学習に参加し、具体物の差を求めようとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「数と計算」 ・減法の意味 ・減法の式 ・減法の計算	・おはじき・磁石等を用いて差を求める。 ・「残りはいくつ?」「違いはいくつ?」等の言葉の意味を具体物を用いて確認し、式で表して答えを求める。 ・1位数同士の減法の計算をする。 ・20までの数の範囲で減法の計算をする。

2 学 期	10	(知・技)もの形の形に着目し、身の回り にあるもの特徴を捉えることができ る。また、前後・左右・上下等方向 や位置に関する言葉を用いて、もの の位置を表すことができる。【小3段階 Bア④】 (思判表力)身の回りにあるものから、 いろいろな形を見つけたり、具体物を 用いて形を作ったり分解したりする。 【小3段階Bア④】 (学・人)身の回りにあるものの形を図 形として捉え、生活や学習に活用しよ うとすることができる。【中1段階】	(知・技)丸、三角、四角がそれぞれど のような形であるかを理解し、弁別し ている。また、方向・位置に関する言 葉「前後・左右・上下」を聞いて、体 を動かしたり具体物を操作したりして いる。 (思・判・表)色板・棒・積み木を組み合 わせ、三角形・四角形、家やロケット 等を作っている。 (主学)身の回りにあるものの中から図 形を見つけ、生活や学習に活用しよ うとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「図形」 ・丸、三角、四角 ・位置関係	・丸、三角、四角の特徴を知り、形の弁別をする。 ・もの形に着目し、身の回りにあるもの特徴をと らえ、形をわける。 ・丸、三角、四角の形を使って、具体物をくつる。 ・「方向・位置」に関する言葉「前後・左右・上下」 を聞いて、体を動かしたり具体物を操作する。
	6	(知・技)重さ、かさなどの量を直接比 べる方法について理解し、比較する ことができる。【小3段階Cア④】 (思判表力)身の回りのものの重さ、か さについて、その単位に着目し大小を 比較したり、表現したりする。【小3 段階C測定】 (学・人)測定に関心をもち、生活や学 習に活用することができる。【中1段 階】	(知・技)重さについて、天秤が水平 かを確認してから、比んでいる。かさ について、同じ大きさの空のカップを 使って比んでいる。 (思・判・表)かさについて、カップ「〇 個分」と表現している (主学)測定に関心をもち、興味を 持って学習に取り組んでいる。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「C測定」 ・長さ ・広さ ・重さ ・かさ	・「重い・軽い」の用語を知る。 ・天秤を用いて2つの量を比べ、「重い・軽い」を判 断する。 ・「多い・少ない」の用語を知る。 ・2つの量の大きさについて、一方を基準にして相対 的に比べ「多い・少ない」を判断する。
3 学 期	8	(知・技)硬貨の種類や金銭の扱い方 に関心を持つことができる。【生活小3 段階ク(イ)】 (思判表力)簡単な金銭の扱いが できる。【生活小3段階ク(ア)】 (学・人)金銭に関心を向け、日常生活 に関連して対応することができる。 【中1段階】	(知・技)硬貨の種類や金銭の扱い方 に関心をもちようとしている。 (思・判・表)教師と一緒に簡単な金銭の 扱いをしようとしている。 (主学)金銭に関心を向け、日常生活に 関連して対応しようとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「金銭」 ・お金の種類を知ろう。 ・お金の支払いを体験してみ よう。	・硬貨の種類やそれぞれの金額を知る。 ・お金の数え方や表し方を知る。 ・教師が示した硬貨を、複数の硬貨から選ぶ ・教師が示した金額を同じ硬貨で数えてだす。 ・2種類以上の硬貨の混じった金額がわかる。 ・値段がちょうどのお金を出す。 ・模擬買い物学習をする。 ・模擬買い物を通して、自分の好きな商品を選び、そ の値段に合わせた硬貨を選び、支払う。
	10	(知・技)ものもとの対応やものの 個数について、簡単な絵や図に表して 整理したり、それらを読んだり、比較 したりすることができる。【小3段階 Dア④】 (思判表力)個数の把握や比較のため に簡単な絵や図、記号に置き換えて簡潔 に表現することができる。【小3段階 Dア④】 (学・人)データの活用に関心をもち、 生活や学習に活用することができる。 【中1段階】	(知・技)「A数と計算」に関連さ せ、得点を数え、得点のシールや磁石 を使って一覧表で表している。一覧表 をみて、友達の作成した表と比べ、 「同じ」や「違い」「多い」「少な い」に気付いている。 (思・判・表)一覧表をみて、順位をつ けたり提示された順番に並び替えたりし ている。簡単な絵や図、記号に置き換 えて簡潔に表現している。 (主学)データの活用に関心をもち、興 味を持って学習に取り組んでいる。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「データの活用」 ・事象の置き換え ・表やグラフ	・ものもとの対応や物の個数について、簡単な絵 や図に表して整理する。 ・ゲームをして、「数と計算」に関連させ、得点を数 え、得点のシールや磁石を使って一覧表で表す。 ・一覧表をみて、友達の作成した表と比べ、「同じ」 や「違い」「多い」「少ない」に気づき、順位をつ けたり提示された順番に並び替える。
留意点 引継ぎ等	生徒の実態や学習到達度、学習状況に応じて段階を調整する。また、単元等の順番を入れ替えて学習する場合もある。				

令和8年度 中学部2年（Ⅱ課程A）数学科 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	2学年Ⅱ課程A		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。(中2段階) (思判表力)日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。(中1段階) (学・人)数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。(中1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4	(知及技)十進位取り記数法を使って、3位数までの数で表すことができる。【中1段階Aア④⑤】 (思判表力)数のまとまりに着目し、考察する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や数え方を考えることができる。【中1段階Aア⑦】 (学・人)数のまとまりと数え方、表し方の関係に着目することの有用さを感じ、日常生活の金銭の取扱いに興味関心を持って取り組むことができる。【中1段階】	(知・技)十が10個集まると百になること百が10個集まると千になることを理解し、「一・十・百・千」の位取りに注意しながら表している。 (思・判・表)2位数の考え方を基にして、3位数へと考察する範囲を広げて数の大きさの比べ方や数え方を考えている。また数の大小を比べたり並べたりしている。 (主学)10や100のまとまりに着目して数を数えることの良さに気付くことができ、日常生活の金銭の取扱いに興味関心を持って取り組んでいる。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「数と計算」 ・数のまとまり ・十進法位取り記数法 ・金銭処理	・3位数を100のまとまり、10のまとまりの個数と端数として表す。 ・4位数を1000のまとまり、100のまとまり、10のまとまりの個数と端数として表す。 ・一円玉100個と百円玉1個で、どちらが数えやすいかを比べてみる。 ・お金(紙幣・硬貨)などの具体物を利用して、数の数え方や表し方を考える。 ・大きい位から小さい位に向けて数の大小を比べる。 ・商品の値段を比べて、どちらが安いかを考える。
	6	(知及技)2位数の加法及び減法について理解し、その計算ができる。【中1段階Aイ④⑤】 (思判表力)数量の関係に着目し、数を適用する範囲を広げ、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすことができる。【中1段階Aイ⑦】 (学・人)日常生活における2位数の計算の必要性に気付くことができる。【中1段階】	(知・技)十のまとまりを捉えることで簡単な2位数の加法及び減法についての計算をしている。また、筆算の有用性を理解し、計算機を使って確かめをすることができる。 (思・判・表)2位数を十のまとまりと端数にわけて考えることで、計算の仕方を導き出そうとしている。 (主学)具体的な例について考える中で2位数の計算の必要性を見いだせる。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「数と計算」 ・2位数の加法・減法 ・筆算	・1位数の加法について、繰り上がりの計算を復習する。 ・2位数の加法について、繰り上がりの計算を考える。 ・2位数の減法について、繰り下がりの計算を考える。 ・カレンダーや時間の計算等、教室の中で、加法・減法で表されるものを見つける。 ・品物を複数購入した時の代金を求める。
	5	(知及技)1/10, 1/100の位までの数の小数の表し方を知ることができる。【中2段階Aオ④】 (思判表力)数のまとまりに着目し、考察する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や数え方を考えることができる。【中2段階Aオ⑦】 (学・人)小数について理解し、身のまわりで分数や小数が使われているものを見つけることができる。【中1段階】	(知・技)1/10の位までの数の小数の表し方について知ろうとしている。 (思・判・表)数のまとまりに着目し、考察する範囲を広げながら、分数では分母の大きさに反比例して数の大きさが変わる等数の比べ方や数え方を考えようとしている。 (主学)小数について理解し、身のまわりで分数や小数が使われているものを見つけようとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「数と計算」 ・小数	・小数の表し方を知る。 ・元の大きさと分けた大きさの関係や、分けた大きさは全て等しいことに着目し、分数について考える。 ・整数で表せない端数部分の大きさの表し方を考えて説明し、分数や小数で表されるものを見つける。
	5	(知及技)目盛の原点を対象の端に当てて測定したり、長さの単位 [mm, cm, m, km] で表すことができる。【中1段階Cア④】 (思判表力)身の回りのものの特徴に着目し、目的に適した単位で量の大きさを表現したり、比べたりすることができる。【中1段階Cア⑦】 (学・人)身の回りにあるものの長さに関心をもつことができる。【中1段階】	(知・技)目盛の原点を対象の端に当てて測定し、長さの単位 [mm, cm, m, km] で表そうとしている。 (思・判・表)適切な長さの器具を用いて計量しようとしている。その結果をもとに、比較しようとしている。 (主学)身の回りにあるものの長さに関心をもち、学習したことを使って表現しようとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「測定」 ・ものさしの使い方 ・長さの単位 [mm, cm, m, km]	・ものさしの使い方を確認し、直線を引く。(知及技に関する活動) ・1 cm = 10 mm, 1 m = 100 cmであることを知る。(知及技に関する活動) ・教室や学校内にあるものの長さの単位を予想し、実際に計量する。(思判表力に関する活動) ・10 cmの長さを紙テープなどで作成し、身の回りのものと比べ、量感を身に付ける。(学・人に関する活動)

	6	(知及技)時間の単位について知り、日常生活に必要な時刻や時間を求めることができる。【中1段階Cイ㉔、㉕】 (思判表力)時間の単位に着目し、簡単な時刻や時間の求め方を日常生活に生かすことができる。【中1段階Cイ㉔】 (学・人)時刻や時間に関心をもち、数学的に表現・処理したことを振り返ることができる。【中1段階】	(知・技)時間の単位について知り、日常生活に必要な時刻や時間を求めようとしている。 (思・判・表)時間の単位に着目し、簡単な時刻や時間の求め方を日常生活に生かそうとしている。 (主学)時刻や時間に関する言葉を使って、身の回りのことを表現しようとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「測定」 ・時間の単位 ・時刻	・長針と短針の示す時間を理解し、時計の表示から時刻を読み取りの復習。 ・時間の単位(時、分)についての復習。 ・1時間=60分、1分=60秒を確認し、時間の計算をする。 ・日課表やバスの時刻表を見て、開始時刻や終了時刻を判断したり、1日のタイムスケジュールを立てたりする。 ・睡眠時間や食事の時間、息を止められる時間等、適切な時間の単位を用いて表す。
	10	(知及技)基本的な図形が分かり、その図形を書いたり、簡単な図表を作ったりすることができる。【中1段階Bア㉑、㉒、㉓、㉔、㉕】 (思判表力)図形を構成する要素に着目し、構成の仕方を考えることができる。【中1段階Bア㉑】 (学・人)身の回りにあるものの形の中に三角形、四角形があることに気付くことができる。【中1段階】	(知・技)基本的な図形が分かり、紙を折って直角を作ったり、長方形や正方形などを作図することができる。 (思・判・表)辺や頂点など図形を構成する要素に着目し、三角形や四角形、長方形や正方形などの特徴を見出したり、表に整理することができる。 (主学)身の回りにあるものの形をよく観察して、三角形や四角形を見つけようとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「図形」 ・直線 ・三角形 ・四角形 ・直角 ・直角三角形 ・正方形と長方形	・三角形や四角形が、それぞれ3本、4本の直線で囲まれている図形ということを知る。 ・いろいろな三角形、四角形を作図する。 ・身の回りのものの中から、三角形、四角形の形をしたものを見つける。 ・直角を紙を折って作る。 ・直角、頂点、辺、及び面の定義を知り、正方形、長方形及び直角三角形の構成について考える。 ・身の回りのものの中から正方形、長方形、直角三角形の形をしたものを見つける。
2 学期	6	(知及技)角の大きさを測定することができる。【中2段階Bウ㉗】 (思判表力)角の大きさの単位に着目し、それぞれ求め方を考えることができる。【中2段階Bウ㉗】 (学・人)角の大きさの求め方を理解し、身の回りの図形の角の大きさを求めることができる。	(知・技)角の大きさを測定しようとしている。 (思・判・表)角の大きさの単位に着目し、求め方を考えようとしている。 (主学)面積の求め方や角の大きさの求め方を理解し、身の回りの図形の角の大きさを求めようとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「図形」 ・角度	・角の意味や角の大きさの相等や大小を理解する。 ・身の回りの角の大きさを求める。
	10	(知及技)乗法について知り、乗法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ることができる。【中1段階Aウ㉑、㉒】 (思判表力)数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすことができる。【中1段階Aウ㉑】 (学・人)数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理や乗法よさに気づくことができる。【中1段階】	(知・技)絵や具体物で表されているものを見て乗法を用いて式に表したり、式を読み取って絵や具体物で表したりできる。 (思・判・表)累加としての乗法の意味を調べる活動に取り組みながら、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見出そうとしている。 (主学)乗法を用いると式が簡潔・明瞭に表されることを理解し、乗法九九の必要性を感じている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「数と計算」 ・1位数同士の乗法 ・九九 ・金銭処理	・「1つ分の数」「いくつ分」をとらえ、「1つ分の数」と「いくつ分」の関係の場合に乗法が用いられることを知る。 ・九九表を完成させ、十の段を作る。 ・例えば $9+9+9+9=9 \times 4=36$ と表されることを確認する。 ・お金 ・計算機を利用して、値段×人数の代金を求める。
3 学期	10	(知及技)身の回りにある数量を簡単な表やグラフに表したり、読み取ったりすることができる。【中1段階Dア㉑】 (思判表力)身の回りの事象に関するデータを整理する観点に着目し、簡単な表やグラフを用いながら読み取ったり、考察したりすることができる。【中1段階Dア㉑】 (学・人)身の回りの事象に関心をもち、グラフや表を用いて、数学的に表現・処理することができる。【中1段階】	(知・技)具体物の数量を、簡単な表やグラフで表している。また、表やグラフから数値を読み取ることができる。 (思・判・表)表のグラフの比較から、物の順位を判断したり、順番に並び替えたりと考察しようとしている。 (主学)自分で調べたデータを整理し、グラフや表を用いて、表現・処理しようとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「データの活用」 ・データの分類 ・グラフの作成と読み取り	・バラバラに散らばっているデータから表やグラフを作成する。(知及技に関する活動) ・好きな食べ物や好きな動物などのグラフから一番多いものや一番少ないものなどを読み取る。(思判表力に関する活動) ・一週間の授業の各教科のコマ数や一週間の体温の測定結果などをまとめて、表にしたりグラフに表したりする。(学・人に関する活動)
	8	(知及技)かさの単位[mL、dL、L]について知り、測定の意味を理解できる。【中1段階Cア㉑】 (思判表力)身の回りのものの特徴に着目し、目的に適した単位で量の大きさを比べることができる。【中1段階Cア㉑】 (学・人)身の回りにある入れ物に入る水の体積に関心をもち、数学的に表現・処理することができる。【中1段階】	(知・技)計量カップや計量スプーンを使って、計量することができる。 (思・判・表)測定する対象の大きさや形状に応じた単位や計器を適切に選んで測定し、量を数値化して比較しようとしている。 (主学)身の回りに入る入れ物に入る水の体積に関心をもち、学習したことを用いて表現・処理しようとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「測定」 ・量の単位[mL、dL、L]	・かさの単位[mL]、(dL)、(L)を知る。(知及技に関する活動) ・1L=10dLであることを知る。 ・計量カップや計量スプーンについて知り、数値の読み方を学ぶ。 ・様々な量を計量する。 ・身の回りに入る入れ物に入る水の量の単位を予想・計測・記録する。(学・人に関する活動) ・粉ミルクや粉ジュースを計量して実際につくる。
留意点 引継ぎ等	生徒の実態や学習到達度、学習状況に応じて段階を調整する。また、単元等の順番を入れ替えて学習する場合もある。				

令和8年度 中学部3年（Ⅱ課程A）数学科 年間指導計画

単位数 ／ 配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	3学年Ⅱ課程A		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。(中2段階) (思判表力)日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。(中1段階) (学・人)数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。(中2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4	(知及技)十進位取り記数法を使って、4位数までの数を表すことができる。【中2段階Aア④⑤】 (思判表力)数のまとまりに着目し、考察する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や数え方を考えることができる。【中2段階Aア⑦】 (学・人)数のまとまりと数え方、表し方の関係に着目することの有用さを感じ、日常生活の金銭の取扱いに興味関心を持って取り組むことができる。【中2段階】	(知・技)十が10個集まると百になること百が10個集まると千になることを理解し、「一・十・百・千」の位取りに注意しながら表している。 (思・判・表)2位数の考え方を基にして、3位数へと考察する範囲を広げて数の大きさの比べ方や数え方を考えている。また数の大小を比べたり並べたりしている。 (主学)10や100のまとまりに着目して数を数えることの良さに気付くことができ、日常生活の金銭の取扱いに興味関心を持って取り組んでいる。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「数と計算」 ・数のまとまり ・十進法位取り記数法 ・金銭処理	・3位数を100のまとまり、10のまとまりの個数と端数として表す。 ・4位数を1000のまとまり、100のまとまり、10のまとまりの個数と端数として表す。 ・一円玉100個と百円玉1個で、どちらが数えやすいかを比べてみる。 ・お金(紙幣・硬貨)などの具体物を利用して、数の数え方や表し方を考える。 ・大きい位から小さい位に向けて数の大小を比べる。 ・商品の値段を比べて、どちらが安いか考える。
	10	(知及技)3位数までの加法及び減法について理解し、その計算ができる。【中1段階Aイ④⑤⑥】 (思判表力)数量の関係に着目し、数を適用する範囲を広げ、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすことができる。【中1段階Aイ⑦】 (学・人)日常生活における2位数や簡単な3位数の計算の必要性に気付くことができる。【中2段階】	(知・技)百のまとまりを捉えることで簡単な3位数の加法及び減法についての計算をしている。また、筆算の有用性を理解し、計算している。計算機を使って確かめをすることができる。 (思・判・表)2位数を十のまとまりと端数にわけて考えることで、計算の仕方を導き出そうとしている。また、2位数の加減法の筆算から3位数の計算方法を類推することができる。 (主学)具体的な例について考える中で2位数や簡単な3位数の計算の必要性を見いだせる。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「数と計算」 ・3位数の加法・減法 ・筆算	・1位数の加法について、繰り上がりの計算を復習する。 ・2位数の加法について、繰り上がりの計算を考える。 ・2位数の減法について、繰り下がりの計算を考える。 ・2位数の加減法の筆算から3位数の計算方法を類推する。 ・3位数の筆算。 ・カレンダーや時間の計算等、教室の中で、加法・減法で表されるものを見つける。 ・品物を複数購入した時の代金を求める。
	6	(知及技)1/2、1/4など簡単な分数について知ることができる。【中2段階Aカ⑦】 (思判表力)数のまとまりに着目し、考察する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や数え方を考えることができる。【中2段階Aカ⑦】 (学・人)分数について理解し、身のまわりで分数や小数が使われているものを見つけることができる。【中2段階】	(知・技)1/2、1/4など簡単な分数について知ろうとしている。 (思・判・表)数のまとまりに着目し、考察する範囲を広げながら、分数では分母の大きさに反比例して数の大きさが変わる等数の比べ方や数え方を考えようとしている。 (主学)分数について理解し、身のまわりで分数や小数が使われているものを見つけようとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「数と計算」 ・分数	・分数の表し方を知る。 ・元の大きさと分けた大きさの関係や、分けた大きさは全て等しいことに着目し、分数について考える。 ・整数で表せない端数部分の大きさの表し方を考えて説明し、分数や小数で表されるものを見つける。
	6	(知及技)時間の単位について知り、日常生活に必要な時刻や時間を求めることができる。【中1段階Cイ④、⑤】 (思判表力)時間の単位に着目し、簡単な時刻や時間の求め方を日常生活に生かすことができる。【中1段階Cイ⑦】 (学・人)時刻や時間に関心を持ち、数学的に表現・処理したことを振り返ることができる。	(知・技)時間の単位について知り、日常生活に必要な時刻や時間を求めようとしている。 (思・判・表)時間の単位に着目し、簡単な時刻や時間の求め方を日常生活に生かそうとしている。 (主学)時刻や時間に関する言葉を使って、身の回りのことを表現しようとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「測定」 ・時間の単位 ・時刻	・長針と短針の示す時間を理解し、時計の表示から時刻を読み取りの復習。 ・時間の単位(時、分)についての復習。 ・1時間=60分、1分=60秒を確認し、時間の計算をする。 ・日課表やバスの時刻表を見て、開始時刻や終了時刻を判断したり、1日のタイムスケジュールを立てたりする。 ・睡眠時間や食事の時間、息を止められる時間等、適切な時間の単位を用いて表す。

2 学期	10	(知及技)二等辺三角形や正三角形をコンパスなどを用いて作図することができる。【中2段階Bア㊦】 (思判表力)図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察して、図形の性質を見いだすことができる。【中2段階Bア㊦】 (学・人)二等辺三角形や正三角形の意味や性質、円の性質を振り返り、円を用いた作図に生かすことができる。【中1段階】	(知・技)二等辺三角形や正三角形をコンパスなどを用いて作図しようとしている。 (思・判・表)図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察して、図形の性質を見いだしている。 (主学)二等辺三角形や正三角形の意味や性質、円の性質を振り返り、円を用いた作図に生かそうとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「図形」 ・二等辺三角形 ・正三角形	・コンパスを使用し、二等辺三角形の作図の仕方を理解し、作図する。(知及技に関する活動) ・コンパスのもつ性質に着目して、二等辺三角形の簡単な作図の仕方を考える。 ・二等辺三角形や正三角形の作図の仕方を、円の性質を用いて考え、説明する。
	10	(知及技)面積の求め方について知り、求めることができる。【中2段階Bイ㊦】 (思判表力)面積の単位に着目し、それぞれ求め方を考えることができる。【中2段階Bイ㊦、ウ㊦】 (学・人)面積の求め方を理解し、身の回りの図形の面積を求めることができる。【中2段階】	(知・技)面積の求め方について知り、求めようとしている。 (思・判・表)面積の単位に着目し、求め方を考えようとしている。 (主学)面積の求め方を理解し、身の回りの図形の面積を求めようとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「図形」 ・面積	・面積の単位「平方センチメートル (cm^2)」を知る。 ・面積の意味や 1cm^2 の大きさに着目し、面積の表し方を考える。 ・身の回りの図形の面積を求める。
	6	(知及技)除法が用いられる場合や意味について理解し、除法が用いられる場面を式にしたり、式を読み取ることができる。【中2段階Aエ㊦、㊧】 (思判表力)除法に着目し、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすことができる。【中2段階Aエ㊦】 (学・人)文章から除法の式を立て、等分除や包含除の違いについて考えることができる。【中1段階】	(知・技)除法が用いられる場合や意味について理解し、除法が用いられる場面を式にしたり、式を読み取ろうとしている。 (思・判・表)除法に着目し、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだしている。 (主学)文章から除法の式を立て、等分除や包含除の違いについて考えようとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「数と計算」 ・1位数の除法(余り無し、余り有り) ・金銭処理	・除法に関する用語、記号を知り、計算をする。 ・図や式などから、除法は乗法を用いて解くことができると気づく。 ・等分除と包含除の問題を見比べて、違いを話し合う。 ・計算機を利用して、代金÷人数をして、1人当たりの金額を求める。
3 学期	10	(知及技)簡単な場合について、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを知る事ができる。【中2段階Cイ㊦】 (思判表力)日常生活における数量の関係に着目し、図や式を用いて、二つの数量の関係を考察することができる。(中2段階Cイ㊦) (学・人)問題場面や数量の関係、倍の意味について考えた過程を振り返り、数理的な処理のよさに気づくことができる。【中1段階】	(知・技)簡単な場合について、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを知ろうとしている。 (思・判・表)日常生活における数量の関係に着目し、図や式を用いて、二つの数量の関係を考察している。 (主学)問題場面や数量の関係、倍の意味について考えた過程を振り返ろうとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「変化と関係」 ・二つの数量 ・割合	・数量の関係やテープ図、式を用いて比較量を求める。 ・比較量を求める場合は乗法を用いればよいことを図や式を用いて考える。 ・身の回りや、比較できそうなものを探し、比較する。 ・数量の関係をテープ図や数直線、□を使った式などを用いて考え、基準量を求める。 ・基準量を求めるために、□を用いて乗法の式に表し、除法を用いて□を求めればよいことを、図や式を用いて説明する。 ・□を使った乗法の式を用いて基準量を求めたことを振り返る。
	8	(知及技)表や棒グラフ、折れ線グラフの意味やその使い方理解することができる。【中2段階Dア㊦】 (思判表力)身の回りの事象に関するデータを整理し、表や棒グラフを読み取ることができる。【中2段階Dア㊦】 (学・人)問題解決の過程やデータを分類整理した結果、棒グラフや折れ線グラフを活用した過程を振り返ることができる。【中1段階】	(知・技)表や棒グラフ、折れ線グラフの意味やその使い方理解しようとしている。 (思・判・表)身の回りの事象に関するデータを整理し、表や棒グラフを読み取ろうとしている。 (主学)問題解決の過程やデータを分類整理した結果、棒グラフや折れ線グラフを活用した過程を振り返ろうとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「データの活用」 ・表 ・棒グラフ ・折れ線グラフ	・データを棒グラフに表すと、数量の大小や差が分かりやすいことや、棒グラフの読み取り方を理解する。(知及技に関する活動) ・折れ線グラフの特徴や読み取り方を理解し、情報を適切に読み取る。(知及技に関する活動) ・棒グラフの読み取り方、折れ線の傾きに着目し、数値の変わり方について考える。(思判表力に関する活動) ・目的に応じてデータの整理の仕方を考えた過程を振り返る。(学・人に関する活動)
留意点 引継ぎ等	生徒の実態や学習到達度、学習状況に応じて段階を調整する。また、単元等の順番を入れ替えて学習する場合もある。				

令和8年度 中学部 2・3年（Ⅱ課程 Bグループ）数学科 年間指導計画

単位数 /配当時間	児童生徒	担当者	教科書／副教材		
2/70	中学部Ⅱ課程B				
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標	(知及技)身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりして、上下や前後、形の違い、量の大きさに気付くとともに、数量に関心をもって関わることについての技能を身につけることができる。(小2段階) (思判表力)身の回りのものの有無や数的要素、ものの形、大きさや長さなどの量の違いに注目し、数量や図形に関心をもって関わるとともに、形の違いを捉えたり、量の大きさにより区別したりすることができる。(小2段階) (学・人)数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとすることができる。(小2段階)				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	5	(知及技)身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりすることができる。【小1段階Aア①②】 (思判表力)ものとの関連付けに注意を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり、表現したりすることができる。【小1段階Aイ①②】 (学・人)対象物に興味関心を示し、学習に取り組もうとすることができる。【小1段階】	(知・技)身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりしている。 (思・判・表)色や形に着目し、玩具を組み合わせている。 (主学)教師の言葉かけを聞いて、対象物に注意を向け、自ら取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子	「数量の基礎」 ・さがしてみよう ・おなじくばろう ・あわせてみよう	・具体物を指さしたり、つかもうとしたり、目で追う。 ・目の前で隠されたものを探す。 注視することによって特定の物を取り出す。 ・ものや人の名称を聞き、そのものを見る、指を差す、触れる、持ち上げる。 ・お皿の上に同じ形のお皿を重ねる。トレイにお椀やお箸、果物、牛乳を一つずつ置いていく等 ・食べ物や乗り物、動物等の分割した絵カードを組み合わせる。似ている物同士の絵カードを組み合わせる。
	8	(知及技)ものの有無に気付き、3までの範囲で具体物をとったり対応させたりすることができる。また、5までの範囲で数唱することができる。【小1段階Bア①②③】 (思判表力)数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。【小1段階Bア①】 (学・人)対象物に興味関心を示し、学習に取り組もうとすることができる。【小1段階】	(知・技)3までの範囲で具体物に対応させて操作している。 (思・判・表)教師と一緒に数えながら、3つの具体物を取ったり、置いたりしている。 (主学)教師と一緒に具体物を操作する楽しさを味わい、関心をもって学習に取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子	「数と計算」 ・あるかな？ ・かぞえよう	・ものの「ある」「ない」に気付く。目の前の皿の中の物を減らしていき、最後になくなったことに気付く。 ・3の個数で、指さし等をしなが、数詞とものを対応させて個数を正しく数える。 ・3までの範囲で指示された数のものを取る。 ・1～3の範囲で、数える対象や置き方が変わっても、数が変わらないことがわかる。 ・5までの範囲で数を数える。
	8	(知及技)10までの数について、数詞を唱えたり、個数を数えたり、数の大小を比べたりすることができる。【小2段階Aア①②】 (思判表力)日常生活の事象について、ものの数に着目し、具体物や図なを用いながら数の数え方を考え、表現することができる。【小2段階Aア①】 (学・人)数量に興味関心を示し、学習に取り組もうとすることができる。【小2段階】	(知・技)10までの範囲で具体物に対応させて操作している。 (思・判・表)鉛玉・車・折り紙の数え方の違いに気付くことができ、表現しようとしている。 (主学)教師と一緒に具体物を操作する楽しさを味わい、関心をもって学習に取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子	「数と計算」 ・かぞえよう (鉛玉・車・おりがみ) ・配ろう ・お買い物	・タイル、数字、具体物を結びつけて数について学ぶ。 ・数唱しながら物を取ったり配ったりする。また、物に対応させて配る。色や形、位置が変わっても、数は変わらないことに気づく。 ・数の系列が分かり、順序や位置を表すのに数を用いる。 ・具体物を見ながら、大小を考える。
	5	(知及技)時計の歌や映像を通して、時計の針の動きや役割を知ることができる【小3段階Cイ①】 (思判表力)朝・昼・夜の特徴(明るさ・活動の違いなど)を比べ、今の場面をどの時間帯に分類できるか考えることができる。【小3段階Cイ①】 (学・人)身のまわりの時計に気づき、時刻や時間に関心をもつことができる【小2段階】	(知・技)時計の歌や映像を通して、時計の針の動きや役割を知ろうとしている。 (思・判・表)絵カード等を使って、分類することができる。【小3段階Cイ①】 (主学)身のまわりの時計に気づき、時刻や時間に関心をもとうとしている。	「測定」 ・時計	・「時計の歌」を歌いながら、時刻について学ぶ。 ・歌や絵本などの活動を通して時計の概念に親しみ、短い針・長い針の動きに自然に触れることができるようにする。
2 学期	14	(知及技)身の回りにあるものの形に関心を持ち、丸や三角、四角という名称を知ることができる。【小2段階Bイ①】 (思判表力)身の回りにあるものの形に関心を持って、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすることができる。【小2段階Bイ①】 (学・人)身の回りにあるものの形に興味関心を向け、学習に取り組もうとすることができる。【小2段階】	(知・技)丸や三角、四角という名称と形を一致させている。 (思・判・表)身の回りにあるものを色や形でわけようとしている。身の回りの物を○△□にわけようとしている。 (主学)進んで学習に取り組む、身の回りのものにあるものを探したり分類したりしようとしている。 【評価資料】 活動の様子	「図形」 ・みつけよう ・おなじかたち ・なかまわけしよう ・身の回りにあるものを分けてみよう	・「似ている形」の物や「同じ形」の物「違う形」の物を集める。 ・2種類の形の物を形に着目して分ける。 ・見本の写真やイラストを見て、同じ物を選ぶ。 ・同色の○△□を分類する。 ・同色で様々な大きさの○△□を分類する。 ・様々な色、大きさの○△□を分類する。 ・身の回りにあるものを○△□に分類する。 ・集合体の中にある異なる形を見つける。
	12	(知及技)硬貨の種類や金銭の扱い方に関心を持つことができる。【生小1段階イ】 (思判表力)教師と一緒に簡単な金銭の扱いができる。【生小1段階イ】 (学・人)金銭に興味関心を示し、学習に取り組もうとすることができる。【小1段階】	(知・技)硬貨の種類や金銭の扱い方に関心をもとうとしている。 (思・判・表)教師と一緒に簡単な金銭の扱いをしようとしている。 (主学)金銭に興味関心を示し、関心をもって学習や日常生活の金銭の扱いに取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子	「金銭」 ・お金の種類を知ろう。 ・お金の支払いを体験してみよう。	・金銭を大切に扱うことを知る。 ・硬貨の種類やそれぞれの金額を知る。 ・教師が示した硬貨を、複数の硬貨から選ぶ。 ・模擬買い物を通して、自分の好きな商品を選び、その値段に合わせた硬貨から支払う。

3 学 期	13	<p>(知及技)身の回りにおける具体物の長さや重さなどの量の大きさに注目し、量の大きさの違いが分かる【小2段階Cア㊦】</p> <p>(思判表力)量に着目し、二つの量を比べる方法が分かり、一方を基準にして他方と比べることができる。【小2段階Cア㊦】</p> <p>(学・人)長さや重さなどの量の大きさに興味関心を示し、学習に取り組もうとすることができる。【小2段階】</p>	<p>(知・技)提示された2つのものを比較して、指示された方を選ぶことができる。</p> <p>(思・判・表)2つの具体物を比較して、言葉や指さし、身振りで大小・長短を表現しようとしている。言葉や指さし、身振りで量の多少を表現しようとしている。</p> <p>(主学)大小、長短、軽重の違いに関心をもち、学習に取り組もうとしている。</p> <p>【評価資料】 活動の様子</p>	<p>【測定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ながいのどーれだ ・重いどーれだ 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びや体験的な活動を通して、大きさや長さや量の違いに気付く。 ・「大きい・小さい」を言葉や指さし、身振りで表現する。 ・「長い・短い」を言葉や指さし、身振りで表現する。 ・「多い・少ない」を言葉や指さし、身振りで表現する。 ・「重い・軽い」を言葉や指さし、身振りで表現する。 ・絵本や紙芝居を見て、測定について感じる。 「(絵本)くらべてみよう たかさくらべ」等
	5	<p>(知及技)身近なものを目的・用途等に着目して分類することができる。【小2段階Dア㊦】</p> <p>(思判表力)身近なものの色や形等の共通点や相違点に気付き表現することができる。【小2段階Dイ㊦】</p> <p>(学・人)分類に興味関心を示し、学習に取り組もうとすることができる。【小2段階】</p>	<p>(知・技)身近なものを目的・用途等に着目して分類している。</p> <p>(思・判・表)身近なものの色や形等の共通点や相違点に気付き分類することができる。</p> <p>(主学)教師と一緒に具体物を操作する楽しさを味わい、関心をもって学習に取り組もうとしている。</p> <p>【評価資料】 活動の様子</p>	<p>「データの活用」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わけてみよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なものの絵カードを目的・用途別に分類する。 ・ものともとの対応や物の個数について、簡単な絵や図に表して整理する。
留意点 引継ぎ等	生徒の実態や学習到達度、学習状況に応じて、単元等の順番を入れ替えて学習する場合もある。				

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	1～3学年Ⅱ課程-A①		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 自然の事物・現象について気付き、観察・実験等に関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(中理科1段階) (思判表力) 観察、実験などを行い、疑問を持ち表現する力を養う。(中理科1段階) (学・人) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを日常生活に生かそうとする態度を養う。(中理科1段階)
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	(知及技) 身の回りの生物の様子に気づき、観察・実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中1段階A生命ア(ア)①) (思判表力) 身の回りの生物から共通点や差異点に気づき、表現することができる。(中1段階A生命ア(イ)) (学・人) 身の回りの生物について関心をもち生物を愛護することができる。(中1段階A生命ウ)	(知・技) 生物は、色、形、大きさなど姿に違いがあること、昆虫や植物の育ち方には一定の順序があることを理解し、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けている。 (思・判・表) 身の回りの生物について調べる中で、共通点や差異点に気づき、疑問を持ち、表現しようとしている。 (主学) 身の回りの生物の様子について関心をもち、生物を愛護することができる。 【評価資料】 授業の様子、プリント、発言や表情、仕草等	【身の回りの生物】 ・身の回りにおける植物や昆虫を調べてみよう。	・虫眼鏡の使い方や注意点を学ぶ。 ・校内の植物や昆虫などを観察や記録の仕方を覚える。
	10	(知及技) 天気による1日の気温の変化や季節の特徴を知ることができる。(小生活2段階サ生命・自然(イ)) (思判表力) 天気による1日の気温の変化や季節の特徴について表現しようとするすることができる。(小生活2段階サ生命・自然(ア)) (学・人) 天気予報や台風情報に関心をもちることができる。(小生活3段階サ生命・自然) ※中理科2段階A生命イ季節と生物と関連付ける	(知・技) 天候の変化や季節の特徴(夏は暑く、冬は寒い等)についての教師の説明等を聞いた質問に答えようとしている。 (思・判・表) 天候の変化に気付いたり、空の様子を確認し表現しようとしている。 (主学) 天気を気にしたり、天気予報の情報を見聞きする等して、天気予報や台風情報に関心を示している。 【評価資料】 授業の様子、プリント、発言や表情、仕草等	【天候の様子】 ・天気による一日の気温の変化を調べよう ・水の自然蒸発	天候の変化、季節の特徴に関心をもち、ことなどに関わる学習活動を行う。 ・「晴れ」、「くもり」や「雨」の見分け方。 ・天気調べ(継続的に) ・季節と天候の変化(梅雨と自然の様子、夏の到来、台風情報等)
	10	(知及技) 月の満ち欠けや、空には、明るさや色の違う星があることを知り、身近な自然の変化に関心をもち、表現することができる。(小生活2段階サ生命・自然) (思判表力) 月や星の変化や違いについて、学んだことや気付いたことを、表現することができる。(小生活2段階サ生命・自然) (学・人) 十五夜等について話を聞いて、月の満ち欠けや星、季節の行事に関心をもちることができる。(小生活2段階サ生命・自然) ※中理科2段階B地球・自然ウ月と星と関連付ける。	(知・技) 「満月」や「三日月」等の絵カードを選んだり、教師の説明や視聴覚教材を見聞きしたりしようとしている。 (思・判・表) 月は時刻によって位置が変わったり、日によって形が変わったりすることを比べようとしている。 (主学) 月や星について調べる中で、関心をもち取り組もうとしている様子が、表情や仕草に表れている。 【評価資料】 授業の様子、プリント、発言や表情、仕草等	【月と星】 ・月の形はなぜ変わるのかな？ ・空の星はどれも同じかな？	四季の変化と天体の様子や太陽、月、星などと昼夜との関わりに関心をもち、学習活動を行う。 ・月の形と名前について学習する。 ・図鑑や動画などを活用して、いろいろな星を調べる。 ・BGMを流しながら綺麗な夜空の写真を見るなど、興味を引くような取り組みをする。
2学期	6	(知及技) 人や動物の体には骨と筋肉があることを知る。(小生活2段階サ生命・自然) (思判表力) 人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の動きによることを教師と一緒に調べたり伝えようとする。 (小生活1段階サ生命・自然) (学・人) 人や動物の体のつくりや動きに関心をもち調べたり、学んだことを生活に生かすことができる。(小生活2段階サ生命・自然) ※中理科2段階A生命ア人の体のつくりと運動と関連付ける	(知・技) 自分の体を動かしたり触ったりして、骨や筋肉などはたらくさを調べようとしている。 (思・判・表) 人が体を動かすことができるのは、骨や筋肉などの動きによることを見たり触ったりするなどして判断しようとしている。 (主学) 動物の体のつくりや動きなどの学んだことを思い出し、自分でも取り組もうとしている。 【評価資料】 授業の様子、プリント、発言や表情、仕草等	【人の体のつくりと運動】 ・人や動物のからだのつくり ・人のからだは、どうやって動くのかな？	日常生活の動きや身近な生命に興味関心をもち、ことに関わる教育活動を行う。 ・動物の骨や筋肉等の体のつくり、手足がなど体が動くときの仕組みについて知る。(視聴覚教材や資格標本等) ・ヒトの腕のつくりと動くしくみを調べる。(腕を曲げたり伸ばしたりしたときの腕の様子)
	20	(知及技) 磁石の性質や動きについて知る。(小生活2段階シもの仕組みと動き(イ)) (思判表力) 磁石の性質や動きが分かり、それらを表現しようすることができる。(小生活2段階シもの仕組みと動き(ア)) (学・人) 磁石の性質に関心をもち、意欲的に学び、生活の中で生かそうとすることができる。(小生活2段階シもの仕組みと動き) ※中理科1段階C物質・エネルギー磁石の性質と関連付ける	(知・技) 磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があることや磁石の異極は引き合い、同極は退け合うこと等磁石の性質や動きについて、教師の説明を聞いた質問に答えようとしている。 (思・判・表) 磁石の性質について教師と一緒に調べ、気付いたことをワークシートにまとめて発表しようとしている。 (学・人) 身の回りで利用されている磁石を意欲的に探そうとしたり、学んだことを生活に生かそうとしている。 【評価資料】 授業の様子、プリント、発言や表情、仕草等	【磁石の性質】 ・じしゃくで、あそぼう ・身のまわりの磁石(製品)発見!	身近な生活の中で、物の仕組みなどに関わる学習活動を行う。 ・磁石で遊ぶ(クリップ魚釣り) ・磁石に引き付けられる物と引き付けられない物を調査し、ワークシートに記録する。 ・磁石同士を近づけて観察し、異極は引き合い、同極は退け合うこと、磁石にはN極とS極があることを確認する。 ・磁石が利用されている物

3 学 期	18	<p>(知及技) 電気の回路の仕組みや働きについて関心を持って調べることができる。(小生活3段階C物の仕組みと働き(イ))</p> <p>(思判表力) 電気の回路の仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとする。 (小生活3段階C物の仕組みと働き(ア))</p> <p>(学・人) 電気の回路について意欲的に調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとすることができる。(小生活2段階C物の仕組みと働き)</p> <p>※中理科1段階C物質・エネルギー 電気の通り道と関連付けて指導する。</p>	<p>(知・技) 電気を通す物と電気を通さない物を調べる実験や電気回路の実験に取り組もうとしている。</p> <p>(思・判・表) 電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方や電気を通す物と通さない物があることに気づき、伝えようとしている。</p> <p>(主学) 身のまわりにあるいろいろな電化製品に関心を向けている。</p> <p>【評価資料】授業の様子、プリント、発言や表情、仕草等</p>	<p>【電気の通り道】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのようにつなぐと豆電球は光るのかな？ ・どんな物が電気を通すのかな？ ・身の回りの電化製品 	<p>電気の回路について、電池と豆電球などのつなぎ方と、乾電池につないだ物の様子に着目して、電気を通す物や通さない物を比べる活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電池で豆電球を光らせるときの回路を作る。 ・電気を通す物と通さない物を調べる。(例：えんぴつ、紙、ペットボトル、硬貨など) ・いろいろな電化製品の名前と使用目的と安全について確認する。(テレビ、クーラー、洗濯機など)
留意点 引継ぎ等		※単元【季節と生物】に関しては、年間を通して指導を行う。			

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	1～3学年Ⅱ課程-A②		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 自然の事物・現象について気付き、観察・実験等に関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(中理科1段階) (思判表力) 観察、実験などを行い、疑問を持ち表現する力を養う。(中理科1段階) (学・人) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを日常生活に生かそうとする態度を養う。(中理科1段階)
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
	6	(知及技)身の回りの生物の様子に気づき、観察・実験などに関する初歩的な技能を身に付ける。(中1段階A生命ア(ア)⑦) (思判表力)身の回りの生物から共通点や差異点に気づき、表現する。(中1段階A生命ア(イ)) (学・人)身の回りの生物について関心をもち生物を愛護することができる。(中1段階A生命ウ)	(知・技)生物は、色、形、大きさなど姿に違いがあること、昆虫や植物の育ち方には一定の順序があることを理解し、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけている。 (思・判・表)身の回りの生物について調べ、共通点や差異点に気づき、疑問を持ち、表現しようとしている。 (主学)身の回りの生物の様子について関心をもち、生物を愛護することができる。 【評価資料】授業の様子、プリント、発言や表情、仕草等	【身の回りの生物】 ・身の回りには植物や昆虫を調べてみよう。	・虫眼鏡の使い方や注意点を学ぶ。 ・校内の植物や昆虫などを観察や記録の仕方を覚える。
1学期	10	(知及技)天気による1日の気温の変化や季節の特徴を知る。(小生活2段階サ生命・自然(イ)) (思判表力)天気による1日の気温の変化や季節の特徴について表現しようとする事ができる。(小生活2段階サ生命・自然(ア)) (学・人)天気予報や台風情報に関心を持つ事ができる。(小生活3段階サ生命・自然) ※中理科2段階A生命イ季節と生物と関連付ける	(知・技)天候の変化や季節の特徴(夏は暑く、冬は寒い等)についての教師の説明等を聞いたり質問に答えようとしている。 (思・判・表)天候の変化に気付いたり、空の様子を確認し表現しようとしている。 (主学)天候を気にしたり、天気予報の情報を見聞きする等して、天気予報や台風情報に関心を示している。 【評価資料】授業の様子、プリント、発言や表情、仕草等	【天候の様子】 ・天気による一日の気温の変化を調べよう ・水の自然蒸発	天候の変化、季節の特徴に関心を持つことなどに関わる学習活動を行う。 ・「晴れ」、「くもり」や「雨」の見分け方。 ・天気調べ(継続的に) ・季節と天候の変化(梅雨と自然の様子、夏の到来、台風情報等)
	10	(知及技)月の満ち欠けや、空には、明るさや色の違う星があることを知り、身近な自然の変化に関心を持つことができる。(小生活2段階サ生命・自然) (思判表力)月や星の変化や違いについて、学んだことや気付いたことを、表現することができる。(小生活2段階サ生命・自然) (学・人)十五夜等について話を聞いて、月の満ち欠けや星、季節の行事に関心をもつことができる。(小生活2段階サ生命・自然) ※中理科2段階B地球・自然月と星と関連付ける	(知・技)「満月」や「三日月」等の絵カードを選んだり、教師の説明や視聴覚教材を見聞きしたりしようとしている。 (思・判・表)月は時刻によって位置が変わったり、日によって形が変わったりすることを比べることによって判断し、表現しようとしている。 (主学)月や星について調べ、関心を持って取り組もうとしている様子が、表情や仕草に表れている。 【評価資料】授業の様子、プリント、発言や表情、仕草等	【月と星】 ・空の星はどれも同じかな?	四季の変化と天体の様子や太陽、月、星などと昼夜との関わりに関心を持たせる学習活動を行う。 ・月の形と名前について学習する。 ・図鑑や動画などを活用して、いろいろな星を調べる。 ・BGMを流しながら綺麗な夜空の写真を見るなど、興味を引くような取り組みをする。
2学期	6	(知及技)人や動物の体には骨と筋肉があることを知る。(小生活2段階サ生命・自然) (思判表力)人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の働きによることを教師と一緒に調べたり伝えようとする事ができる。(小生活1段階サ生命・自然) (学・人)人や動物の体のつくりや動きに関心を持って調べたり、学んだことを生活に生かすことができる。(小生活2段階サ生命・自然) ※中理科2段階A生命ア人の体のつくりと運動と関連付ける	(知・技)自分の体を動かしたり触ったりして、骨や筋肉などのほたるきを調べようとしている。 (思・判・表)人が体を動かすことができるのは、骨や筋肉などの働きによることを見たり触ったりするなどして判断しようとしている。 (主学)動物の体のつくりや動きなどの学んだことを思い出し、自分でも取り組もうとしている。 【評価資料】授業の様子、プリント、発言や表情、仕草等	【人の体のつくりと運動】 ・人や動物のからだのつくり ・人のからだは、どうやって動くのかな?	日常生活の動きや身近な生命に興味関心を持つことに関わる教育活動を行う。 ・動物の骨や筋肉等の体のつくり、手足などが動くときの仕組みについて知る。(視聴覚教材や骨格標本等) ・ヒトの腕のつくりと動くしくみを調べる。(腕を曲げたり伸ばしたりしたときの腕の様子)
	20	(知及技)磁石の性質や働きについて知る。(小生活2段階シもの仕組みと働き(イ)) (思判表力)磁石の性質や働きが分かり、それらを表現しようすることができる。(小生活2段階シもの仕組みと働き(ア)) (学・人)磁石の性質に関心を持ち、意欲的に学び、生活の中で生かそうとすることができる。(小生活2段階シもの仕組みと働き) ※中理科1段階C物質・エネルギー磁石の性質と関連付ける	(知・技)磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があることや磁石の異極は引き合い、同極は退け合うこと等磁石の性質や働きについて、教師の説明を聞いたり質問に答えようとしている。 (思・判・表)磁石の性質について教師と一緒に調べ、気付いたことをワークシートにまとめたり発表しようとしている。 (学・人)身の回りで利用されている磁石を意欲的に探そうとしたり、学んだことを生活に生かそうとしている。 【評価資料】授業の様子、プリント、発言や表情、仕草等	【磁石の性質】 ・じしゃくで、あそぼう ・身のまわりの磁石(製品)発見!	身近な生活の中で、物の仕組みなどに関わる学習活動を行う。 ・磁石で遊ぶ(クリップ魚釣り) ・磁石に引き付けられる物と引き付けられない物を調査し、ワークシートに記録する。 ・磁石同士を近づけて観察し、異極は引き合い、同極は退け合うこと、磁石にはN極とS極があることを確認する。 ・磁石が利用されている物

3 学期	18	<p>(知・技) 電気の回路の仕組みや働きについて関心を持って調べることができる。(小生活3段階C物の仕組みと働き(イ))</p> <p>(思・判・表) 電気の回路の仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとする。 (小生活3段階C物の仕組みと働き(ア))</p> <p>(学・人) 電気の回路について意欲的に調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとすることができる。(小生活2段階C物の仕組みと働き)</p> <p>※中理科1段階C物質・エネルギーと電気の通り道と関連付けて指導する。</p>	<p>(知・技) 電気を通す物と電気を通さない物を調べる実験や電気回路の実験に取り組もうとしている。</p> <p>(思・判・表) 電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方や電気を通す物と通さない物があることに気づき、伝えようとしている。</p> <p>(主学) 身のまわりにあるいろいろな電化製品に関心を向けている。</p> <p>【評価資料】 授業の様子、プリント、発言や表情、仕草等</p>	<p>【電気の通り道】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのようにつなぐと豆電球は光るのかな？ ・どんな物が電気を通すのかな？ ・身の回りの電化製品 	<p>電気の回路について、電池と豆電球などのつなぎ方と、乾電池につないだ物の様子に着目して、電気を通す物や通さない物を比べる活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電池で豆電球を光らせるときの回路を作る。 ・電気を通す物と通さない物を調べる。(例：えんぴつ、紙、ペットボトル、硬貨など) ・いろいろな電化製品の名前と使用目的と安全について確認する。(テレビ、クーラー、洗濯機など)
留意点 引継ぎ等		※単元【季節と生物】に関しては、年間を通して指導を行う。			

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	1～3学年Ⅱ課程-B		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 自然の事物・現象について気付き、観察・実験等に関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(中理科1段階) (思判表力) 観察、実験などを行い、疑問を持ち表現する力を養う。(中理科1段階) (学・人) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを日常生活に生かそうとする態度を養う。(中理科1段階)
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	3	(知及技) 身の回りの生物の様子に気づき、観察・実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中1段階A生命ア(ア)㉔) (思判表力) 身の回りの生物から共通点や差異点に気づき、表現することができる。(中1段階A生命ア(イ)) (学・人) 身の回りの生物について関心をもち生物を愛護することができる。(中1段階A生命ウ)	(知・技) 生物は、色、形、大きさなど姿に違いがあること、昆虫や植物の育ち方には一定の順序があることを理解し、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けている。 (思・判・表) 身の回りの生物について調べる中で、共通点や差異点に気づき、疑問を持ち、表現しようとしている。 (主学) 身の回りの生物の様子について関心をもち、生物を愛護することができる。 【評価資料】 授業の様子、プリント、発言や表情、仕草等	【身の回りの生物】 ・身の回りにいる植物や昆虫を調べてみよう。	・虫眼鏡の使い方や注意点を学ぶ。 ・校内の植物や昆虫などを観察や記録の仕方を覚える。
	5	(知及技) 天気による1日の気温の変化や季節の特徴を知ることができる。(小生活2段階サ生命・自然(イ)) (思判表力) 天気による1日の気温の変化や季節の特徴について表現しようすることができる。(小生活2段階サ生命・自然(ア)) (学・人) 天気予報や台風情報に関心を持つことができる。(小生活3段階サ生命・自然) ※中理科2段階A生命イ季節と生物と関連付ける	(知・技) 天候の変化や季節の特徴(夏は暑く、冬は寒い等)についての教師の説明等を聞いたり質問に答えようとしている。 (思・判・表) 天候の変化に気付いたり、空の様子を確認し表現しようとしている。 (主学) 天気を気にしたり、天気予報の情報を聞き取る等して、天気予報や台風情報に関心を示している。 【評価資料】 授業の様子、プリント、発言や表情、仕草等	【天候の様子】 ・天気による一日の気温の変化を調べよう ・水の自然蒸発	天候の変化、季節の特徴に関心を持つことなどに関する学習活動を行う。 ・「晴れ」、「くもり」や「雨」の見分け方。 ・天気調べ(継続的に) ・季節と天候の変化(梅雨と自然の様子、夏の到来、台風情報等)
	5	(知及技) 月の満ち欠けや、空には、明るさや色の違う星があることを知り、身近な自然の変化に関心を持つことができる。(小生活2段階サ生命・自然) (思判表力) 月や星の変化や違いについて、学んだことや気付いたことを、表現することができる。(小生活2段階サ生命・自然) (学・人) 十五夜等について話を聞いて、月の満ち欠けや星、季節の行事に関心をもつことができる。(小生活2段階サ生命・自然) ※中理科2段階B地球・自然ウ月と星と関連付ける	(知・技) 「満月」や「三日月」等の絵カードを選んだり、教師の説明や視覚教材を見聞きたりしようとしている。 (思・判・表) 月は時刻によって位置が変わったり、日によって形が変わったりすることを比べることによって判断し、表現しようとしている。 (主学) 月や星について調べる中で、関心を持って取り組もうとしている様子が、表情や仕草に表れている。 【評価資料】 授業の様子、プリント、発言や表情、仕草等	【月と星】 ・空の星はどれも同じかな？	四季の変化と天体の様子や太陽、月、星などと昼夜との関わりに関心を持たせる学習活動を行う。 ・月の形と名前について学習する。 ・図鑑や動画などを活用して、いろいろな星を調べる。 ・BGMを流しながら綺麗な夜空の写真を見るなど、興味を引くような取り組みをする。
2 学期	3	(知及技) 人や動物の体には骨と筋肉があることを知る。(小生活2段階サ生命・自然) (思判表力) 人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の働きによることを教師と一緒に調べたり伝えようすることができる。(小生活1段階サ生命・自然) (学・人) 人や動物の体のつくりや動きに関心を持って調べたり、学んだことを生活に生かすことができる。(小生活2段階サ生命・自然) ※中理科2段階A生命ア人の体のつくりと運動と関連付ける	(知・技) 自分の体を動かしたり触ったりして、骨や筋肉などはたらきを調べようとしている。 (思・判・表) 人が体を動かすことができるのは、骨や筋肉などの働きによることを見たり触ったりするなどして判断しようとしている。 (主学) 動物の体のつくりや動きなどの学んだことを思い出し、自分でも取り組みようとしている。 【評価資料】 授業の様子、プリント、発言や表情、仕草等	【人の体のつくりと運動】 ・人や動物のからだのつくり ・人のからだは、どうやって動くのかな？	日常生活の動きや身近な生命に興味関心を持つことに関わる教育活動を行う。 ・動物の骨や筋肉等の体のつくり、手足などが動くときの仕組みについて知る。(視覚教材や骨格標本等) ・ヒトの腕のつくりと動くしくみを調べる。(腕を曲げたり伸ばしたりしたときの腕の様子)
	10	(知及技) 磁石の性質や働きについて知る。(小生活2段階シものの仕組みと働き(イ)) (思判表力) 磁石の性質や働きが分かり、それらを表現しようすることができる。(小生活2段階シものの仕組みと働き(ア)) (学・人) 磁石の性質に関心を持ち、意欲的に学び、生活の中で生かそうとすることができる。(小生活2段階シものの仕組みと働き) ※中理科1段階C物質・エネルギー磁石の性質と関連付ける	(知・技) 磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があることや磁石の異極は引き合い、同極は退け合うこと等磁石の性質や働きについて、教師の説明を聞いたり質問に答えようとしている。 (思・判・表) 磁石の性質について教師と一緒に調べ、気付いたことをワークシートにまとめたり発表しようとしている。 (学・人) 身の回りで利用されている磁石を意欲的に探そうとしたり、学んだことを生活に生かそうとしている。 【評価資料】 授業の様子、プリント、発言や表情、仕草等	【磁石の性質】 ・じしゃくで、あそぼう ・身のまわりの磁石(製品)発見!	身近な生活の中で、物の仕組みなどに関わる学習活動を行う。 ・磁石で遊ぼう(クリップ魚釣り) ・磁石に引き付けられる物と引き付けられない物を調査し、ワークシートに記録する。 ・磁石同士を近づけて観察し、異極は引き合い、同極は退け合うこと、磁石にはN極とS極があることを確認する。 ・磁石が利用されている物

3 学 期	9	<p>(知・技) 電気の回路の仕組みや働きについて関心を持って調べることができる。(小生活3段階C物の仕組みと働き(イ))</p> <p>(思・判・表) 電気の回路の仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとすることができる。(小生活3段階C物の仕組みと働き(ア))</p> <p>(学・人) 電気の回路について意欲的に調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとすることができる。(小生活2段階C物の仕組みと働き)</p> <p>※中理科1段階C物質・エネルギーと電気の通り道と関連付けて指導する。</p>	<p>(知・技) 電気を通す物と電気を通さない物を調べる実験や電気回路の実験に取り組もうとしている。</p> <p>(思・判・表) 電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方や電気を通す物と通さない物があることに気付き、伝えようとしている。</p> <p>(主・学) 身のまわりにあるいろいろな電化製品に関心を向けている。</p> <p>【評価資料】授業の様子、プリント、発言や表情、仕草等</p>	<p>【電気の通り道】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのようにつなぐと豆電球は光るのかな？ ・どんな物が電気を通すのかな？ ・身の回りの電化製品 	<p>電気の回路について、電池と豆電球などのつなぎ方と、乾電池につないだ物の様子に着目して、電気を通す物や通さない物を比べる活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電池で豆電球を光らせるときの回路を作る。 ・電気を通す物と通さない物を調べる。(例：えんぴつ、紙、ペットボトル、硬貨など) ・いろいろな電化製品の名前と使用目的と安全について確認する。(テレビ、クーラー、洗濯機など)
留意点 引継ぎ等		※単元【季節と生物】に関しては、年間を通して指導を行う。			

令和 8年度 中学部 1年 (Ⅱ課程A) 音楽科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	1学年Ⅱ課程-A		「歌はともだち」「名曲ピアノ絵本」 他メディア等を適宜使用する

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造などとの関わりについて気づくとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けることができる。【中学部1段階】 (思判表力) 音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、音や音楽を味わいながら聴くことができる。【中学部1段階】 (学・人) 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしよとする態度を養う。【中学部1段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	10	(知及技) ・歌詞を見て歌ったり、友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌うことができるようにする。 (中1段階 Aア(ウ)㊸㊹) (思判表力) ・歌唱表現についての知識や技能を得たり活かしたりしながら、曲の雰囲気に合いそうな表現をしようとする (中1段階 Aア(イ)) (学・人) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく歌う。 (中1段階 ウ)	(知・技) 歌詞を見て歌ったり、友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌うことができる。 (思・判・表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり活かしたりしながら、曲の雰囲気に合いそうな表現をしようすることができる。 (主学) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく歌うことができる。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	歌唱 「ブレスを意識して歌おう」 「歌詞を大切に歌おう」	歌唱 「はじまりの歌」 「校歌」 「マイバラード」 「HEIWAの鐘」
	10	(知及技) 曲名や歌詞の内容を感じ取り、体や手話表現とのかかわりを理解し、友達と動きを合わせて表現しようとする。 (中1段階 AI(イ)㊺(ウ)㊻) (思判表力) 手話表現やリズムの知識を生かし、曲の雰囲気を感知取って表現しようとする。 (中1段階 AI(ア)) (学・人) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく身体表現をする。 (中1段階 ウ)	(知・技) 曲名や歌詞の内容を感じ取り、体や手話表現とのかかわりを理解し、友達と動きを合わせて表現できる。 (思・判・表) 手話表現の知識を生かし、リズムや曲の雰囲気を感知取って表現しようすることができる。 (主学) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく身体表現をすることができる。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	身体表現 「手話表現に親しもう」 「自分なりの「風」を表現しよう」 「リズムを体で感じて表現しよう」	身体表現 「夏のあいさつ」 「I Want You Back」 「風よふけふけ」 「パプリカ」 「にじ」 「いるかはざんがらこ」
	5	(知及技) ・音色や響きに気を付けて、打楽器を演奏しようとする。 (中1段階 AI(ウ)㊼) (思判表力) ・曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫しようとする。 (中1段階 AI(ア)) (学・人) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく器楽を演奏することができる。 (中1段階 ウ)	(知・技) ・音色や響きに気を付けて、打楽器を演奏することができる。 (思・判・表) ・曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫することができる。 (主学) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく器楽を演奏することができる。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	器楽 「トーンチャイムを演奏しよう」	器楽 「HEIWAの鐘」 「きらきらぼし」
	10	(知及技) ・歌詞を見て歌ったり、友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌うことができるようにする。 (中1段階 Aア(ウ)㊽㊾) (思判表力) ・歌唱表現についての知識や技能を得たり活かしたりしながら、曲の雰囲気に合いそうな表現をしようとする (中1段階 Aア(イ)) (学・人) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく歌う。 (中1段階 ウ)	(知・技) 歌詞を見て歌ったり、友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌うことができる。 (思・判・表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり活かしたりしながら、曲の雰囲気に合いそうな表現をしようすることができる。 (主学) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく歌うことができる。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	歌唱 「高い音を意識してきれいに歌おう」	歌唱 「あすという日」 「We all in this together」

2 学 期	10	(知及技) 曲名や歌詞の内容を感じ取り、体や手話表現とのかかわりを理解し、友達と動きを合わせて表現しようとする。 (中1段階 AI(イ)㊸(ウ)㊹) (思判表力) 手話表現やリズムの知識を生かし、曲の雰囲気を感じ取って表現しようとする。 (中1段階 AI(ア)) (学・人) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく身体表現をする。 (中1段階 ウ)	(知・技) 曲名や歌詞の内容を感じ取り、体や手話表現とのかかわりを理解し、友達と動きを合わせて表現できる。 (思・判・表) 手話表現の知識を生かし、リズムや曲の雰囲気を感じ取って表現しようとすることができる。 (主学) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく身体表現をすることができる。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	身体表現 「手話表現を楽しもう」 「リズムを体で感じて表現しよう」	身体表現 「ふるさと」 「あの青い空のように」 「We all in this together」
	10	(知及技) 工工四の読み方を知り、簡単な楽譜を見てリズムや速度、音色などを意識して演奏する。 (中1段階 AI(ウ)㊺㊻) (思判表力) 三線についての知識や技能を生かして、弾き方や音色を工夫しようとする。 (中1段階 AI(ア)) (学・人) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく三線を弾こうとする。 (中1段階 ウ)	(知・技) 工工四の読み方を知り、簡単な楽譜を見てリズムや速度、音色などを意識して演奏する。 (思・判・表) 三線についての知識や技能を生かして、弾き方や音色を工夫しようとする。 (主学) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく三線を弾こうとする。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	器楽 「三線を演奏しよう」	器楽学習 「かりゆしの夜」 「かんからさんしんうむしるむん」
	5	(知及技) 設定した条件に基づいて、リズムを組み合わせようとする。 (中1段階 AU(ウ)㊼) (思判表力) リズムをつなげて一つの音楽にしようとする。 (中2段階 AU(ア)㊽) (学・人) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく創作に関わろうとする。 (中1段階 ウ)	(知・技) 設定した条件に基づいて、リズムを組み合わせることができる。 (思・判・表) リズムをつなげて一つの音楽にしようとする。 (主学) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく創作に関わろうとする。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	音楽づくり 「リズムであそぼう」	音楽づくり
3 学 期	10	(知及技) 曲名や歌詞の内容を感じ取り、体や手話表現とのかかわりを理解し、友達と動きを合わせて表現しようとする。 (中1段階 AI(イ)㊾(ウ)㊿) (思判表力) 手話表現やリズムの知識を生かし、曲の雰囲気を感じ取って表現しようとする。 (中1段階 AI(ア)) (学・人) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく身体表現をする。 (中1段階 ウ)	(知・技) 歌詞を見て歌ったり、友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌うことができる。 (思・判・表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり活かしたりしながら、曲の雰囲気に合いそうな表現をしようすることができる。 (主学) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく歌うことができる。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	歌唱 「卒業式に向けて」	歌唱 「旅立ちの日に」
留意点 引継ぎ等					

令和 8 年度 中学部 2 年 (Ⅱ課程A) 音楽科 年間指導計画

単位数 / 配当時間	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	2 学年Ⅱ課程 - A		「歌はともだち」「名曲ピアノ絵本」 他メディア等を適宜使用する

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技) 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造などとの関わりについて気づくとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けることができる。【中学部1段階】</p> <p>(思判表力) 音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさを見出しながら、音や音楽を味わって聴くことができる。【中学部2段階】</p> <p>(学・人) 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。【中学部1段階】</p>
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	10	<p>(知及技) ・歌詞やリズム、音の高さ等を意識して歌ったり、呼吸や発音の仕方に気を付けて歌うことができるようにする。(中2段階 Aア (ウ) ㉞㉟)</p> <p>(思判表力) ・歌唱表現についての知識や技能を得たり活かしたりしながら、曲の雰囲気合いに合った表現をしようとしていくことができるようにする。(中1段階 Aア (イ))</p> <p>(学・人) 主体的に楽しく音や音楽に関わりながら、友達と楽しく歌う。(中2段階 ウ)</p>	<p>(知・技) 歌詞がもつリズムに気を付けてプレスし、音の高さを意識して歌うことができる。</p> <p>(思・判・表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり活かしたりしながら、曲の雰囲気合いに合った表現をしようとしていくことができる。</p> <p>(主学) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく歌うことができる。</p> <p>【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。</p>	<p>歌唱 「リズムやプレスを意識して歌おう」 「歌詞を大切に歌おう」</p>	<p>歌唱 「はじまりの歌」 「校歌」 「月桃」 「Sing a rainbow」</p>
	10	<p>(知及技) 曲名や歌詞の内容を感じ取り、体や手話表現とのかかわりを理解し、友達と動きを合わせて表現しようとする。(中1段階 Aエ (イ) ㊸ (ウ) ㊹)</p> <p>(思判表力) 手話表現やリズムの知識を生かし、曲想を感じ取って表現しようとする。(中2段階 Aエ (ア))</p> <p>(学・人) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく身体表現をする。(中1段階 ウ)</p>	<p>(知・技) 曲名や歌詞の内容を感じ取り、体や手話表現とのかかわりを理解し、友達と動きを合わせて表現できる。</p> <p>(思・判・表) 手話表現の知識を生かし、リズムや曲想を感じ取って表現しようとしていくことができる。</p> <p>(主学) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく身体表現をすることができる。</p> <p>【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。</p>	<p>身体表現 「手話表現に親しもう」 「自分なりの「風」を表現しよう」 「3拍子のリズムを体で感じて表現しよう」</p>	<p>身体表現 「愛のあいさつ」 「I Want You Back」 「風よふけふけ」 「パプリカ」 「にじ」 「いるかばざんがらこ」</p>
	5	<p>(知及技) ・音色や響きに気を付けて、打楽器を演奏しようとする。(中1段階 Aイ (ウ) ㊺)</p> <p>(思判表力) ・曲想にふさわしい表現を工夫しようとする。(中2段階 Aイ (ア))</p> <p>(学・人) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく器楽を演奏することができる。(中1段階 ウ)</p>	<p>(知・技) ・音色や響きに気を付けて、打楽器を演奏することができる。</p> <p>(思・判・表) ・曲想を感じ取って表現を工夫することができる。</p> <p>(主学) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく器楽を演奏することができる。</p> <p>【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。</p>	<p>器楽 「トーンチャイムを演奏しよう」 「曲に込められたテーマを感じ取って演奏しよう」</p>	<p>器楽 「月桃」 「音のカーニバル」 「さらさらぼし」</p>
	10	<p>(知及技) ・歌詞やリズム、音の高さ等を意識して歌ったり、呼吸や発音の仕方に気を付けて斉唱できるようにする。(中2段階 Aア (ウ) ㊻㊼㊽)</p> <p>(思判表力) ・歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫することができるようにする。(中2段階 Aア (ア))</p> <p>(学・人) 主体的に楽しく音や音楽に関わり、友達と楽しく歌う。(中2段階 ウ)</p>	<p>(知・技) 歌詞がもつリズムに気を付けてプレスし、音の高さを意識して斉唱することができる。</p> <p>(思・判・表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現をしようとしていくことができる。</p> <p>(主学) 友達と協働して音楽に関わり、様々な音楽に親しむことができる。</p> <p>【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。</p>	<p>歌唱 「高い音を意識してきれいに歌おう」</p>	<p>歌唱 「あすという日が」 「We all in this together」</p>

2 学 期	10	<p>(知及技) 曲名や歌詞の内容を感じ取り、体や手話表現とのかかわりを理解し、友達と動きを合わせて表現しようとする。 (中1段階 AI (イ) ㊦ (ウ) ㊧) (思判表力) 手話表現やリズムの知識を生かし、曲想を感じ取って表現しようとする。 (中2段階 AI (ア)) (学・人) 主体的に楽しく音や音楽に関わり、友達と楽しく歌う。 (中2段階 ウ)</p>	<p>(知・技) 曲名や歌詞の内容を感じ取り、体や手話表現とのかかわりを理解し、友達と動きを合わせて表現できる。 (思・判・表) 手話表現の知識を生かし、リズムや曲想を感じ取って表現しようとする事ができる。 (主学) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく身体表現をすることができる。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。</p>	<p>身体表現 「手話表現を楽しもう」 「リズムを体で感じて表現しよう」</p>	<p>身体表現 「ふるさと」 「あの青い空のように」 「Guts」</p>
	10	<p>(知及技) 工工四の読み方を知り、簡単な楽譜を見てリズムや速度、音色などを意識して演奏する。 (中2段階 AI (ウ) ㊦) (思判表力) 三線についての知識や技能を生かして、弾き方や音色を工夫しようとする。 (中2段階 AI (ア)) (学・人) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく三線を弾こうとする。 (中1段階 ウ)</p>	<p>(知・技) 工工四の読み方を知り、簡単な楽譜を見てリズムや速度、音色などを意識して演奏する。 (思・判・表) 三線についての知識や技能を生かして、弾き方や音色を工夫しようとする。 (主学) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく三線を弾こうとする。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。</p>	<p>器楽 「三線を演奏しよう」</p>	<p>器楽学習 「かりゆしの夜」 「かんからさんしんうむしるむん」</p>
	5	<p>(知及技) 設定した条件に基づいて、リズムを組み合わせようとする。 (中2段階 AI (ウ) ㊦) (思判表力) リズムをつなげて一つの音楽にしようとする。 (中2段階 AI (ア) ㊦) (学・人) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく創作に関わろうとする。 (中1段階 ウ)</p>	<p>(知・技) 設定した条件に基づいて、リズムを組み合わせることができる。 (思・判・表) リズムをつなげて一つの音楽にしようとする。 (主学) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく創作に関わろうとする。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。</p>	<p>音楽づくり 「リズムであそぼう」</p>	<p>音楽づくり</p>
3 学 期	10	<p>(知及技) 曲名や歌詞の内容を感じ取り、体や手話表現とのかかわりを理解し、友達と動きを合わせて表現しようとする。 (中1段階 AI (イ) ㊦ (ウ) ㊧) (思判表力) 手話表現やリズムの知識を生かし、曲想を感じ取って表現しようとする。 (中2段階 AI (ア)) (学・人) 主体的に楽しく音や音楽に関わり、友達と楽しく歌う。 (中2段階 ウ)</p>	<p>(知・技) 歌詞を見て歌ったり、友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌うことができる。 (思・判・表) 手話表現の知識を生かし、リズムや曲の雰囲気を感じ取って表現しようとする事ができる。 (主学) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく歌うことができる。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。</p>	<p>歌唱・身体表現 「卒業式に向けて」</p>	<p>歌唱・身体表現 「365日の紙飛行機」 「旅立ちの日」</p>
留意点 引継ぎ等					

令和 8 年度 中学部 3 年 (Ⅱ課程A) 音楽科 年間指導計画

単位数 / 配当時間	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	3 学年 Ⅱ課程-A		「歌はともだち」「名曲ピアノ絵本」 他メディア等を適宜使用する

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造などとの関わりについて気づくとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けることができる。【中学部1段階】 (思判表力) 音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさを見出しながら、音や音楽を味わって聴くことができる。【中学部2段階】 (学・人) 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする気持ちや態度を身に付けることができる。【中学部1段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
	10	(知及技) ・歌詞を見て歌ったり、友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌うことができるようにする。 (中1段階 Aア(ウ)㉞㉟) (思判表力) ・歌唱表現についての知識や技能を得たり活かしたりしながら、曲の雰囲気に合いそうな表現をしようすることができるようにする。 (中1段階 Aア(イ)) (学・人) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく歌う。 (中1段階 ウ)	(知・技) 歌詞を見て歌ったり、友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌うことができる。 (思・判・表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり活かしたりしながら、曲の雰囲気に合いそうな表現をしようすることができる。 (主学) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく歌うことができる。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	歌唱 「ブレスを意識して歌おう」 「歌詞を大切に歌おう」	歌唱 「はじまりの歌」 「校歌」 「マイバラード」 「HEIWAの鐘」
1 学期	10	(知及技) 曲名や歌詞の内容を感じ取り、体や手話表現とのかかわりを理解し、友達と動きを合わせて表現しようとする。 (中1段階 AI(イ)㊸(ウ)㊹) (思判表力) 手話表現やリズムの知識を生かし、曲の雰囲気を感知取って表現しようとする。 (中1段階 AI(ア)) (学・人) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく身体表現をする。 (中1段階 ウ)	(知・技) 曲名や歌詞の内容を感じ取り、体や手話表現とのかかわりを理解し、友達と動きを合わせて表現できる。 (思・判・表) 手話表現の知識を生かし、リズムや曲の雰囲気を感知取って表現しようすることができる。 (主学) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく身体表現をすることができる。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	身体表現 「手話表現に親しもう」 「自分なりの「風」を表現しよう」 「リズムを体で感じて表現しよう」	身体表現 「愛のあいさつ」 「I Want You Back」 「風よふけふけ」 「パプリカ」 「にじ」 「いるかはざんがらこ」
	5	(知及技) ・音色や響きに気を付けて、打楽器を演奏しようとする。 (中1段階 AI(ウ)㊺) (思判表力) ・曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫しようとする。 (中1段階 AI(ア)) (学・人) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく器楽を演奏することができる。 (中1段階 ウ)	(知・技) ・音色や響きに気を付けて、打楽器を演奏することができる。 (思・判・表) ・曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫することができる。 (主学) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく器楽を演奏することができる。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	器楽 「トーンチャイムを演奏しよう」	器楽 「HEIWAの鐘」 「きらきらぼし」
	10	(知及技) ・歌詞を見て歌ったり、友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌うことができるようにする。 (中1段階 Aア(ウ)㉞㉟) (思判表力) ・歌唱表現についての知識や技能を得たり活かしたりしながら、曲の雰囲気に合いそうな表現をしようすることができるようにする。 (中1段階 Aア(イ)) (学・人) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく歌う。 (中1段階 ウ)	(知・技) 歌詞を見て歌ったり、友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌うことができる。 (思・判・表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり活かしたりしながら、曲の雰囲気に合いそうな表現をしようすることができる。 (主学) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく歌うことができる。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	歌唱 「高い音を意識してきれいに歌おう」	歌唱 「あすという日」 「We all in this together」

2 学 期	10	<p>(知及技) 曲名や歌詞の内容を感じ取り、体や手話表現とのかかわりを理解し、友達と動きを合わせて表現しようとする。 (中1段階 AI(イ)㊦(ウ)㊧) (思判表力) 手話表現やリズムの知識を生かし、曲の雰囲気を感じ取って表現しようとする。 (中1段階 AI(ア)) (学・人) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく身体表現をする。 (中1段階 ウ)</p>	<p>(知・技) 曲名や歌詞の内容を感じ取り、体や手話表現とのかかわりを理解し、友達と動きを合わせて表現できる。 (思・判・表) 手話表現の知識を生かし、リズムや曲の雰囲気を感じ取って表現しようとすることができる。 (主学) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく身体表現をすることができる。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。</p>	<p>身体表現 「手話表現を楽しもう」 「リズムを体で感じて表現しよう」</p>	<p>身体表現 「ふるさと」 「あの青い空のように」 「We all in this together」</p>
	10	<p>(知及技) 工工四の読み方を知り、簡単な楽譜を見てリズムや速度、音色などを意識して演奏する。 (中2段階 AI(ウ)㊨) (思判表力) 三線についての知識や技能を生かして、弾き方や音色を工夫しようとする。 (中2段階 AI(ア)) (学・人) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく三線を弾こうとする。 (中1段階 ウ)</p>	<p>(知・技) 工工四の読み方を知り、簡単な楽譜を見てリズムや速度、音色などを意識して演奏する。 (思・判・表) 三線についての知識や技能を生かして、弾き方や音色を工夫しようとする。 (主学) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく三線を弾こうとする。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。</p>	<p>器楽 「三線を演奏しよう」</p>	<p>器楽学習 「かりゆしの夜」 「かんからさんしんうむしるむん」</p>
	5	<p>(知及技) 設定した条件に基づいて、リズムを組み合わせようとする。 (中2段階 AI(ウ)㊩) (思判表力) リズムをつなげて一つの音楽にしようとする。 (中2段階 AI(ア)㊪) (学・人) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく創作に関わろうとする。 (中1段階 ウ)</p>	<p>(知・技) 設定した条件に基づいて、リズムを組み合わせることができる。 (思・判・表) リズムをつなげて一つの音楽にしようとする。 (主学) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく創作に関わろうとする。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。</p>	<p>音楽づくり 「リズムであそぼう」</p>	<p>音楽づくり</p>
3 学 期	10	<p>(知及技) 曲名や歌詞の内容を感じ取り、体や手話表現とのかかわりを理解し、友達と動きを合わせて表現しようとする。 (中1段階 AI(イ)㊫(ウ)㊬) (思判表力) 手話表現やリズムの知識を生かし、曲の雰囲気を感じ取って表現しようとする。 (中1段階 AI(ア)) (学・人) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく身体表現をする。 (中1段階 ウ)</p>	<p>(知・技) 歌詞を見て歌ったり、友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌うことができる。 (思・判・表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり活かしたりしながら、曲の雰囲気に合いそうな表現をしようとする。 (主学) 進んで音や音楽に関わり、友達と楽しく歌うことができる。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。</p>	<p>歌唱 「卒業式に向けて」</p>	<p>歌唱 「旅立ちの日に」</p>
留意点 引継ぎ等					

令和 8 年度 中学部 2～3 年 (Ⅱ課程B) 音楽科 年間指導計画

単位数 / 配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	2～3 学年 Ⅱ課程-B		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて気づくとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に着けるようにする。【小学部2段階】 (思判表力) 音楽表現を工夫することや、表現することを通じて、音や音楽に興味をもって聴くことができるようにする。【小学部2段階】 (学・人) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養う。【小学部2段階】
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
	13	(知及技) 表現する音やリズムに気付き、楽器を演奏する技能を身に付けることができる。(小2段階 Aイ(イ)) (思判表力) 音楽を聴いて自分なりに表そうとすることができる。(小2段階 イ(ア)) (学・人) 音楽活動を楽しみながら、主体的に器楽の学習活動に取り組むことができる。(小2段階)	(知・技) 表現する音やリズムに気付き、楽器の音を出す技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 音楽を聴いて、発声や簡単な動作によって自分なりに表現しようとしている。 (主学) 教師や友達と音楽活動を楽しみ、主体的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	・新しい学年、友達を迎えて ・先生とやりとり ・友達とやりとり	①はじまりの歌、おわりの歌、なまえ歌 ・授業の開始、終了の歌に親しみ、活動の流れを把握する。 ・教師や友達と一緒に簡単なリズム打ちの練習をする。 ・音楽に合わせて友達や教師の呼名をする。
1 学期	7	(知及技) 歌詞に使われている言葉に気付き、教師と一緒に曲の一部を歌う技能を身に付けることができる。(小2段階 Aア(イ)) (思判表力) やさしい旋律の一部を、自分なりの表現で歌いたいと思いつくことができる。(小2段階 Aア(ア)) (学・人) 音楽活動を楽しみながら、主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。(小2段階)	(知・技) 歌詞に使われている言葉に気付き、教師と一緒に曲の一部を歌おうとすることができる。 (思・判・表) やさしい旋律の一部を、教師と一緒に自分なりの発声や歌唱で歌いたいという思いを持とうとしている。 (主学) 教師や友達と音楽活動を楽しみ、主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	・季節のうた ・校歌 ・平和学習の歌	①季節の歌 ・イラストや動画を見ながら、イメージを持って歌唱したり教師の範唱を聴いて発声したりする。 ②校歌 ・教師と一緒に口形を意識して発声練習をする。 ・簡単な旋律をマイクを使用して歌う。 ③平和の歌 ・イラストや動画、演奏や歌唱の様子を見ながら、歌詞の内容を知り、曲のイメージを膨らませる。
	6	(知及技) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見つけることができる。(小2段階 Bア(イ)) (思判表力) 音や音楽を聴き、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かそうと思いつくことができる。(小2段階 Aエ(ア)) (学・人) 音楽活動を楽しみながら、主体的に歌唱の学習活動に取り組むことができる。(小2段階)	(知・技) 音楽を聴いたり、演奏の様子を見て、体を揺らしたり声を出したりしながら、自分の好きな音色や音を見つげようとしている。 (思・判・表) 示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識して手足や体全体を動かそうとしている。 (主学) 教師や友達と音楽活動を楽しみ、主体的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	・季節の歌(夏) ・いろいろな表現、いろいろなリズム	①季節の歌 ウクレレやスチールパン、オーシャンドラムなど、夏を連想させる楽器の演奏を聴いたり、実際に触れて音をだしたりして、好きな音や音色を見つける。 ②音楽や歌詞に合わせて、教師と一緒に手足や体を動かす。 手遊び、ミュージックケア ・リトミック、手話ソング ・ダンス
	10	(知及技) 拍や曲の特徴的なリズムに気付き、楽器を演奏する技能を身に付けることができる。(小2段階 Aイ(ウ)) (思判表力) 音楽を聴いて、教師や友達と一緒に体を動かすことができる。(小2段階 Aエ(ウ)) (学・人) 音楽活動を楽しみながら、主体的に身体表現の学習活動に取り組むことができる。(小2段階)	(知・技) 表現する音やリズムに気付き、楽器の音を出す技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 音楽を聴いて、拍や特徴的なリズムに気付き、歌詞と動きとの関わりを意識して手足や体全体を動かそうとしている。 (主学) 教師や友達と音楽活動を楽しみ、主体的に身体表現の学習活動に取り組もうとしている。【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	・郷土の音楽に親しもう ・リズムを感じよう	・運動会のエイサーで使用される楽曲に合わせて、リズム打ちや身体表現をする。 ・教師と一緒に三線や三板の演奏を体験する。 ・三線の基本的な構え方や奏法を学習する。 ・教師と一緒に、沖縄のわらべ歌や手遊び歌に親しむ。 ・うちなーぐちの歌詞の意味を知り、教師と一緒にやさしい旋律の歌詞を歌う。

2 学 期	9	<p>(知及技) 歌詞に使われている言葉に気付き、教師と一緒に曲の一部を歌う技能を身に付けることができる。(小2段階 Aア(1))</p> <p>(思判表力) 音や音楽を聴き、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かそうと思いを持つことができる。(小2段階 A工(7))</p> <p>(学・人) 音楽活動を楽しみながら、主体的に歌唱の学習活動に取り組むことができる。(小2段階)</p>	<p>(知・技) 歌詞に使われている言葉に気付き、教師と一緒に曲の一部を歌おうとしている。</p> <p>(思・判・表) 示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識して手足や体全体を動かそうとしている。</p> <p>(主学) 教師や友達と音楽活動を楽しみ、主体的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の音楽(秋) ・日本の音楽 ・修学旅行の歌 	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストや動画を見ながら、イメージを持って歌唱したり教師の範唱を聴いて発声したりする。 ・九州地方の手遊びや郷土の歌を聴いたり、教師や友達と一緒に手足を動かしたりする。
	7	<p>(知及技) 楽器の音色の違いに気づき、教師と一緒に打楽器を演奏することができる。(小2段階 イ(ウ)(ウ))</p> <p>(思判表力) 音楽づくりの活動を通して、音や音楽で表現することについて思いをもつことができる。(小2段階 Aウ(ア))</p> <p>(学・人) 音楽活動を楽しみながら、主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。(小2段階)</p>	<p>(知・技) それぞれの楽器の音色の違いに気づき、教師や友達と一緒に身近な打楽器を演奏しようとしている。</p> <p>(思・判・表) 音遊びを通して、音の面白さに気づき、自分なりに表現しようとしている。</p> <p>(主学) 音楽活動を楽しみ、主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の音楽(冬、クリスマス) ・世界の音楽 ・音色を楽しもう 	<p>①季節の歌、音色を楽しもう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トーンチャイムやベルなど、冬やクリスマスを連想させる楽器に実際に触れて音を出したり、教師や友達とタイミングを合わせて演奏する。 ・パネルシアターや動画で、冬やクリスマスの雰囲気を感じながら、場面にあった音や楽器を自分で選んだり、教師と一緒に鳴らしてみたりして音楽づくりを体験する。 <p>②世界の音楽 様々な国の伝統音楽を聴いたり、見たりして、好きな音や音色を見つける。</p>
3 学 期	8	<p>(知及技) 曲の特徴的な歌詞に気付き、曲の一部を歌う技能を身に付けることができる。(小2段階 Aア(1))</p> <p>(思判表力) 身近な人の演奏に触れて、関心を持って見たり、体の動きで表現しながら聴くことができる。(小2段階 Bア(7))</p> <p>(学・人) 音楽活動を楽しみながら、主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。(小2段階)</p>	<p>(知・技) 歌詞の中の特徴的な言葉に気付き、範唱を聴いて曲の一部分を模倣しようとしている。</p> <p>(思・判・表) 身近な人の演奏に触れ、自分なりの楽しさを見つけようとしている。</p> <p>(主学) 教師や友達と音楽活動を楽しみ、主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新年を迎えて ・身近な音楽を楽しもう 	<p>①新年を迎えて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新年やお正月にちなんだ歌を、教師や友達と一緒に歌う。 ・干支にちなんだ音楽やパネルシアターを見たり聴いたりして、新年の雰囲気を感じる。 ・お正月の音楽を聴いたり、琴などの日本の楽器について学ぶ。 <p>②身近な音楽に親しもう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビやゲーム、CMなどで普段耳にする曲を、教師や友達と一緒に聴く。 ・関心のある音楽、好きな音楽について、友達や教師に紹介する。
	10	<p>(知及技) 曲の特徴的な旋律に気付き、曲の一部を歌う技能を身に付けることができる。(小2段階 Aア(1))</p> <p>(思判表力) やさしい旋律の一部を、自分なりに歌いたいと思いを持つことができる。(小2段階 Aア(7))</p> <p>(学・人) 音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むことができる。(小2段階)</p>	<p>(知・技) 表現する音やリズムに気付き、楽器の音を出す技能を身に付けようとしている。</p> <p>(思・判・表) 音楽を聴いて、発声や簡単な動作によって自分なりに表現しようとしている。</p> <p>(主学) 教師や友達と音楽活動を楽しみ、主体的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業の歌 ・季節の歌(春) ・1年を振り返ろう 	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストや動画を見ながら、イメージを持って歌唱したり教師の範唱を聴いて発声したりする。 ・ピアノ伴奏に慣れ、教師や友達と一緒に発声したり、歌詞の一部を歌ったりする。 ・これまで学習した歌や楽器演奏、リズム遊びを行う。
留意点 引継ぎ等					

令和 8 年度 中学部 1 年 (Ⅱ課程A) 美術科 年間指導計画

単位数 /配当時間	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	中学部 1 学年ⅡA課程		「中学校美術 1 (光村)」

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 造形的な視点について気付き、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。(中1段階) (思判表力) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから自分の見方や感じ方を広げることができるようにする。(中1段階) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。(中1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	年間を通して	(知及技) 形や色彩、材料や光などの特徴について知ることができる。(中1段階) (思判表力) 表し方や材料による印象の違いなどに気づき、造形的なイメージをもつことができる。(中1段階) (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組むことのできる。(中3段階)	(知・技) 形や色彩、材料や光などの特徴について知ろうとしている。 (思・判・表) 表し方や材料による印象の違いなどに気づき、造形的なイメージを感じ取ろうとしている。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組むことのできる喜びを味わおうとしている。 【評価資料】 活動の様子、発言、ワークシート	「鑑賞」 ・各単元の作品 ・名画鑑賞 ・鑑賞カード ・伝統工芸品 ・振り返りシート	・形や色などの違いに注目しながら身近にあるものや自分や友達の作品、名画を鑑賞する(知・技に関する活動)。 ・作品を比較鑑賞などして、面白さや楽しさについて考え、感じたことを表現する(思・判・表に関する活動)。 ・対話的な学習を通して、表現や鑑賞の喜びや楽しく美術文化に触れる(主学に関する活動)。
	2	(知及技) 造形的な視点に気づき、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付けることができる。(中1段階) (思判表力) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと材料などを基に発想し構想しながら身近にある造形や作品などから自分の見方や感じ方を広げることができる。(中1段階) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。(中1段階)	(知・技) 材料や用具の扱い方に親しみ、表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表そうとしている。 (思・判・表) 色彩の効果や、偶然できる模様や面白さを感じ取り、自分なりに表し方を工夫しようとしている。 また、自他の作品を鑑賞し、表現の意図や工夫を感じ取ろうとしている。 (主学) 混色や偶然できる模様などに関心を持ち、意欲的に制作に取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子、発言、作品、ワークシート	「表現 (いろいろな技法)」 ・デカルコマーニー ・ドリッピング ・スパッタリング ・パチック ・フロッタージュ ・コラージュ ・マーブリング	・主題に応じて絵の具をたらしたり、偶然生まれる形や色彩を楽しんだりするなど、さまざまな技法に挑戦する。技法を生かして、連続模様や人物表現、身近な造形作品制作等、表し方を工夫できることを知る(知・技に関する活動)。 ・いろいろな表現方法を活用して、色や形、材料などを生活の中や楽しむ作品づくりや、自分たちの作品鑑賞を通して、つくりだす喜びや見方、感じ方を広げ(思・判・表に関する活動)。 ・モダンテクニックで偶然に生まれる模様や形の面白さや色の重なり注目しながら制作し、完成作品を鑑賞する。(主学に関する活動)
	10	(知及技) 造形的な視点に気づき、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付けることができる。(中1段階) (思判表力) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に発想し構想しながら身近にある造形や作品などから自分の見方や感じ方を広げることができる。(中1段階) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、互いのよさや個性などを認め尊重し合うことができる。(中1段階)	(知及技) 絵の具や筆の正しい使い方を確認し、適切に使用して制作しようとしている。また、混色や色彩の効果を意識しながら平面で表そうとしている。 (思・判・表) 対象をよく見たり、感じたことや考えたことから発想を広げ、表そうとしている。自他の作品に興味を持ち、鑑賞しようとしている。 (主学) マジックや絵の具で表すことに関心を持ち、意欲的に制作に取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子、発言、作品、ワークシート	「表現 (絵画)」 「見つめ感じ取り描く」 「心ひかれるこの風景」	・用具や材料の安全な取り扱い等について知る。(知・技に関する活動) ・対象をよく見て描いたり、感じたことや考えたことから発想を広げ表す。自他の作品を鑑賞し、表現の意図や工夫を感じ取る。(思・判・表に関する活動) ・マジックや絵の具で表すことに関心を持ち、意欲的に取り組む。(主学に関する活動)
	8	(知及技) 造形的な視点に気づき、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付けることができる。(中1段階) (思判表力) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に発想し構想しながら身近にある造形や作品などから自分の見方や感じ方を広げることができる。(中1段階) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、互いのよさや個性などを認め尊重し合うことができる。(中1段階)	(知・技) 造形的な視点について理解し、材料や用具の扱い方を身に付けるとともに、多様な表し方を工夫する技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 素材に触れ、工夫して形作りを行ったり組み合わせたりしようとしている。自他の作品に興味を持ち、鑑賞しようとしている。 (主学) 彫刻で表すことに関心を持ち、意欲的に制作に取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子、発言、作品、ワークシート	「表現 (彫刻)」 「材料に命を吹き込む」 ・紙 ・段ボール ・アルミホイル	・身近な素材での立体造形や伝統工芸、材料の特性等について知り、制作計画を通して見直しを持つ。(知・技に関する活動) ・作品の用途を考え、素材の可塑性や組み合わせを楽しみながら、工夫して制作する。装飾などの表現の工夫等、道具を自己選択しながら表現に生かす。(思・判・表に関する活動) ・立体造形の特性を生かしながら試行錯誤して制作し、自他の表現方法の工夫や過程を振り返る。(主学に関する活動)
6	(知及技) 造形的な視点に気づき、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付けることができる。(中1段階) (思判表力) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に発想し構想しながら身近にある造形や作品などから自分の見方や感じ方を広げることができる。(中1段階) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、互いのよさや個性などを認め尊重し合うことができる。(中1段階)	(知及技) 使用する材料や道具の扱い方を理解し、安全に使用している。 (思判表力) 他者へ伝えるために効果的な方法を考え、工夫して表そうとしている。自他の作品に興味を持ち、鑑賞しようとしている。 (主学) デザインで表現することに関心を持ち、意欲的に制作に取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子、発言、作品、ワークシート	「表現 (デザイン)」 「暮らしをいろいろ文様」 「文字で楽しく伝える」 「印象に残るロゴマーク」 ・色面構成	・デザインについて知り、使用する道具や材料を適切に使用して制作する。教師の説明やスライドを見て色の持つ効果を知る。(知・技に関する活動) ・他者へ伝えるために効果的な方法など、色や形の持つ効果をもと表現する。言葉や季節から持つイメージを色におきかえて表現する。(思・判・表に関する活動) ・様々な材料や用具を使った表現活動に取り組んだり、鑑賞したりして、形や色などに関わる楽しさを感じる。(主学に関する活動)	

2 学 期	6	(知及技) 造形的な視点に気づき、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身につけることができる。(中1段階ア) (思判表力) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え経験したことや思ったこと、材料などを基に発想し構想しながら身近にある造形や作品などから自分の見方や感じ方を広げることができる。(中1段階イ) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、互いのよさや個性などを認め尊重し合うことができる。(中1段階ウ)	(知・技) 形や色彩、材料や光などの特徴について理解しようとしている。(思・判・表) 造形的な特徴などからイメージを捉えようとしている。 (主学) 主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営もうとしている。 【評価資料】 活動の様子、発言、作品、ワークシート	「表現(デザイン)」 ・ポスター	・色や形の視覚的効果について知ることができる(知・技に関する活動)。 ・色や形の配置など、特徴をとらえて表現することができる(思・判・表に関する活動)。 ・ポスターを見る人の気持ちを考えて、主体的に取り組む(主学に関する活動)。
	10	(知及技) 造形的な視点に気づき、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身につけることができる。(中1段階ア) (思判表力) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え経験したことや思ったこと、材料などを基に発想し構想しながら身近にある造形や作品などから自分の見方や感じ方を広げることができる。(中1段階イ) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、互いのよさや個性などを認め尊重し合うことができる。(中1段階ウ)	(知・技) 材料や用具の扱い方を身に付け、表したいことに合わせて、材料や陽具の特徴を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表そうとしている。 (思・判・表) 経験したことや想像したこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて発想や構想しようとしている。 (主学) 主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営もうとしている。 【評価資料】 活動の様子、発言、作品、ワークシート	「表現(版画)」 ・ステンシルボード ・紙	・版画の種類や制作工程、材料や用具の安全な取り扱い方法等について知る(知・技に関する活動)。 ・表したいことに合わせて材料や用具を選び、制作工程を考えながら、創意工夫する(思・判・表に関する活動)。 ・日常生活の中で経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことを考えて、版材料や表現のよさを生かす(主・学に関する活動)。
	8	(知及技) 造形的な視点に気づき、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身につけることができる。(中1段階ア) (思判表力) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え経験したことや思ったこと、材料などを基に発想し構想しながら身近にある造形や作品などから自分の見方や感じ方を広げることができる。(中1段階イ) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、互いのよさや個性などを認め尊重し合うことができる。(中1段階ウ)	(知・技) 材料や用具の扱い方に親しみに付け、表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表そうとしている。 (思・判・表) 造形的な特徴などからイメージを捉えようとしている。 (主学) 主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営もうとしている。 【評価資料】 活動の様子、発言、作品、ワークシート	「表現(立体)」 ・紙粘土	・身近な粘土造形や伝統工芸、材料の特性等について知り、制作計画を通して見直しを持つ(知・技に関する活動)。 ・作品の用途を考え、装飾などの表現の工夫等、道具を自己選択しながら表現に生かす(思・判・表に関する活動)。 ・粘土造形の特性を生かしながら試行錯誤して制作し、自他の表現方法の工夫や過程を振り返る(主・学に関する活動)。
	2	(知及技) 造形的な視点に気づき、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身につけることができる。(中1段階ア) (思判表力) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え経験したことや思ったこと、材料などを基に発想し構想しながら身近にある造形や作品などから自分の見方や感じ方を広げることができる。(中1段階イ) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、互いのよさや個性などを認め尊重し合うことができる。(中1段階ウ)	(知・技) 材料や用具の扱い方を身に付け、表したいことに合わせて、材料や陽具の特徴を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表そうとしている。 (思・判・表) 経験したことや想像したこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて発想や構想しようとしている。 (主学) 主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営もうとしている。 【評価資料】 活動の様子、発言、作品、ワークシート	「表現(デザイン)」 ・メッセージカード	・色の持つ効果やレタリングなどについて知ることができる(知・技に関する活動)。 ・装飾など、材料の特徴を生かして工夫する(思・判・表に関する活動)。 ・メッセージカードを送る相手を想像し、主体的に取り組む(主・学に関する活動)。
3 学 期	6	(知及技) 造形的な視点に気づき、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身につけることができる。(中1段階ア) (思判表力) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え経験したことや思ったこと、材料などを基に発想し構想しながら身近にある造形や作品などから自分の見方や感じ方を広げることができる。(中1段階イ) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、互いのよさや個性などを認め尊重し合うことができる。(中1段階ウ)	(知・技) 教師の説明を聞いて、筆や刷毛の扱い方を知り、実践しようとしている。教師と一緒に水墨画の技法を試し、技法名と方法を覚えようとしている。 (思・判・表) 学んだ技法を自分なりに生かして水墨画を描こうとしている。画家の作品や自他の作品に興味を持ち、鑑賞しようとしている。 (学・人) 墨で表すことに興味を持ち、意欲的に制作に取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子 発言 作品 ワークシート	・絵画 「墨で描く楽しさ」 「水墨画」	・筆や刷毛の扱い方を理解し、墨の濃淡、線の強弱、にじみ、ぼかし、かすれ等の技法を知る。(知・技に関する活動)。 ・墨の表現の効果を知り、その表現を自分なりに生かして作品を描く。自他の作品を鑑賞して、墨の表現の豊かさや美しさなどを感じ取る。(思・判・表に関する活動)。 ・墨の特性を生かして表すことに興味を持ち、意欲的に制作に取り組む。(主学に関する活動)
	4	(知及技) 造形的な視点に気づき、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身につけることができる。(中1段階ア) (思判表力) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え経験したことや思ったこと、材料などを基に発想し構想しながら身近にある造形や作品などから自分の見方や感じ方を広げることができる。(中1段階イ) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、互いのよさや個性などを認め尊重し合うことができる。(中1段階ウ)	(知・技) 共同作品のねらいや材料・表現方法等の造形的な特徴を基に、表したいことに合わせて、材料や用具を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表そうとしている。 (思・判・表) 自分たちの作品を鑑賞して、よさや面白さ、美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めようとしている。 (主学) 主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営もうとしている。 【評価資料】 活動の様子、発言、作品、ワークシート	「表現(共同制作)」 ・卒業式壁画	・共同作品のねらいや材料・表現方法等の造形的な特徴について知る(知・技に関する活動)。 ・完成までの過程で自分のつくったものがどのように作品になっていくのかを体験する。(思・判・表に関する活動)。 ・テーマや材料の特徴を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に取り組む、共同してつくりだす喜びや達成感を実感する(主・学に関する活動)。

期	8 (知・技) 造形的な視点に気づき、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身につけることができる。(中1段階ア) (思・判・表) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え経験したことや思ったこと、材料などを基に発想し構想しながら身近にある造形や作品などから自分の見方や感じ方を広げることができる。(中1段階イ) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、互いのよさや個性などを認め尊重し合うことができる。(中1段階ウ)	(知・技) 形や色彩、材料や光などの特徴について理解しようとしている。 (思・判・表) 自分たちの作品や美術作品を鑑賞して、よさや面白さ、美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めようとしている。 (主学) 主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営もうとしている。 【評価資料】活動の様子、発言、作品、ワークシート	「表現（ポートフォリオ）」 ・作品のまとめ	・ 自他の作品を鑑賞し、作風や色彩・材料などから作者の意図を感じ取る(知・技に関する活動)。 ・ 作品集等を基に、学んだことや造形的なよさ、見方や感じ方を深める(思・判・表に関する活動)。 ・ 対話的な学習を通して、表現や鑑賞の喜びや楽しく美術文化に触れる(主・学に関する活動)。
留意点 引継ぎ等				

令和 8 年度 中学部 2 年 (II 課程 A 類型) 美術科 年間指導計画

単位数 / 配当時 数	児童生徒	担当者	教科書 / 副教材
2/70	2 学年 II 課程 - A		美術 1 (光村図書)

目標：(知・技)知識及び技能 (思・判・表)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (学・人)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知・技) 材料や用具の扱い方を身に付けるとともに、多様な表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。(中 2 段階) (思・判・表) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから自分の見方や感じ方を広げることができる。(中 1 段階) (学・人) 創作活動の喜びを味わい、楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組むことができるようにする。(中 1 段階)
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	年間を通して	(知・技) 造形的な視点に気づき、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付けることができる。(中 1 段階) (思・判・表) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え経験したことや思ったこと、材料などを基に発想し構想しながら身近にある造形や作品などから自分の見方や感じ方を広げることができる。(中 1 段階) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、互いのよさや個性などを認め尊重し合うことができる。(中 1 段階)	(知・技) 形や色彩、材料や光などの特徴について知ろうとしている。 (思・判・表) 表し方や材料による印象の違いなどに気づき、造形的なイメージを感じ取ろうとしている。(主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組むことのできる喜びを味わおうとしている。	・鑑賞 「作品鑑賞会」 「名画鑑賞」 「伝統工芸品」 「平和学習」 「校内展示作品」	・自分たちの作品や日常生活の中にあるものなどの形や色、表し方の面白さなどについて知る。 (知・技に関する活動) ・表し方や材料による印象の違いなどに気づき、自分の見方や感じたことを表現する。 (思・判・表に関する活動) ・進んで表現や鑑賞の活動に取り組むことのできる喜びを味わうことができる。(主学に関する活動)
		(知・技) 造形的な視点に気づき、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付けることができる。(中 1 段階) (思・判・表) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え経験したことや思ったこと、材料などを基に発想し構想しながら身近にある造形や作品などから自分の見方や感じ方を広げることができる。(中 1 段階) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。(中 1 段階)	(知・技) 教師の説明やスライドを見て 1 年間の授業の流れを知ろうとしている。 (思・判・表) 道具の使い方や片付けのルールを理解し、自ら行動しようとしている。 (主学) わかれないことがあれば自分から教師に質問している。材料や用具を選択し、自主的に名前カードを制作しようとしている。	・オリエンテーション 「うつくしい!」 「1 年間の美術について」 「ファイル表紙制作」	・教師の説明を聞いて一年間の授業の見通しを持つ。 (知・技に関する活動) ・皆で道具の使用法や片付けのルールを確認する。 (思・判・表に関する活動) ・好きな材料や用具を選択してファイルの表紙を制作する。(主学に関する活動)
		(知・技) 造形的な視点に気づき、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付けることができる。(中 1 段階) (思・判・表) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え経験したことや思ったこと、材料などを基に発想し構想しながら身近にある造形や作品などから自分の見方や感じ方を広げることができる。(中 1 段階) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。(中 1 段階)	(知・技) 教師の説明を聞いて、絵の具や筆などの道具の使い方を知ろうとしている。また、混色や色彩の効果意識しながら平面で表そうとしている。 (思・判・表) 教師と一緒に自分の感情や思いについて考え、発想を広げようとしている。自他の作品に興味を持ち、鑑賞しようとしている。 (主学) マジックや絵の具で表すことに興味を持ち、意欲的に制作に取り組もうとしている。	・絵画 「モダンテクニック」 「色を組み合わせて」 「色彩構成」	・マジックや絵の具、筆などの道具の扱い方を知り、混色や色彩の効果意識して表す。(知・技に関する活動) ・自分の感情や思いから発想を広げ、自分なりに形や色を工夫して作品に表す。また、自他の作品を鑑賞し、表現の意図や工夫を感じ取る。(思・判・表に関する活動) ・好きな材料や用具を選択してファイルの表紙を制作することに興味を持ち、意欲的に取り組む。(主学に関する活動)
2 学期	14	(知・技) 造形的な視点に気づき、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付けることができる。(中 1 段階) (思・判・表) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え経験したことや思ったこと、材料などを基に発想し構想しながら身近にある造形や作品などから自分の見方や感じ方を広げることができる。(中 1 段階) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、互いのよさや個性などを認め尊重し合うことができる。(中 1 段階)	(知・技) 教師の説明を聞いて、撮影機器の使い方や機能について知ろうとしている。また、使用する際の約束を理解し、使用している。 (思・判・表) 教師と一緒にテーマについて考え、撮影したい物を自分で探そうとしている。自他の作品に興味を持ち、鑑賞しようとしている。 (主学) 写真で表すことに興味を持ち、意欲的に制作に取り組もうとしている。	・デザイン 「写真を撮影する」 「身の回りにある顔」 「思い出のページ」	・撮影機器の扱い方や機能について知り、約束を守って正しく使用する。(知・技に関する活動) ・テーマについて自分なりに考え、光や構図を意識して撮影する。自他の作品を鑑賞して、写真で表すことの面白さを感じ取る。(思・判・表に関する活動) ・写真表現の特性を生かして表すことに興味を持ち、意欲的に取り組む。(主学に関する活動)
		(知・技) 造形的な視点に気づき、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付けることができる。(中 1 段階) (思・判・表) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え経験したことや思ったこと、材料などを基に発想し構想しながら身近にある造形や作品などから自分の見方や感じ方を広げることができる。(中 1 段階) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、互いのよさや個性などを認め尊重し合うことができる。(中 1 段階)	(知・技) 教師の説明を聞いて、土粘土の扱い方やヘラや切り糸等の道具の使い方を知ろうとしている。 (思・判・表) 参考作品や作家の作品を見て光の効果について自分なりに考え、工夫し、ランプシェードを制作しようとしている。自他の作品に興味を持ち、鑑賞しようとしている。 (主学) 土粘土で作すことに興味を持ち、意欲的に制作に取り組もうとしている。	・工芸 「明かりが作る空間」 「張り子のランプシェード」 「生活に生かせる器」	・土粘土の可塑性を楽しみながら、ヘラや切り糸等の道具を効果的に使用して制作する。(知・技に関する活動) ・光の効果をも自分なりに考え、土粘土の特徴を生かしてランプシェードを制作する。自他の作品を鑑賞し、光が生活に与える印象や効果について考える。(思・判・表に関する活動) ・光や影の効果を生かして表すことに興味を持ち、意欲的に取り組む。(主学に関する活動)
		(知・技) 造形的な視点に気づき、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付けることができる。(中 1 段階) (思・判・表) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え経験したことや思ったこと、材料などを基に発想し構想しながら身近にある造形や作品などから自分の見方や感じ方を広げることができる。(中 1 段階) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、互いのよさや個性などを認め尊重し合うことができる。(中 1 段階)	(知・技) 教師の説明を聞いて、版の作り方やプレス機等の道具の扱い方を知ろうとしている。 (思・判・表) 道具や材料の使い方を自分なりに工夫して、版画で表現しようとしている。自他の作品に興味を持ち、鑑賞しようとしている。 (主学) 版画で表すことに興味を持ち、意欲的に制作に取り組もうとしている。	・版画 「思い出を形に」 「コラグラフ版画」	・版画の特徴を知り、プレス機等の道具を安全に使用して制作する。(知・技に関する活動) ・道具や材料の使い方を自分なりに工夫して、思い出に残る場面やそのときの気持ちを版で表す。版画の作品を鑑賞し、版表現の良さや美しさを感じ取る。(思・判・表に関する活動) ・思い出を版画で表すことに興味を持ち、意欲的に取り組む。(主学に関する活動)
2 学期	10	(知・技) 造形的な視点に気づき、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付けることができる。(中 1 段階) (思・判・表) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え経験したことや思ったこと、材料などを基に発想し構想しながら身近にある造形や作品などから自分の見方や感じ方を広げることができる。(中 1 段階) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、互いのよさや個性などを認め尊重し合うことができる。(中 1 段階)	(知・技) 教師の説明を聞いて、針金や板等の素材やペンチ等の道具の扱い方を知ろうとしている。 (思・判・表) 自分なりに人の動きを捉え、躍動感を表現しようとしている。自他の作品に興味を持ち、鑑賞しようとしている。 (主学) 人の動きを針金で立体的に表すことに興味を持ち、意欲的に制作に取り組もうとしている。	・彫刻 「躍動感を捉える」 「針金彫刻」	・素材の特性や道具の扱い方を知り、安全に使用して制作する。(知・技に関する活動) ・人の動きを捉え、躍動感が伝わるように材料や用具を自分なりに工夫して作品に表す。また、さまざまな作品を鑑賞して、躍動感を表すための表現の工夫を感じ取る。(思・判・表に関する活動) ・人の動きを彫刻で表すことに興味を持ち、意欲的に取り組む。(主学に関する活動)
		(知・技) 造形的な視点に気づき、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付けることができる。(中 1 段階) (思・判・表) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え経験したことや思ったこと、材料などを基に発想し構想しながら身近にある造形や作品などから自分の見方や感じ方を広げることができる。(中 1 段階) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、互いのよさや個性などを認め尊重し合うことができる。(中 1 段階)	(知・技) 教師の説明を聞いて、筆や刷毛の扱い方を知り、実践しようとしている。教師と一緒に水墨画の技法を試し、技法名と方法を覚えようとしている。 (思・判・表) 学んだ技法を自分なりに生かして水墨画を描こうとしている。画家の作品や自他の作品に興味を持ち、鑑賞しようとしている。 (学・人) 墨で表すことに興味を持ち、意欲的に制作に取り組もうとしている。	・絵画 「墨で描く楽しさ」 「水墨画」	・筆や刷毛の扱い方を理解し、墨の濃淡、線の強弱、にじみ、ぼかし、すずれ等の技法を知る。(知・技に関する活動) ・墨の表現の効果を知り、その表現を自分なりに生かして作品を描く。自他の作品を鑑賞して、墨の表現の豊かさや美しさを感じ取る。(思・判・表に関する活動) ・墨の特性を生かして表すことに興味を持ち、意欲的に制作に取り組む。(主学に関する活動)
		(知・技) 造形的な視点に気づき、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付けることができる。(中 1 段階) (思・判・表) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え経験したことや思ったこと、材料などを基に発想し構想しながら身近にある造形や作品などから自分の見方や感じ方を広げることができる。(中 1 段階) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、互いのよさや個性などを認め尊重し合うことができる。(中 1 段階)	(知・技) 教師の説明を聞いて、筆や刷毛の扱い方を知り、実践しようとしている。教師と一緒に水墨画の技法を試し、技法名と方法を覚えようとしている。 (思・判・表) 学んだ技法を自分なりに生かして水墨画を描こうとしている。画家の作品や自他の作品に興味を持ち、鑑賞しようとしている。 (学・人) 墨で表すことに興味を持ち、意欲的に制作に取り組もうとしている。	・絵画 「墨で描く楽しさ」 「水墨画」	・筆や刷毛の扱い方を理解し、墨の濃淡、線の強弱、にじみ、ぼかし、すずれ等の技法を知る。(知・技に関する活動) ・墨の表現の効果を知り、その表現を自分なりに生かして作品を描く。自他の作品を鑑賞して、墨の表現の豊かさや美しさを感じ取る。(思・判・表に関する活動) ・墨の特性を生かして表すことに興味を持ち、意欲的に制作に取り組む。(主学に関する活動)

3 学期	<p>(知及技) 造形的な視点に気づき、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能をみにつけることができる。(中1段階ア)</p> <p>(思判表力) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え経験したことや思ったこと、材料などを基に発想し構想しながら身近にある造形や作品などから自分の見方や感じ方を広げることができる。(中1段階イ)</p> <p>(学・人) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、互いのよさや個性などを認め尊重し合うことができる。(中1段階ウ)</p>	<p>(知・技) 教師の説明を聞いて共同制作のねらいや自らの役割、制作工程について知ろうとしている。</p> <p>(思・判・表) 卒業式壁画のテーマに沿って表したい物を考え、色や形を選択して制作しようとしている。完成した壁画に興味を持ち、鑑賞しようとしている。</p> <p>(主学) 友達と協力して制作することを楽しみ、意欲的に壁画制作に取り組もうとしている。</p> <p>【評価資料】 活動の様子、発言、作品、ワークシート</p>	<p>・共同制作 「卒業舞台装飾」</p>	<p>・共同制作のねらいや自らの役割について知り、皆で制作工程を確認して完成までの見通しを持つ。(知・技に関する活動)</p> <p>・壁画にふさわしい色や形について考え、制作に取り組む。制作した壁画を舞台に設置して皆で鑑賞し、共同制作の楽しさや達成感を味わう。(思・判・表に関する活動)</p> <p>・友達と協力して壁画を制作することに関心を持ち、意欲的に制作に取り組む。(主学に関する活動)</p>
8	<p>(知及技) 造形的な視点に気づき、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能をみにつけることができる。(中1段階ア)</p> <p>(思判表力) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え経験したことや思ったこと、材料などを基に発想し構想しながら身近にある造形や作品などから自分の見方や感じ方を広げることができる。(中1段階イ)</p> <p>(学・人) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、互いのよさや個性などを認め尊重し合うことができる。(中1段階ウ)</p>	<p>(知・技) 教師の説明を聞いて作品集の制作手順や道具の扱い方について知ろうとしている。これまで学んだことを生かし丁寧に製本しようとしている。</p> <p>(思・判・表) これまでに学んだことを生かして作品集をデザインしようとしている。完成した作品集に興味を持ち、一年間を振り返ろうとしている。</p> <p>(主学) 作品をまとめ、作品集を制作することに関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>【評価資料】 活動の様子、発言、作品、ワークシート</p>	<p>・まとめ 「作品集制作」 「一年間を振り返って」</p>	<p>・作品集の制作手順や道具の扱い方を知り、丁寧に製本する。(知・技に関する活動)</p> <p>・作品集の題字、氏名の配置、台紙や背表紙の色について考えデザインする。これまで制作した作品をまとめ、一年間を振り返る。(思・判・表に関する活動)</p> <p>・これまで制作した作品に関心を持ち、意欲的に制作に取り組む。(主学に関する活動)</p>
留意点 引継ぎ等				

令和 8 年度 中学部 3 年 (II 課程 A) 美術科 年間指導計画

単位数 / 配当時 数	児童生徒	担当者	教科書 / 副教材
2/70	中学部3学年IIA課程		「中学校美術 2・3 (光村)」

目標：(知・技)知識及び技能 (思・判)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判)思考・判断・表現 (学・人)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知・技) ・材料や用具の扱い方を身に付けるとともに、多様な表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。(中2段階) (思・判) ・造形的なよさや面白さ、美しさ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや想像したこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、自分たちの作品や美術作品などに親しみ自分の見方や感じ方を深めることができるようにする。(中2段階) (学・人) ・主体的に美術の活動に取り組み、創作活動の喜びを味わい、心豊かな生活を営む態度を養う。(中2段階)		
------	---	--	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	10	(知・技) 造形的な視点に基づき、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付けることができる。(中1段階) (思・判) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや想像したこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、自分たちの作品や美術作品などに親しみ自分の見方や感じ方を深めることができる。(中2段階) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、心豊かな生活を営む態度を養う。(中1段階)	(知・技) 形や色彩、材料や光などの特徴について知ろうとしている。 (思・判) 表し方や材料による印象の違いなどに気づく。造形的なイメージを感じ取ろうとしている。 (学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、喜びを味わおうとしている。 【評価資料】活動の様子、発言、ワークシート	「鑑賞」 「各単元の作品」 「各画鑑賞」 「鑑賞カード」 「伝統工芸品」 「振り仮名シート」	・形や色などの違いに注目しながら身近にあるものや自分や友達、作品、名画を鑑賞する(知・技に関する活動) ・作品を比較鑑賞として、面白さや美しさについて考え、感じたことを表現する(思・判・表に関する活動) ・対話的な学習を通して、表現や鑑賞の喜びや楽しく美術文化に触れる(主学に関する活動)。
		(知・技) 造形的な視点について理解し、材料や用具の扱い方を身に付けるとともに、多様な表し方を工夫する技能を身に付けることができる。(中2段階) (思・判) 造形的なよさや面白さ、美しさ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや想像したこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、自分たちの作品や美術作品などに親しみ自分の見方や感じ方を深めることができる。(中2段階) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養う。(中1段階)	(知・技) 教師の説明やスライドを見て1年間の授業の流れを知ろうとしている。 (思・判) 道具の使い方や片付けのルールを理解し、自ら行動しようとしている。 (主学) 材料や用具を選択し、主体的に名前カードを制作しようとしている。 【評価資料】活動の様子、発言、作品、ワークシート	・オリエンテーション 「うつくし！」 「1.2年の振り返り」 「ネームプレート制作」	・説明を聞いて1年間の授業の見通しを持つ。(知・技に関する活動) ・道具の使用法や片付けのルールを確認する。(思・判・表に関する活動) ・好きな材料や用具を選び、自分の名札を制作する。(主学に関する活動)
1 学期	10	(知・技) 造形的な視点について理解し、材料や用具の扱い方を身に付けるとともに、多様な表し方を工夫する技能を身に付けることができる。(中2段階) (思・判) 造形的なよさや面白さ、美しさ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや想像したこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、自分たちの作品や美術作品などに親しみ自分の見方や感じ方を深めることができる。(中2段階) (学・人) 主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養う。(中2段階)	(知・技) 絵の具や筆などの道具の使い方を理解している。また、混色や色彩の効果を意識しながら平面で表そうとしている。 (思・判) 自分の感情や思いについて考え、発想を広く、工夫して表そうとしている。他者の作品に興味を持ち、鑑賞しようとしている。 (主学) 色彩や描画で表現することに興味を持ち、意欲的に制作に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子 発言 作品 ワークシート	・絵画 「口香・沖繩の伝統絵」 「自分の自分、これからの自分」 「自画像」	・マジックや絵の具、筆などの道具の扱い方を知り、混色や色彩の効果を実験して表す。(知・技に関する活動) ・自分の感情や思いから発想を広げ、自分なりに形や色を工夫する作品に表す。また、他者の作品を鑑賞し、表現の意図や工夫を感じ取る。(思・判・表に関する活動) ・自分の気持ちなど見えないものを形や色で表すことに関心を持ち、意欲的に取り組む。(主学に関する活動)
		(知・技) 造形的な視点について理解し、材料や用具の扱い方を身に付けるとともに、多様な表し方を工夫する技能を身に付けることができる。(中2段階) (思・判) 造形的なよさや面白さ、美しさ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや想像したこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、自分たちの作品や美術作品などに親しみ自分の見方や感じ方を深めることができる。(中2段階) (学・人) 主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養う。(中2段階)	(知・技) 教師の説明を聞いて、素材や道具の扱い方を理解している。 (思・判) 素材を基に、表したいもののイメージを膨らませ表現しようとしている。他者の作品に興味を持ち、鑑賞しようとしている。 (主学) 素材や彫刻で表現することに興味を持ち、意欲的に制作に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子 発言 作品 ワークシート	・彫刻 「環境とともに生きる彫刻」 「想像の生物をつくる」	・素材の特性や道具の扱い方を知り、安全に使用して制作する。(知・技に関する活動) ・素材を基にイメージした物を表現するため、工夫して制作する。また、さまざまな作品を鑑賞して表現の工夫を感じ取る。(思・判・表に関する活動) ・彫刻で表すことに関心を持ち、意欲的に取り組む。(主学に関する活動)
2 学期	10	(知・技) 造形的な視点について理解し、材料や用具の扱い方を身に付けるとともに、多様な表し方を工夫する技能を身に付けることができる。(中2段階) (思・判) 造形的なよさや面白さ、美しさ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや想像したこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、自分たちの作品や美術作品などに親しみ自分の見方や感じ方を深めることができる。(中2段階) (学・人) 主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養う。(中2段階)	(知・技) 版画の特徴、彫刻刀やニードルなどの使い方が分り、安全に使用して制作しようとしている。 (思・判) 道具や材料を基に、イメージしたものを版画で表現しようとしている。他者の作品に興味を持ち、鑑賞しようとしている。 (主学) 版画で表すことに関心を持ち、意欲的に制作に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子 発言 作品 ワークシート	・版画 「空想の世界へようこそ」	・版画の特徴、彫刻刀やニードルなどの使い方を知り、安全に使用して制作する。(知・技に関する活動) ・イメージを膨らませ、空想を版で表す。作品を鑑賞し、版画の良さや美しさを感じ取る。(思・判・表に関する活動) ・自分のイメージを版画で表すことに関心を持ち、意欲的に取り組む。(主学に関する活動)
		(知・技) 造形的な視点について理解し、材料や用具の扱い方を身に付けるとともに、多様な表し方を工夫する技能を身に付けることができる。(中2段階) (思・判) 造形的なよさや面白さ、美しさ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや想像したこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、自分たちの作品や美術作品などに親しみ自分の見方や感じ方を深めることができる。(中2段階) (学・人) 主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養う。(中2段階)	(知・技) 使用する材料や道具の扱い方を理解し、安全に使用している。 (思・判) 身近な地域の良さを考え、他者へ伝えるための効果的な方法を考え、工夫して表そうとしている。他者の作品に興味を持ち、鑑賞しようとしている。 (主学) デザインで表現することに興味を持ち、意欲的に制作に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子 発言 作品 ワークシート	・デザイン 「地域の魅力を伝える」 「パッケージデザイン」	・デザインについて知り、使用する道具や材料を適切に使用して制作する。(知・技に関する活動) ・身近な地域の良さを考え、他者へ伝えるために効果的な方法を表す。他者の作品を鑑賞し、表現の意図の工夫を感じ取る。(思・判・表に関する活動) ・デザインで表すことに関心を持って意欲的に取り組む。(主学に関する活動)
3 学期	8	(知・技) 造形的な視点について理解し、材料や用具の扱い方を身に付けるとともに、多様な表し方を工夫する技能を身に付けることができる。(中2段階) (思・判) 造形的なよさや面白さ、美しさ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや想像したこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、自分たちの作品や美術作品などに親しみ自分の見方や感じ方を深めることができる。(中2段階) (学・人) 主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養う。(中2段階)	(知・技) 教師の説明を聞いて、材料の扱い方や道具の使い方を知ろうとしている。 (思・判) 参考作品を見て、色や、模様、形など表し方を自分なりに考え、記念に残る作品を制作しようとしている。他者の作品に興味を持ち、鑑賞しようとしている。 (主学) 陶芸や染色に関心を持ち、意欲的に制作に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子 発言 作品 ワークシート	・工芸 「卒業記念作品制作」 「染色」 「陶芸」	・土粘土の扱い方や染色の方法を知り、道具を安全に使用して制作する。(知・技に関する活動) ・染色や陶芸の持つよさや美しさを感じ、卒業を迎える自分に向け、思い出に残る作品を制作する。(思・判・表に関する活動) ・陶芸や染色で表すことに関心を持ち、意欲的に取り組む。(主学に関する活動)
		(知・技) 造形的な視点について理解し、材料や用具の扱い方を身に付けるとともに、多様な表し方を工夫する技能を身に付けることができる。(中2段階) (思・判) 造形的なよさや面白さ、美しさ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや想像したこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、自分たちの作品や美術作品などに親しみ自分の見方や感じ方を深めることができる。(中2段階) (学・人) 主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養う。(中2段階)	(知・技) 教師の説明を聞いて、撮影機種の扱い方や、コマ撮り動画の仕組みについて理解しようとしている。 (思・判) 静止画が動いて見える面白さを感じ、自分なりに考え、表し方を工夫して撮影している。他者の作品を鑑賞して、映像で表現する面白さを感じ取ろうとしている。 (学・人) 映像で表すことに関心を持ち、意欲的に制作に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子 発言 作品 ワークシート	・デザイン 「映像を撮影する」 「映像で広がる世界」 「コマ撮り動画」	・撮影機種の扱い方や機能について知り、約束を守って正しく使用する。(知・技に関する活動) ・静止画が動いて見える面白さを感じ、自分なりに考え、表し方を工夫して撮影する。他者の作品を鑑賞して、映像で表現する面白さや、表現の工夫を感じ取る。(思・判・表に関する活動) ・映像で表すことに関心を持ち、意欲的に取り組む。(主学に関する活動)
3 学期	8	(知・技) 造形的な視点について理解し、材料や用具の扱い方を身に付けるとともに、多様な表し方を工夫する技能を身に付けることができる。(中2段階) (思・判) 造形的なよさや面白さ、美しさ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや想像したこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、自分たちの作品や美術作品などに親しみ自分の見方や感じ方を深めることができる。(中2段階) (学・人) 主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養う。(中2段階)	(知・技) 教師の説明を聞いて共同制作のねらいや自らの役割、制作工程について知ろうとしている。 (思・判) 卒業式壁面のテーマに沿って表したいものを考え、色や形を選択して制作しようとしている。完成した壁面に興味を持ち、鑑賞しようとしている。 (主学) 友達と協力して制作することを楽しく、意欲的に壁面制作に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子、発言、作品、ワークシート	・共同制作 「卒業壁面制作」	・共同制作のねらいや自らの役割について知り、皆で制作工程を確認して完成までの見通しを持つ。(知・技に関する活動) ・壁面にふさわしい色や形について考え、制作に取り組む。制作した壁面を舞台に設置して鑑賞し、共同制作の楽しさや達成感を感じる。(思・判・表に関する活動) ・友達と協力して壁面制作することに関心を持ち、意欲的に制作に取り組む。(主学に関する活動)
		(知・技) 造形的な視点について理解し、材料や用具の扱い方を身に付けるとともに、多様な表し方を工夫する技能を身に付けることができる。(中2段階) (思・判) 造形的なよさや面白さ、美しさ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや想像したこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、自分たちの作品や美術作品などに親しみ自分の見方や感じ方を深めることができる。(中2段階) (学・人) 主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養う。(中2段階)	(知・技) 教師の説明を聞いて作品案の制作手順や道具の扱い方について知ろうとしている。これまで学んだことを生かして丁寧に製作しようとしている。 (思・判) 表し方と合わせて学んだことを生かして作品案をデザインしようとしている。完成した作品案に興味を持ち、一年間を振り返ろうとしている。 (主学) 作品案を制作することに関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子、発言、作品、ワークシート	・まとめ 「作品案を振り返って」 「一年間を振り返って」	・作品案の制作手順や道具の扱い方を知り、丁寧に製作する。(知・技に関する活動) ・作品案の題子、氏名の配置、台紙や持紙の色について考えデザインする。これまで制作した作品をまとめ、一年間を振り返る。(思・判・表に関する活動) ・これまで制作した作品を大切にまとめる。(主学に関する活動)

留意点
引継ぎ等

単位数 / 配当時数	児童生徒	担当者	教科書 / 副教材
2 / 70	2・3 学年Ⅱ課程-B (8名)		美術 1 (光村図書)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 造形的な視点について気付き、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身につけるようにする。(中1段階) (思判表力) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができるようにする。(中1段階) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。(中1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	70	(知及技) 自分や友達作品を鑑賞し、形や色、材料などの違いに気付くことができる。(小2段階：共通ア) (思判表力) 自分たちの作品を鑑賞して、形や色の面白さを感じ取り、見方や感じ方を広げる。(小2段階：鑑賞ア) (学・人) 創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培う。(中1段階)	(知・技) 形や色彩、材料、光などが感情にもたらす効果などに気付く。 (思・判・表) 自分や友達作品から、よさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫について考えるなどして、見方や感じ方を広げようとしている。 (主学) 対話的な学習を通して、美術の表現や鑑賞の喜びを味わい、楽しく学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子観察で評価する。	○自分や友達作品を鑑賞しよう ～友達と自分の作品の違いを見つめよう～	・色や形などの違いに注目して、友達作品をよく見てみる。(知・技に関する活動) ・友達作品を鑑賞して感じたことなどを表現する。(思・判・表に関する活動) ・対話的な学習を通して、楽しく美術の文化に触れる。(主学に関する活動)
1 学期	4	(知及技) 様々な材料を使い、形や色に気づくことができる。(小3段階：表現イ) 共通(ア) (思判表力) 材料や感じたこと、見たこと、形や色の感じを基に自分のイメージを持つことができる。(小3段階：表現ア) 共通(イ) (学・人) 進んで見たり触ったりする活動に取り組み、形や色の面白さを感じ取ることができる。(小2段階：鑑賞ア)	(知・技) 新聞紙や色紙などの素材に触れ、感触を確かめたり、形や色の違いを知ろうとする。 (思・判・表) 紙などの感じや形や色の違いにより、何かのイメージと重ねてみたり考えたりしようとする。 (主学) 自分から手を伸ばして触ったりよく見ようとしている。 【評価資料】 提出作品、活動の様子観察で評価する。	いろいろな紙の感触を楽しむ。	・新聞紙やお花紙、色紙など素材によって感触が違うことが分り、形や色をよく見る。(知・技に関する活動) ・色や形を見て、何かをイメージして触ったり握ったりすることを楽しむ。(思・判・表に関する活動) ・手を伸ばして触れたり、声を出したり表情で人に伝えたりする。(主学)
	10	(知及技) 様々な材料や用具を使い、自分の感情を通して形や色に気づくことができる。(小3段階：表現イ) 共通(ア) (思判表力) 材料や感じたこと、見たことから表したいこと、想像したこと、想像したこと、見たことから、形や色などを基に自分のイメージを持ち、表したいこと、想いつくことができる。(小3段階：表現ア) 共通(イ) (学・人) 見たり触ったりする活動を楽しんで取り組み、生活の中にあるものの面白さを感じ取ることができる。(小2段階：鑑賞ア)	(知・技) のりや絵の具の扱いに慣れ、用具を正しく使って色や形の変化を見ようとする。 (思・判・表) 材料の感触を楽しみながら、何かの形を描こうしたり友達と関わりながら表現方法を考えたりしている。 (主学) すんで見ようしたり、触ったり描いたりして面白さを感じようとする。 【評価資料】 提出作品、活動の様子観察で評価する。	赤青黄色の絵の具を混ぜてみよう ～のりえのくを使って～ ～かたくりこを使って～	・必要な用具や材料を正しく使ったり、絵の具が混ざると色が変わることを知る。(知・技に関する活動) ・のりや片栗粉の感触に親しみ、手指や用具を使って、線や形を描いてみる。何かのイメージと結びつけて表現する。(思・判・表に関する活動) ・進んで手を伸ばして材料に触れ、のびのびと表現することを楽しむ。(主学に関する活動)
	12	(知及技) 形や色などの感じに気付くことができる。(小3段階：共通ア) (思判表力) 材料や感じたこと、想像したこと、見たことから、形や色などを基に自分のイメージを持ち、表したいこと、想いつくことができる。(小3段階：表現ア) 共通(イ) (学・人) 日常生活の中にあるものの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方を広げることができる。(小3段階：鑑賞ア)	(知・技) 粘土の感触や性質に気づき、手や用具を使って粘土に関わろうとしている。 (思・判・表) 粘土に触る中で、自分なりの関わり方によって形や跡が残ることを感じる。 (主学) 教師や周囲の働きかけを受けながら、粘土の活動に安心して参加しようとする。 【評価資料】 提出作品、活動の様子観察で評価する。	さわってつくる ねんどの器	・粘土の感触や性質、やわらかさ、形が変わることに関わることができる。(知・技に関する活動) ・自分なりの関わり方、押し、なで、繰り返すなどを試すことができる。(思・判・表に関する活動) ・いろいろな作品を比べたりしながら、鑑賞活動や創作を楽しむ。(主学)
2 学期	12	(知及技) 様々な材料や用具を使い、形や色の感じに気づき、工夫して作品を作ることができる。(小3段階：表現イ) 共通(ア) (思判表力) 材料や感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいこと、想いつくことができる。(小2段階：表現ア) (学・人) いろいろな表現方法を楽しみ、自分たちの作品や表し方の面白さを感じることができる。(小3段階：鑑賞ア)	(知・技) 版画技法の名前を知り、言葉やジェスチャーで表そうとする。また、自ら進んで材料や用具を選択して使用している。 (思・判・表) 版画で表現したいことについていろいろな方法を試して、自分なりに表現しようとしている。 (主学) 意欲的に表現や鑑賞の活動に取り組み、活動を楽しんでいる。 【評価資料】 提出作品、活動の様子観察で評価する。	ステンレ版画	・ステンレボードをひっかいたり型押ししたりして原画を作り、ローラーでインクをつけて刷ると違う作品に変化する様子を見る。(知・技に関する活動) ・線や形を組み合わせた、好きなもの描いたりして工夫して模様を作る。(思・判・表に関する活動) ・自分や友達作品を見て、表現の違いを感じたり版画の面白さを味わう。(主学)
	14	(知及技) 様々な材料や用具を使い、形や色の感じに気づき、工夫して作品を作ることができる。(小3段階：表現イ) 共通(ア) (思判表力) 材料や感じたこと、想像したこと、見たことから、形や色などを基に自分のイメージを持ち、表したいこと、想いつくことができる。(小3段階：表現ア) 共通(イ) (学・人) いろいろな表現方法を楽しみ、自分たちの作品や表し方の面白さを感じることができる。(小3段階：鑑賞ア)	(知・技) 身近な材料を使い、形に気付いて作ったり、用具を正しく使って切ったり貼ったりして工夫している。 (思・判・表) 材料から乗り物の形を想像したり、工夫して模様を作ったりしようとしている。 (主学) いろいろな材料を組み合わせることを楽しみ、修学旅行に向けて意欲的に取り組もうとする。 【評価資料】 提出作品、活動の様子観察で評価する。	いろいろな乗り物を作ろう	・身近にある空き箱や段ボールを組み合わせて飛行機やバスの形を捉えて作り、テープを正しく使って接着する。(知・技に関する活動) ・校外学習や修学旅行のことを想像しながら、色や形を自由に表現する。(思・判・表に関する活動) ・面白い飾りをつけたり、自分と友達作品を見比べたりしながら創作活動を楽しむ。(主学)

3 学 期	8	<p>(知・技) 様々な材料や用具を使い、形や色などの感じを基に、工夫して絵を描いたりできる。(小3段階：表現(イ)共通(ア))</p> <p>(思・判・表) 材料や感じたこと、想像したこと見たことから、形や色などを基に自分のイメージを持ち、表したいと思いつくことができる。(小3段階：表現(ア)共通(イ))</p> <p>(学・人) いろいろな表現方法を楽しみ、自分の感じ方を広げることができる。(小3段階：鑑賞(ア))</p>	<p>(知・技) 色や形などの違いに気付き、言動やジェスチャーで表そうとして、自ら用具を選び使用している。(思・判・表) 卒業式壁画のテーマに沿って表したいことを考え、自分なりに表現しようとしている。(主学) 友達と協力して制作に取り組んでいる。完成した壁画を見たり、指さしている。</p> <p>【評価資料】 提出作品、活動の様子観察で評価する。</p>	<p>卒業式舞台装飾を制作しよう</p>	<p>・色紙やマジックなどを組み合わせてテーマに合った形を表現する。(知・技に関する活動)</p> <p>・卒業式の写真や動画を見て思い出し、3年生を応援する色や形を表現する。(思・判・表に関する活動)</p> <p>・一人一人の作品を組み合わせたり、皆で共同制作する。(主学)</p>
	10	<p>(知・技) 様々な材料や用具を使い、絵を描いたり作品を作ったりする。(小2段階：表現(イ))</p> <p>(思・判・表) 材料の形や色のイメージや想像したこと、思ったことから表したいと思いつくことができる。(小3段階：表現(ア)共通(イ))</p> <p>(学・人) 日常生活にあるものの形や表し方の面白さを感じ取ることができる。(小2段階：鑑賞(ア))</p>	<p>(知・技) 好きな用具を選び、描いたり貼ったりして海の生き物の形を捉えようとする。(思・判・表) 生き物の写真やイラストを見てイメージし、自分なりの色や形を表現しようとする。(主学) みんなで作った海の生き物を並べて、魚釣りゲームを楽しんでいる。</p> <p>【評価資料】 提出作品、活動の様子観察で評価する。</p>	<p>魚釣りゲームを楽しむ</p>	<p>・海の生き物の色や形をはさみで切ったり、マジックや絵の具などの材料を選んで色を塗ったりシールを貼ったりして作る。(知・技に関する活動)</p> <p>・写真や図鑑など見て海の生き物について思い出し、自分のイメージの色や模様を表現する。(思・判・表に関する活動)</p> <p>・いろいろな方法で描いたり、みんなの作品を見たりゲームをして楽しむ。(主学に関する活動)</p>
留意点 引継ぎ等					

令和 8 年度 中学部 1～3 年 (Ⅱ課程A) 保健体育科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	1～3 学年Ⅱ課程-A (名)		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その特性に応じた行い方及び体の発育・発達やけがの予防などの仕方が分かり、基本的な動きや技能を身につけることができる。(中学部1段階) (思判表力) 各種の運動や健康な生活における自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中学部1段階) (学・人) 各種の運動に進んで取り組み、きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したり、最後まで楽しく運動する態度を養う。また健康・安全の大切さに気づき、自己の健康の保持増進に進んで取り組むことができる。(中学部1段階)
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して		(知及技) 体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解し、基本的な技能を身に付けることができる。 (思判表力) 自分やグループの健康・安全についての課題を見つけ、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。	(知・技) 体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解し、基本的な技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 自分やグループの健康・安全についての課題を見つけ、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 【評価資料】 活動の様子	「心身の機能の発達と心の健康」 「健康な生活と疾病の予防」	・身体機能の発達 ・生殖に関わる機能の成熟 ・精神機能の発達と自己形成 ・欲求やストレスへの対処と心の健康 ・健康の成り立ちと疾病の発生要因 ・生活習慣と健康
1 学期	33	(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、その行い方を理解し、友達と関わり、動きを持続する能力などを高めたりすることができる。(中1段階) (思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えること。(中1段階) (学・人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動すること。(中1段階) (知及技) 器械・器具を使った運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技を身に付けることができる。(中1段階) (思判表力) 器械・器具を使った運動についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階) (学・人) 器械・器具を使った運動に進んで取り組み、きまりを守り友達と協力したり、場や器械・器具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動することができる。(中1段階) (知及技) 初歩的な泳ぎの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。(中1段階) (思判表力) 初歩的な泳ぎについての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。(中1段階) (学・人) 初歩的な泳ぎに進んで取り組み、きまりなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動すること。(中1段階)	(知・技) ストレッチや柔軟体操、走投跳を組み合わせた動き等を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、その動きが分かり、友達と関わったり、動きを持続する能力などを高めようとして工夫している。 (思・判・表) ストレッチや柔軟体操、走投跳を組み合わせた動き等についての自分の課題を見つけ、それを解決するために考え、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学) ストレッチや柔軟体操、走投跳を組み合わせた動きに進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子 (知・技) マット運動や平均台等を使った運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技を身に付けようとしている。 (思・判・表) 自分が得意な技を選んで練習に取り組みようとしている。 (主学) 安全に留意し、友達と協力して器具を扱ったり、正しい使い方や準備や片付けを行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子 (知・技) バタ足やクロール、平泳ぎなどの楽しさや喜びに触れ、その泳ぎ方が分かり、基本的な手や足の動かし方が意識して取り組もうとしている。 (思・判・表) バタ足やクロール、平泳ぎなどの自分の課題を見つけ、それを解決するために考え、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学) バタ足やクロール、平泳ぎなどに進んで取り組み、きまりなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子	単元1 「体づくり運動」 ・ストレッチ体操 ・50m、100m走 ・ハンドボール投げ他 単元2 「器械運動」 ・マット運動 ・平均台 ・ミニハードル ・サーキットトレーニング 単元3 「水泳」 ・水泳 ・クロール、平泳ぎ等	・オリエンテーション (知及技に関する活動) ・「体ほぐしの運動」 ・のびのびとした動作で用具等を用いた運動を通して他者と関わりをもつて取り組む運動 (知及技に関する活動) ・音楽を用いてリズムに乗りながら、他者を感じ気づきながら取り組む活動 (知及技に関する活動) ・仲間と積極的に積極的に関わる運動 (思判表力に関する活動) ・仲間の補助をしたり協力する運動 (学・人に関する活動) ・体の動きを高める運動 ・体の柔らかさ、動きを持続する能力、力強い動き、巧みな動きを高めるための運動 (知及技に関する活動) ・体の動きを高めるために、自己の課題に応じた運動を選んで取り組む運動 (思判表力に関する活動) ・仲間の補助をしたり協力する運動 (学・人に関する活動) ・オリエンテーション (知及技に関する活動) ・マット運動 (連続前転、後転、開脚前転)、平均台の上を歩く (前向き、後ろ向き、方向転換、片足立ちでのポーズ) (知及技に関する活動) ・自分が得意な技を選んで練習に取り組む。(思判表力に関する活動) ・安全に留意し、友達と協力して器具を扱ったり、正しい使い方や準備や片付けを行う。(学・人に関する活動) ・オリエンテーション (知及技に関する活動) ・水中ウォーミングアップ、水慣れ、補助員を活用した泳法 (クロール、平泳ぎ、背泳ぎ) などの手のかき方や足の蹴り方、呼吸法 (息継ぎ) に取り組む。(知及技に関する活動) ・自分の得意な泳法が分かり、自己課題に応じた練習に取り組む (思判表力に関する活動) ・グループ練習を通して他者を認める活動や準備片付けなどを仲間と協力することなど、水泳学習に安全に意欲的に取り組めるようにする (学・人に関する活動) ・勝敗を認め、ルールやマナーを守ろうとする活動 (リレーや水球など) (学・人に関する活動)
		(知及技) 武道の楽しさを感じ、その行い方や伝統的な考え方が分かり、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開することができる。(中1段階) (思判表力) 武道についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階) (学・人) 武道に進んで取り組み、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動	(知・技) 空手の基本動作や基本となる技を身につけようとしている。 (思・判・表) 空手の正しいフォーム、力加減、気合い等課題に応じた練習に取り組もうとしている。 (主学) 安全に留意し、友達と協力して連続技を楽しんで行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子	単元4 「武道」	・オリエンテーション (知及技に関する活動) ・礼法 (立礼、座礼)、呼吸法、空手の基本動作 (構え、立ち方、進退動作、かけ声)、基本となる技 (突き、受け、蹴り)、普及型Ⅰを身につける (知及技に関する活動) ・自分の課題 (正しいフォーム、力加減、気合い等) に応じた練習に取り組む。(思判表力に関する活動) ・グループ活動 (教え合う、技の習得) に取り組む。 ・安全に留意し、友達と協力して連続技 (普及型Ⅰ) を楽しんで行う。(学・人に関する活動)

2 学 期	42	<p>をすることができる。(中1段階)</p> <p>(知及技)陸上運動の楽しさや喜びに触れその行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。(中1段階)</p> <p>(思判表力)陸上運動についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階)</p> <p>(学・人)陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り友達と協力したり、場や用具の安全に留意し最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階)</p>	<p>(知・技)短、長距離走の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けようとしている。</p> <p>(思・判・表)陸上運動での自分の苦手とする動きに応じた練習に取り組もうとしている。</p> <p>(主学)リレーのバトンパス等友達を意識し、一緒に運動を行おうとしている。友達と協力して用具の準備や片付けを行おうとしている。</p> <p>【評価資料】 活動の様子</p>	<p>単元5 「陸上競技」 ※3学期も取り扱う。</p>	<p>・オリエンテーション(知及技に関する活動)</p> <p>・短距離走(走る距離を決めて調子よく走る、全力疾走、いろいろな走りだしの姿勢から素早く走る等)</p> <p>・リレー(走る順番を守る、走りながらバトンパス)</p> <p>・小型ハードル走(自分に合ったリズムで走り超す)</p> <p>・長距離走(一定の時間や距離をきめて走り続ける。)</p> <p>(知及技に関する活動)</p> <p>・自分が苦手とする動きに応じた練習に取り組む。</p> <p>(思判表力に関する活動)</p> <p>・リレーのバトンパスなど友達を意識し、一緒に運動を行う。・友達と協力して用具の準備や片付けを行う。(学・人に関する活動)</p>
3 学 期	30	<p>(知及技)陸上運動の楽しさや喜びに触れその行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。(中1段階)</p> <p>(思判表力)陸上運動についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階)</p> <p>(学・人)陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り友達と協力したり、場や用具の安全に留意し最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階)</p>	<p>(知・技)短距離走の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けようとしている。</p> <p>(思・判・表)陸上運動での自分の苦手とする動きに応じた練習に取り組もうとしている。</p> <p>(主学)ルールやマナーを守り、友達と一緒に運動を行おうとしている。友達と協力して用具の準備や片付けを行おうとしている。</p> <p>【評価資料】 活動の様子</p>	<p>単元7 「陸上競技」</p>	<p>・長距離走(一定の時間や距離をきめて走り続ける。個々のタイム等の目標を目指しながら走り続ける)</p> <p>(知及技に関する活動)</p> <p>・自分が苦手とする課題に応じた練習に取り組む。</p> <p>(思判表力に関する活動)</p> <p>・ルールやマナーを守り、友達と一緒に運動を行う。</p> <p>・友達と協力して用具の準備や片付けを行う。(学・人に関する活動)</p>
留意点 引継ぎ等			<p>(知・技)球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行おうとしている。</p> <p>(思・判・表)球技についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。</p> <p>(主学)球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。</p> <p>【評価資料】 活動の様子</p>	<p>単元8 「球技」</p>	<p>・各種目において用いられる用具や技術の名称、攻防のポイントを知り、簡易化されたゲームを行う。ボール操作(パス、ドリブル、シュート)や用具操作(バット、バドミントン)の基本的な練習、ボールを持たないときの動き(守備や仲間と連携した動き)の練習に取り組む。(知及技に関する活動)</p> <p>・練習やゲームを通して、自分の得意な技が分かり、自己や仲間の課題や出来映えを見付け、他者に伝える。体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を考え、自己やチームの課題に応じた練習に取り組む。</p> <p>(思判表力に関する活動)</p> <p>・健康、安全に留意し、ルールやマナーを守ったり相手の健康を認めたりしながら、積極的に練習やゲームに取り組む。チームで作戦についての話し合いに参加でき、ゲームでは勝敗を認め、楽しくゲームに参加する(学・人に関する活動)</p>

令和 8年度 中学部 2～3年 (Ⅱ課程B) 保健体育科 年間指導計画

単位数 /配当時間	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	1～3学年 Ⅱ課程-B①(8名)		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その特性に応じた行い及び体の発育・発達やけがの予防などの仕方が分かり、基本的な動きや技能を身につけることができる。(中学部1段階) (思判表力) 各種の運動や健康な生活における自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中学部1段階) (学・人) 各種の運動に進んで取り組み、きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したり、最後まで楽しく運動する態度をを養う。また健康・安全の大切さに気づき、自己の健康の保持増進に進んで取り組むことができる。(中学部1段階)
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して		(知及技) 体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解し、基本的な技能を身に付けることができる。(中1段階) (思判表力) 自分やグループの健康・安全についての課題を見つけ、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階)	(知・技) 体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解し、基本的な技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 自分やグループの健康・安全についての課題を見つけ、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 【評価資料】 活動の様子	「健康と環境」 「健康な生活と疾病の予防」	・身体对环境に対する適応能力、至適範囲 ・飲料水や空気の衛生的管理 ・生活に伴う廃棄物の衛生的管理 ・感染症の予防 ・健康を守る社会の取り組み
1学期	33	(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かすことの楽しさや心地よさに触れるとともに、友達と関わったり動きを持続する能力を高めたりすることができる。(中1段階) (思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階) (学・人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階)	(知・技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かすことの楽しさや心地よさに触れるとともに、友達と関わったり動きを持続する能力を高めようとしている。 (思・判・表) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をしようとしている。 【評価資料】 活動の様子	単元1「体づくり運動」 ・ストレッチ体操 ・50m、100m走 ・ハンドボール投げ他	・見本を見て実技を行う、または教師と一緒に実技を行う(知及技に関する活動) ・記録表を用いて、記録の伸びを確認する(思判表力に関する活動) ・集合、整列の仕方を説明し、自分の場所に並び(学・人に関する活動) (知・技)の評価 ・見本を見て運動ができる。 ・教師と一緒に運動ができる。 (思・判・表)の評価 ・記録が伸びたことを見て、次の目標を立てる(主学)の評価 ・自分の場所に集合、整列ができる。 ・教師の見本や動画を見て踊る
		(知及技) 器械・器具を使つての基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。(小3段階) (思判表力) 器械・器具を使つての基本的な運動の行い方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。(小3段階) (学・人) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく器械・器具を使つての基本的な運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりしようすることができる。(小3段階)	(知・技) 器械・器具を使つての基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けようとしている。 (思・判・表) 器械・器具を使つての基本的な運動の行い方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えようとしている。 (主学) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく器械・器具を使つての基本的な運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりしようとしている。 【評価資料】 活動の様子	単元2「器械運動」 ・マット運動 ・平均台 ・ミニハードル ・サーキットトレーニング	(知及技)に関する活動 ・器具の使い方を理解し、なるべく一人で周回する(思・判・表)に関する活動 ・器具を安全に使い、周回の遅い人がいても順番を守り周回する (学・人)に関する活動 (知・技)の評価 ・教師と一緒に何周できたか (思・判・表)の評価 ・一人で何周できたか (学・人)の評価 ・順番を守り周回できた
		(知及技) 水の中での基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方が分かり、基本的な動きを身に付けることができる。(小3段階) (思判表力) 水の中での基本的な運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。(小3段階) (学・人) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく水の中での基本的な運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようすることができる。(小3段階)	(知・技) 水の中での基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方が分かり、基本的な動きを身に付けようとしている。 (思・判・表) 水の中での基本的な運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えようとしている。 (主学) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく水の中での基本的な運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとしている。 【評価資料】 活動の様子	単元3「水泳」 ・水慣れ ・クロール、平泳ぎ等	・入水前のウォーミングアップ(バタ足、顔付け等)水中エアロビクスダンスやウォーキングを教師と一緒にに行う (知及技に関する活動) ・ビート板や腰巻き補助具、アームヘルパーなどを使いバタ足で進む。または背浮きをしようとする(思判表力)に関する活動 ・生徒のできる段階(入水のみ、顔付け、潜水等)を確認し、無理のない実技で楽しく活動できるようにする(学・人に関する活動) (知及技)の評価 ・ウォーミングアップにしっかりと参加しているかを確認する。 (思・判・表)の評価 ・ビート板等の補助具を使いバタ足や、自分のスタイルで進むことができているか。 (主学)の評価 ・補助具を使って浮力を得ることに取り組む。 ・自分ができる技能から一つ上の技能に取り組もうとする姿勢が見られる。

2 学 期	42	<p>(知乃技)武道の楽しさを感じ、その行い方や伝統的な考え方が分かり、基本動作や基本となる技を用いて簡易な攻防を展開することができる。(中1段階)</p> <p>(思判表力)武道についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階)</p> <p>(学・人)武道に進んで取り組み、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階)</p>	<p>(知・技)武道の楽しさを感じ、その行い方や伝統的な考え方が分かり、基本動作や基本となる技を用いて簡易な攻防を展開しようとしている。</p> <p>(思・判・表)武道についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。</p> <p>(主学)武道に進んで取り組み、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。</p> <p>【評価資料】 活動の様子</p>	<p>単元4「武道」 ・空手</p>	<p>・普及型の見本や動画を見ながら、突きや受け蹴りの練習をする</p> <p>(知及技)に関する活動 ・間違えてもいいから、見本と同じように演技を行う</p> <p>(思判表力)に関する活動 ・演技ははじめと終わりの礼をしっかりと行う</p> <p>(学・人)に関する活動</p> <p>(知・技)の評価 上段、中段、下段の位置に突き、受けができています。</p> <p>(思・判・表)の評価 一連の流れで演技をしようとしている。</p> <p>(主学)の評価 ・姿勢を正して礼ができています。 ・教師の見本や動画を見て踊る。</p>
		<p>(知乃技)陸上運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けること。(中1段階)</p> <p>(思判表力)陸上運動についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階)</p> <p>(学・人)陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階)</p>	<p>(知・技)陸上運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けようとする。</p> <p>(思・判・表)陸上運動についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。</p> <p>(主学)陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。</p> <p>【評価資料】 活動の様子</p>	<p>単元5「陸上競技」 ・短距離走(50m、100m) ・リレー</p>	<p>・教師と一緒に「位置について(一礼する)」「よい(スタートの格好)」「シグナルの合図(スタートダッシュ)」を行う</p> <p>(知及技)に関する活動 ・次の人にバトンを渡す、前の人からバトンを受け取る練習を繰り返す</p> <p>(思判表力)に関する活動 ・セパレートコースを走り友達と競争する。</p> <p>(学・人)に関する活動</p> <p>(知・技)の評価 ・スタートの手順を合図を聞いてできる。または言葉かけでできる。</p> <p>(思・判・表)の評価 ・バトンをしっかりと受け渡し、相手との競争を楽しんでいる。</p> <p>(主学)の評価 ・他のコースを走っている人を妨害しないように、自分のコースを走っている。</p>
		<p>(知乃技)ダンスの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、表現したり踊ったりすることができる。(中1段階)</p> <p>(思判表力)ダンスについての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階)</p> <p>(学・人)ダンスに進んで取り組み、友達の動きを認め協力したり、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階)</p>	<p>(知・技)ダンスの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、表現したり踊ったりしようとしている。</p> <p>(思・判・表)ダンスについての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。</p> <p>(主学)ダンスに進んで取り組み、友達の動きを認め協力したり、最後まで楽しく運動しようとしている。</p> <p>【評価資料】 活動の様子</p>	<p>単元2「ダンス」 ・エイサー(久高万寿主、仲順流れ) ・リズムダンス(特体連ダンス)</p>	<p>(知及技に関する活動) ・曲を聞いたときに感じたことを、オリジナルダンスで表現する。</p> <p>・曲を聴いて自分のリズムでパーランクーを叩いたり踊ったりする</p> <p>(思判表力に関する活動) ・踊りながら周りを確認してぶつからないようにする</p> <p>(学・人に関する活動) ・みんなのリズムを合わせて踊る</p> <p>(知・技)の評価 ・見本や動画を見て同じような踊りに近づけて踊る</p> <p>(思・判・表)の評価 ・曲のリズムがわかる。自分のリズムで踊ることができる。</p> <p>(主学)の評価 ・ぶつからないように周りとの距離を保つ ・教師と一緒に周回路に置かれている器具を走り抜けていく</p>
3 学 期	30	<p>(知乃技)陸上運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けること。(中1段階)</p> <p>(思判表力)陸上運動についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階)</p> <p>(学・人)陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階)</p>	<p>(知・技)陸上運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けようとする。</p> <p>(思・判・表)陸上運動についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。</p> <p>(主学)陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。</p> <p>【評価資料】 活動の様子</p>	<p>単元5「陸上運動」 ・長距離走 ・時間走、ペース走</p>	<p>・陸上競技における記録の向上の楽しさや喜びを味わう。また種目における名称や行い方を理解し、基本的な動きを身につけて実践する(知乃技に関する活動)</p> <p>・自己の課題に合った練習方法を選び、活動する。また活動を通して、楽しさや勝敗の喜びを味わい、感じた気持ちを他者に伝える(思判表力に関する活動)</p> <p>・きまりを守って、自分から取り組み、楽しく安全にその運動に挑戦する(学びに向かう力・人間性等に関する活動)</p>
		<p>(知乃技)ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。(小3段階)</p> <p>(思・判・表)ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。(小3段階)</p> <p>(学・人)きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとする。ことができる。(小3段階)</p>	<p>(知・技)ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けようとする。</p> <p>(思・判・表)ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えようとしている。</p> <p>(主学)きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとしている。</p> <p>【評価資料】 活動の様子</p>	<p>単元6「球技」 ゴール型(バスケットボール) ネット型(風船バレー、卓球) ベースボール型(キックベースボール)</p>	<p>・球技の各種目において用いられる技術や用具の名称が分かり、その技能や用具を用いてゲームをする(知乃技に関する活動)</p> <p>・球技の練習やゲームを通して、楽しさや勝敗の喜びを味わい、感じた気持ちを他者に伝える(思判表力に関する活動)</p> <p>・きまりを守って、自分から取り組み、楽しく安全に練習やゲームの中での役割を果たす(学びに向かう力・人間性等に関する活動)</p>
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 中学部 1～3年（Ⅱ課程A） 職業・家庭科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
7/245	1～3学年 Ⅱ課程-A(家庭班)		職業・家庭 楽しい家庭科 わたしの夢につながる

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 生活や職業に対する関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に関わる基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。(中1段階) (思判表力) 将来の家庭生活や職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、自分の考えを表現するなどして、課題を解決する力を養う。(中1段階) (学・人) よりよい家庭生活や将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(中1段階)
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通年	2 4 5	(知及技) 正しい身なりで道具を安全に使い、指示された作業に取り組むことができる。(中1段階-Aイ(ア)⑦) (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。(中1段階-Aイ) (学・人) 働くために必要な力について知ることができる。(中1段階-Aイ) 住まいの主な働きや、整理・整頓や清掃の仕方について知り、実践しようとする。(中1段階-Bイ(ア))	(知・技) 授業内容に合った服装を着用しようとしている。道具を安全に使用しようとしている。指示された作業に取り組もうとしている。 (思・判・表) 自分の担当する作業内容、作業場所、必要な道具を理解しようとしている。 (主学) 教室への入室時など必要な場面で挨拶している。自身の活動を振り返り、自己評価しようとしている。 整理・整頓や清掃を実践し、身の回りを清潔に保つ意識を持つことができる。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	「作業の心得」 仕事に必要な身だしなみ、挨拶、報連相、協力、清掃、安全について 「作業内容、目標について」 作業内容(方法)、作業場所、必要な道具について 「住生活」 快適な住まいの整理・整頓、清掃	・作業中意識して欲しいことを、授業前に復唱して大切なことを意識できるようにする。 ・挨拶や報告など作業内容ごとに立てられた目標の具体的な行動を意識して行うことができる。 ・作業名、作業場所、使用道具、について知り、手順や安全な作業について考える。 ・トイレ清掃、廊下、教室のほうき、フローリングワイパー、台拭きなどの清掃や整理整頓を実践する。
		(知及技)自分の成長を振り返りながら、家庭生活の大切さを知ることができる。(中1段階Aア(ア)) 幼児の特徴や過ごし方について知ることができる。(中1段階A工(ア)) (思判表力)家庭にどのような仕事があるかわかり、自分にできることを考えて行うことができる。 (学・人)家庭における役割や地域との関わりについて関心をもち、知ることができる。(中1段階Aイ(ア))	(知・技)自分の成長を振り返り、将来の生活について考えようとしている。 幼児の特徴について知ろうとしている。 (思・判・表)家にはどのような仕事があるかわかり、自分にできることを考え実践しようとしている。 (主学)家庭生活、衣食住に興味を持っている。 【評価資料】 授業プリント、活動の様子で評価する。	「家族・家庭生活」 ・自分の成長と家族 ・幼児の生活 ・家庭生活と役割	・自分の成長を振り返る ・家庭生活の大切さ、家庭内の役割 ・働く意義や働く上で必要な力について ・幼児の特徴
		(知及技)道具の名称や扱い方について知る。(中1段階Bウ(ア)) (思判表力)基本的な衣服の取扱いについて体験し、実践することができる。(中1段階Bウ(ア)) (学・人)場面に応じた日常着の着方や手入れの仕方などについて知り、実践しようとする。(中1段階Bウ(ア))	(知・技)簡単な裁縫技能などを身につけようとしている。 (思・判・表)衣服の手入れの仕方を知り、基本的な衣服の取扱いについて実践しようとしている。 (主学)場面に応じた衣服の選択や手入れの仕方を知り実践しようとしている。 【評価資料】 授業プリント、作品、活動の様子で評価する。	「衣食住の生活」 ・衣生活(裁縫の基礎、衣服の手入れ、小物制作) ・日常着の着方	・裁縫道具の名前や針やミシン等道具の安全な使い方、基礎縫いに取り組み。 ・アイロンかけ ・洗濯機を使ってみよう ・TPOに応じた服装
		(知及技)健康な生活と食事の役割について知る。(中1段階Bア(ア)) (思判表力)適切な量の食事をとる大切さに気付く。(中1段階Bア(イ)) (学・人)楽しく食事をとる大切さが分かり実践する態度を養う。(中1段階Bア(ア))	(知・技)健康的な食事の役割について知ろうとしている。 (思・判・表)適切な食事量を知ろうとしている。 (主学)楽しく食事をとる大切さを知ろうとしている。 【評価資料】 授業プリント、活動の様子で評価する。	「衣食住の生活」 ・食事の役割 ・栄養について	・食事の役割 ・栄養を学ぼう ・野菜や果物を食べよう
		(知及技)簡単な調理の仕方や手順について知り、できる。(中家庭1段(知及技)簡単な調理の手順について知る。(中1段階Bイ) (思判表力)簡単な調理計画について考える。(中1段階Bイ) (学・人)簡単な調理を実際に行う。(中1段階Bイ)	(知・技)簡単な調理の方法を知り、手順に沿って日常食を作ろうとしている。 (知・技)簡単な調理の手順を知ろうとしている。 (思・判・表)簡単な調理計画について考えようとしている。 (主学)簡単な調理を実際に作ろうとしている。 【評価資料】 授業プリント、作品、活動の様子で評価する。	「衣食住の生活」 ・食生活(調理の基礎、簡単な調理)	・調理室や調理器具の使い方 ・レンジを使っでの調理 ・日常食の簡単な調理 ・郷土料理
		(知及技)買い物の仕方や必要なものの選び方について知ることができる。(中1段階Cア) (思判表力)生活に必要な物の選び方、買い方、計画的な使い方などについて知り、実践しようとする。(中1段階Cア) (学・人)身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて知り、実践しようとする。(中1段階Cイ)	(知・技)いろいろなお店の種類について調べ、買い物の仕組みについて知ろうとしている。 (思・判・表)上手な買い物をするために必要なことや注意点を知ろうとしている。 (主学)ごみの種類に気付き、正しく分別しようとしている。 【評価資料】 授業プリント、作品、活動の様子で評価する。	「消費生活・環境」 ・身近な消費生活(いろいろなお店、上手な買い物) ・ごみの分別の仕方	・店の種類 ・買物の仕組みや必要な物の選び方 ・ごみ分別の仕方

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
留意点 引継ぎ等		・年間を通して清掃活動を行う			

令和8年度 中学部 1～3年（Ⅱ課程A） 職業・家庭科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
7/245	1～3学年 Ⅱ課程-A①(木農班)		職業・家庭 楽しい職業科

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 生活や職業に対する関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に関わる基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。(中1段階) (思判表力) 将来の家庭生活や職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、自分の考えを表現するなどして、課題を解決する力を養う。(中1段階) (学・人) よりよい家庭生活や将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(中1段階)
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通年	2 4 5	(知及技) 正しい身なりで道具を安全に使い、指示された作業に取り組むことができる。(中1段階-Aイ(ア)㉔) (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。(中1段階-Aアイ) (学・人) 働くために必要な力について知ることができる。(中1段階-Aアイ) 住まいの主な働きや、整理・整頓や清掃の仕方について知り、実践しようとする。(中1段階-B工(ア))	(知・技) 授業内容に合った服装を着用しようとしている。道具を安全に使用しようとしている。指示された作業に取り組もうとしている。 (思・判・表) 自分の担当する作業内容、作業場所、必要な道具を理解しようとしている。(主学) 教室への入室時など必要な場面で挨拶している。自身の活動を振り返り、自己評価しようとしている。 整理・整頓や清掃を実践し、身の回りを清潔に保つ意識を持つことができる。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	「作業の心得」 仕事に必要な身だしなみ、挨拶、報連相、協力、清掃、安全について 「作業内容、目標について」 作業内容(方法)、作業場所、必要な道具について 「住生活」 快適な住まいの整理・整頓、清掃	・作業中意識して欲しいことを、授業前に復唱して大切なことを意識できるようにする。 ・挨拶や報告など作業内容ごとに立てられた目標の具体的な行動を意識して行うことができる。 ・作業名、作業場所、使用道具、について知り、手順や安全な作業について考える。 ・トイレ清掃、廊下、教室のほうき、フローリングワイパー、台拭きなどの清掃や整理整頓を実践する。
		(知及技) 自立と職業の大切さについて知ることができる。(中1段階-Aア(ア)) (思・判・表) 仕事の種類、様子、必要な技術について知ることができる。(中1段階-Cア) (学・人) これまでの経験や学習したことから将来の職業について考えることができる。(中1段階-ウ)	(知及技) 身の回りのことなど自分で生活するために必要な力について知り、身につけようとしている。 (思・判・表) 職場見学を通して仕事内容や様子について知り、必要な技術について考えようとしている。 (主学) 学習して知った職種やこれまでの経験から将来の職業について考えようとしている。 【評価資料】 授業プリント、活動の様子で評価する。	「自分の将来を考えよう」 子どもから大人になるとは自分の将来について考える 「自立と職業の大切さ」 自立するため、仕事をするために必要な力について。	・教科書を参考に自分でできること、助けてもらってできることについて考える。 ・働くために必要な力はなにかを考えて、授業内で実践してみる。
		(知及技) 作業内容や手順(作業場の準備、作業工程、片付け、清掃)を理解し取り組むことができる。(中1段階-Aイア㉕) (思判表力) 自分の体調を確認することができる。体調や天気に合わせて服装を調整することができる。(中1段階-Aイイ(イ)㉕) (学・人) 挨拶や報告の場面などがわかり、自分から学習活動に取り組もうとしている。	(知及技) 土づくり、移植、灌水などの作業内容や手順を理解し、準備、片付けなどに取り組もうとしている。 (思判表力) 自分の体調を口答や行動で伝えようとしている。帽子や上着の着脱で体調管理をしている。作業の合間などこまめに水分補給をしている。体調や天候に応じて帽子や上着の着脱をしている。(主学) 作業内容を理解し、活動しようとしている。報告の場面などがわかり、自分から学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】 授業プリント、活動の様子で評価する。	「生育育成」 土作り、移植、定植、灌水、施肥、除草、収穫、作業場の清掃・片付け	・土作り： unnecessaryな物は取り除き、細かくすることができる。 ・移植・定植： 傷つけないように適切な場所に植え付けができるようにする。 ・灌水、施肥： 適切な場所に適切な量を散布できるようにする。 ・収穫： 収穫に適した大きさなどを見極めることができる。傷つけないように収穫することができる。 ・収穫した野菜を家族に届けることで、達成感を得られるようにする。 ・自主的に作業場の清掃、片付けができるようにする。
		(知及技) 作業内容や手順(作業場の準備、作業工程、片付け、清掃)を理解し取り組むことができる。(中1段階-Aイア㉕) (思判表力) 作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫すること。(中1段階-Aイイ(イ)㉕) (学・人) 挨拶や報告の場面などがわかり、自分から学習活動に取り組もうとしている。	(知及技) 材料磨き、組み立て、ニス塗りなどの作業内容や手順を理解し、準備、片付けなどに取り組もうとしている。 (思判表力) 使用する道具の安全性について考えて使用しようとしている。作業では工具で材料を傷つけないように作業しようとしている。 (主学) 作業内容を理解し、活動しようとしている。報告、連絡、相談の場面などがわかりの場面などがわかり、学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】 授業プリント、作品、活動の様子で評価する。	「ものづくり」 工具の使い方、注意事項、トレイ制作、道具の管理、作業場の清掃・片付け	・体験を通して、のこぎり、ハンマーの安全な使い方を知ることができるようにする。 ・道具の保管場所がわかり、自ら準備、片付けができるようにする。 ・トレイ製作を通して、作業手順を覚えることができるようにする。 ・自分で作業の仕上がりを確認し、作業状況を報告できるようにする。 ・作業で使った場所の清掃、片付けができるようにする。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
		<p>(知及技) コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ることができる。(中1段階-Bア) (思・判・表) コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者に伝えることができる。(中1段階-Bイ) (学・人) 他者の発表を聞いて、自分以外の様々な考えに気づくことができる。</p>	<p>(知及技) iPadやデスクトップパソコン等の情報機器の電源のオンオフや音量の調整などの基本的な使い方を理解して使用することができる。 (思・判・表) プレゼンテーションソフトなどを用いて、自信の体験や好きな物などを伝えることができる。 (主学) 他者の発表を聞いて、自分の意見との共通点や違いなどを見つけることができる。 【評価資料】 授業プリント、作品、活動の様子で評価する。</p>	<p>「情報機器の活用」 iPadの基本操作についてキーボードの活用方法 デスクトップパソコンの基本操作とソフトの活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ iPadの基本操作を学び、実践する。 ・ デスクトップパソコンの基本操作を学び、実践する。 ・ 自分の考え、経験を発表する。 ・ 学習の振り返りに活用する。
留意点 引継ぎ等		・ 年間を通して清掃活動を行う			

令和8年度 中学部 1～3年（Ⅱ課程A） 職業・家庭科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
7/245	1～3学年 Ⅱ課程-A(窯業班)		職業・家庭 楽しい職業科

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 生活や職業に対する関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に関わる基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。(中1段階) (思判表力) 将来の家庭生活や職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、自分の考えを表現するなどして、課題を解決する力を養う。(中1段階) (学・人) よりよい家庭生活や将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(中1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通年	2 4 5	(知及技) 正しい身なりで道具を安全に使い、指示された作業に取り組むことができる。(中1段階-Aイ(ア)㉔) (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。(中1段階-Aアイ) (学・人) 働くために必要な力について知ることができる。(中1段階-Aアイ) 住まいの主な働きや、整理・整頓や清掃の仕方について知り、実践しようとする。(中1段階-Bイ(ア)) ①作業の準備と片付け、ミーティング活動(点呼・確認・目標・振り返り・手洗い・うがい・手指消毒・検温・換気等)(中国1A、社1ア)(自・健) ②作業内容:土づくり、成形作業、削り、素焼き、磨き、絵付け、釉かけ、本焼き(職家・中1・A(イ))(理・中1・C・ア)・販売準備(数・中1A・ウ)(特活)(道徳)(社・中1・工㉔) ③余暇 ④消費生活	(知・技) 授業内容に合った服装を着用しようとしている。道具を安全に使用しようとしている。指示された作業に取り組もうとしている。 (思・判・表) 自分の担当する作業内容、作業場所、必要な道具を理解しようとしている。 (主学) 教室への入室時など必要な場面で挨拶している。自身の活動を振り返り、自己評価しようとしている。 整理・整頓や清掃を実践し、身の回りを清潔に保つ意識を持つことができる。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	「作業の心得」 仕事に必要な身だしなみ、挨拶、報連相、協力、清掃、安全について 「作業内容、目標について」 作業内容(方法)、作業場所、必要な道具について 「住生活」 快適な住まいの整理・整頓、清掃	・作業中意識して欲しいことを、授業前に復唱して大切なことを意識するようにする。 ・挨拶や報告など作業内容ごとに立てられた目標の具体的な行動を意識して行うことができる。 ・作業名、作業場所、使用道具、について知り、手順や安全な作業について考える。 ・清掃や整理整頓を実践する。 ・陶土、釉薬について特徴を知ることができる。 ・道具の特性について学び、技能を学ぶ。 ・機械の特性・安全について学び、技能を学ぶ ・作業工程を知り、自分の仕事を把握し持続して行うことができる。 ・協働授業で、自分の成長や課題について知ることができる。 ・「余暇の楽しみ方」「消費生活」の学習では、給与を想定して、身近な売店(または飲食店)にて金銭の消費を行うとともに、余暇の過ごし方について学習を行う。 ・身近な消費社会について学ぶ。 ・想定した給与をもとに、具体的な消費内容や方法について学び選択(自己選択)する。 ・実際の店舗にて消費活動(買い物学習)の実践を行う。
留意点 引継ぎ等		・年間を通して清掃活動を行う ・「余暇の楽しみ方」「消費生活」の学習として校外での買い物学習を行う			

令和8年度 中学部 1～3年（Ⅱ課程B） 職業・家庭科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
4/140	1～3学年 Ⅱ課程-B(8名)		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 生活や職業に対する関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に関わる基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。(中1段階) (思判表力) 将来の家庭生活や職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、自分の考えを表現するなどして、課題を解決する力を養う。(中1段階) (学・人) よりよい家庭生活や将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(中1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通年	140	(知及技) 正しい身なりで道具を安全に使い、指示された作業に取り組むことができる。(中1段階-Aイ(ア)㉔) (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。(中1段階-Aアイ) (学・人) 働くために必要な力について知ることができる。(中1段階-Aアイ) 住まいの主な働きや、整理・整頓や清掃の仕方について知り、実践しようとする。(中1段階-B工(ア))	(知・技) 授業内容に合った服装を着用しようとしている。道具を安全に使用しようとしている。指示された作業に取り組もうとしている。 (思・判・表) 自分の担当する作業内容、作業場所、必要な道具を理解しようとしている。 (主学) 教室への入室時など必要な場面で挨拶している。自身の活動を振り返り、自己評価しようとしている。 整理・整頓や清掃を実践し、身の回りを清潔に保つ意識を持つことができる。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	「作業の心得」 仕事に必要な身だしなみ、挨拶、報連相、協力、清掃、安全について 「作業内容、目標について」 作業内容(方法)、作業場所、必要な道具について 「住生活」 快適な住まいの整理・整頓、清掃	・作業中意識して欲しいことを、授業前に復唱して大切なことを意識できるようにする。 ・挨拶や報告など作業内容ごとに立てられた目標の具体的な行動を意識して行うことができる。 ・作業名、作業場所、使用道具、について知り、手順や安全な作業について考える。 ・廊下、教室のほうき、フローリングワイパー、台拭きなどの清掃や整理整頓を実践する。
留意点 引継ぎ等	・年間を通して清掃活動を行う				

単位数 / 配当時間	児童生徒	担当者	教科書 / 副教材		
2/70	1～3 学年 II 課程-A				
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語の音声や基本的な表現に触れる活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味や関心を持ち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。(中外国語段階) (思判表力) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。(中外国語段階) (学・人) 外国語を通して、外国語やその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(中外国語段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	6	(知及技)自己紹介に必要な単語や表現を知ることができる(中外国語(1)ア(ウ))。 (思判表力)自分の名前や好みなどを簡単な単語や基本的な表現を用いて表現することができる(中外国語(2)ア)/(3)②ア(ア)④)。 (学・人)英語の音やリズムに親しみ、自分のことを紹介したり相手の話をよく聞いたりすることができる。	(知・技)自己紹介に必要な単語や表現を知ろうとする。 (思・班・表)自分の名前や好みなどを簡単な単語や基本的な表現を用いて表現しようとする。 (主学)英語の音やリズムに親しみ、自分のことを紹介したり相手の話をよく聞いたりしようとする。 【評価資料】 授業プリント(振り返りシート)/ファイル(提出物)/活動の様子で評価する。	・ Hello! ・ 英語であいさつをしよう	・ 授業のあいさつ ・ Let's start/finish English Class ・ 自己紹介 ・ Hello ・ I'm ~ ・ My name is ~ ・ アルファベットのプリント学習 ・ 例示を見ながら自分の名前を書く
	7	(知及技)気分、月日、天気を表す単語や基本的な表現を知ることができる(中外国語(1)ア(ウ))。 (思判表力)気分、月日、天気を簡単な単語や基本的な表現を用いて表現することができる(中外国語(2)ア)。 (学・人)自分の知っている表現や単語で尋ねたり答えたりすることができる。	(知・技)気分、月日、天気を表す単語や基本的な表現を知ろうとする。 (思・班・表)気分、月日、天気を簡単な単語や基本的な表現を用いて表現しようとする。 (主学)自分の知っている表現や単語で尋ねたり答えたりしようとする。 【評価資料】 授業プリント(振り返りシート)/ファイル(提出物)/活動の様子で評価する。	・ How are you? ・ 自分の体調や気分を伝えよう ・ 曜日、月日、天気の表し方をしよう	・ How are you? ・ What day is it? ・ What's the weather like?
	7	(知及技)1から20を表す英単語を知ることができる(中外国語(1)ア(ウ))。 (思判表力)プリント学習や活動の中で、必要な数字をマッチングさせたり表現したりすることができる(中外国語(2)イ)/(3)②ア(ア)④)。 (学・人)身の回りのものに関する数を英語ではどう表現するのか興味を示すことができる。	(知・技)1から20を表す英単語を知ろうとする。 (思・班・表)プリント学習や活動の中で、必要な数字をマッチングさせたり表現しようとする。 (主学)身の回りのものに関する数を英語ではどう表現するのか興味を示そうとする。 【評価資料】 授業プリント(振り返りシート)/ファイル(提出物)/活動の様子で評価する。	・ How many? ・ 数(1～20)	・ numbers(1～20) ・ How many~ ・ 「Number Song♪」
	6	(知及技)家族を表す英単語を知ることができる(中外国語(1)ア(ウ))。 (思判表力)プリント学習や活動の中で、家族の単語をマッチングさせたり表現したりすることができる(中外国語(2)イ)/(3)②ア(ア)④)。 (学・人)家族に関する名称を英語ではどう表現するのか興味を示すことができる。	(知・技)家族を表す英単語を知ろうとする。 (思・班・表)プリント学習や活動の中で、家族の単語をマッチングさせたり表現しようとする。 (主学)家族に関する名称を英語ではどう表現するのか興味を示そうとする。 【評価資料】 授業プリント(振り返りシート)/ファイル(提出物)/活動の様子で評価する。	・ About My Family ・ 家族のなまえ	・ 家族メンバーの名称 ・ 家族紹介 ・ 「Finger Family Song♪」
	6	(知及技)色を表す英単語を知ることができる(中外国語(1)ア(ウ))。 (思判表力)プリント学習や活動の中で、色の単語をマッチングさせたり表現したりすることができる(中外国語(2)イ)/(3)②ア(ア)④)。 (学・人)色に関する語を英語ではどう表現するのか興味を示すことができる。	(知・技)色を表す英単語を知ろうとする。 (思・班・表)プリント学習や活動の中で、色の単語をマッチングさせたり表現しようとする。 (主学)色に関する語を英語ではどう表現するのか興味を示そうとする。 【評価資料】 授業プリント(振り返りシート)/ファイル(提出物)/活動の様子で評価する。	・ What color is it? ・ 色のなまえ	・ 色 ・ I like~/I don't like ~. ・ 色カードマッチング
	7	(知及技)ハロウィンにはどんな活動をするのか知ることができる(中外国語(1)イ(ア))。 (思判表力)ハロウィンの活動に工夫して取り組むことができる(中外国語(2)イ)。 (学・人)外国の風習について知り、文化の違いを感じることができる。	(知・技)ハロウィンにはどんな活動をするのか知ろうとする。 (思・判・表)ハロウィンの活動に工夫して取り組もうとする。 (主学)外国の風習について知り、文化の違いを感じようとする。 【評価資料】 授業プリント(振り返りシート)/ファイル(提出物)/活動の様子で評価する。	Halloween Lessons ・ ハロウィンについて知ろう ・ ハロウィンの活動をしよう	・ ハロウィンの歴史 ・ ハロウィンの単語マッチング ・ ワードサーチ ・ お面作り

	7	(知及技)形を表す英単語を知ることができる(中外国語(1)ア(ウ))。 (思判表力)プリント学習や活動の中で、形の単語をマッチングさせたり表現したりすることができる(中外国語(2)イ)/(3)②ア(ア)㊟。 (学・人)形に関する語を英語でどう表現するのか興味を示すことができる。	(知・技)形を表す英単語を知ろうとする。 (思・班・表)プリント学習や活動の中で、形の単語をマッチングさせたり表現しようとする。 (主学)形に関する語を英語でどう表現するのか興味を示そうとする。 【評価資料】 授業プリント(振り返りシート)/ファイル(提出物)/活動の様子で評価する。	・ What shape is it? ・ 形のなまえ	・ 形の種類 ・ 形カードマッチング
	6	(知及技)クリスマスに関する単語や表現、歌などを知ることができる(中外国語(1)イ(7))。 (思判表力)クリスマスに合わせたメッセージや飾りを選ぶことができる(中外国語(2)ア)。 (学・人)目的にあわせたメッセージや飾りを選びながらカード作成に取り組むことができる。	(知・技)クリスマスに関する単語や表現、歌などを知ろうとする。 (思・判・表)クリスマスに合わせたメッセージや飾りを選ぶことができる。 (主学)目的にあわせたメッセージや飾りを選びながらカード作成に取り組もうとする。 【評価資料】 授業プリント(振り返りシート)/ファイル(提出物)/活動の様子で評価する。	Christmas Lessons ・ クリスマスについて ・ クリスマスカードを家族に作る	・ クリスマスの単語 ・ クリスマスソング ・ クリスマス単語マッチング ・ クリスマスカード作り
3 学 期	6	(知乃技)体験的な活動を通して、日本と外国との生活、習慣、行事等の違いについて知ることができる(中外国語イ(ア))。 (思判表力)プリント学習や活動の中で、干支やおみくじの単語をマッチングさせたり表現したりすることができる(中外国語(2)イ)/(3)②ア(ア)㊟。 (学・人)日本と外国の言語や文化に慣れ親しむことができる。	(知・技)干支の動物に関する単語を知ろうとする。 (思・判・表)AETの国のお正月の様子を聞き、身振りや表情などで理解を表現しようとする。また、活動の中で、干支やおみくじの単語をマッチングさせたり表現しようとする。 (主学)外国のお正月について知る体験を通して、外国の文化の多様性について興味関心を示そうとする。 【評価資料】 授業プリント(振り返りシート)/ファイル(提出物)/活動の様子で評価する。	・ 新年を祝おう ・ 世界の正月&日本の正月 ・ おみくじ	・ 新年のあいさつ ・ 外国の新年 ・ 干支(Zodiac animals) ・ おみくじ ・ イラストを用いて干支の動物の発音を教師を真似て練習する。 ・ カードマッチングゲームを通して、干支を英語で発音する練習をする。
	7	(知及技)食べものを表す英単語を知ることができる(中外国語(1)ア(ウ))。 (思判表力)プリント学習や活動の中で、食べものの単語をマッチングさせたり表現したりすることができる((2)イ)/(3)②ア(ア)㊟。 (学・人)食べものに関する語を英語でどう表現するのか興味を示すことができる。	(知・技)食べものを表す英単語を知ろうとする。 (思・班・表)プリント学習や活動の中で、食べものの単語をマッチングさせたり表現しようとする。 (主学)食べものに関する語を英語でどう表現するのか興味を示そうとする。 【評価資料】 授業プリント(振り返りシート)/ファイル(提出物)/活動の様子で評価する。	・ What is it? ・ 食べもののなまえ	・ 食べものの種類 ・ 食べものカードマッチング
	5	(知及技)バレンタインに関する単語や、感謝の気持ちを伝える基本的な表現を知ることができる(中外国語(1)ア(ウ))((1)ア(イ))。 (思判表力)目的にあわせたカードの作成をする(中外国語(3)①エ(イ)) (学・人)目的にあわせたメッセージや飾りを選びながらカード作成に取り組む	(知・技)感謝の気持ちを伝える基本的な表現を知ろうとする。 (思・判・表)目的にあわせたカードの作成をしようとする。 (主学)目的にあわせたメッセージや飾りを選びながらカード作成に取り組もうとする。 【評価資料】 授業プリント(振り返りシート)/ファイル(提出物)/活動の様子で評価する。	バレンタインズデー ・ 感謝の気持ちを伝えるThank youカード ・ 1年間のまとめ	・ 感謝の表現 ・ バレンタインカードの作成(家族へ) ・ Thank youカードの作成(お世話になった先生方へ) ・ 既習語句や表現の振り返り
留意点 引継ぎ等	・ 個別の指導計画にて、個々の生徒の実態に合わせて段階を下学部対応にして目標を設定する場合もある。				

令和 8年度 中学部 1～3年 (II課程-B) 英語科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒		担当者	教科書／副教材	
1/35	1～3学年 II課程-B				
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語や外国の文化に触れることを通じて、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味や関心をもち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。(小外国語活動段階) (思判表力) 身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。(小外国語活動段階) (学・人) 外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(小外国語活動段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	5	(知及技)英語を用いた簡単な挨拶や自己紹介をする楽しさを知ることができる(小外国語(1)ア)。 (思判表力)英語を用いた簡単な挨拶について、相手の働きかけに応じようとする(小外国語(2)イ)。 (学・人)英語の挨拶や自己紹介の表現に関心を持つことができる。	(知・技) 英語を用いた簡単な挨拶や自己紹介の表現を楽しもうとする。 (思・判・表)英語を用いた簡単な挨拶について、相手の働きかけに応じようとする。 (主学)英語の音やリズムに親しみ、挨拶や自己紹介をよく聞いたりしようとする。 【評価資料】 授業プリント(塗り絵)/ファイル(提出物)/活動の様子で評価する。	・Hello! ・英語であいさつをしよう	・授業のあいさつ ・Let's start/finish English Class ・自己紹介 ・Hello ・I'm ~ ・My name is ~ ・アルファベットに関するプリント学習(塗り絵) ・ネームプレートを見て自分の名前を認識する
	5	(知及技)英語を用いて気持ち、天気を表現する楽しさを知ることができる(小外国語(1)ア)。 (思判表力)英語を用いた気持ち、天気について、相手の働きかけに応じようとする(小外国語(2)イ)。 (学・人)英語を用いた気持ちや天気の表現に関心を持つことができる。	(知・技) 英語を用いた気持ちや天気の表現を楽しもうとする。 (思・判・表)英語を用いた自分気持ちや天気について、相手の働きかけに応じようとする。 (主学)英語の音やリズムに親しみ、自分の気持ちや天気を選択しようとする。 【評価資料】 授業プリント(塗り絵)/ファイル(提出物)/活動の様子で評価する。	・How are you? ・気持ちや天気の英語表現を楽しもう	・How are you? ・気持ちカードマッチング ・気持ち、天気に関するプリント学習(塗り絵)
	4	(知及技)英語を用いた色の英語表現を聞き、音声やリズムに親しむことができる(小外国語(1)イ(7))。 (思判表力)英語を用いた色の表現について、注目して見聞きしようとする(小外国語(2)ア)。 (学・人)英語を用いた色の表現に関心を持つことができる。	(知・技) 英語を用いた色の英語表現を聞き、音声やリズムに親しもうとする。 (思・判・表)英語を用いた色の表現について、注目して見聞きしようとする。 (主学)英語の音やリズムに親しみ、色の表現に関心を持とうとする。 【評価資料】 授業プリント(塗り絵)/ファイル(提出物)/活動の様子で評価する。	・What color is it? ・色の英語表現を楽しもう	・色(カラー風船遊び) ・色カードマッチング ・色に関するプリント学習(塗り絵)
2 学期	4	(知及技)外国の行事(ハロウィン)に触れ、日本と外国の生活や違いを知ることができる(小外国語(1)イ(1))。 (思判表力)Trick or Treatについて、相手の働きかけに応じようとする(小外国語(2)イ)。 (学・人)英語を用いたハロウィンの表現に関心を持つことができる。	(知・技) 外国の行事(ハロウィン)に触れ、日本と外国の生活や違いを知ろうとする。 (思・判・表)Trick or Treatについて、相手の働きかけに応じようとする。 (主学)英語の音やリズムに親しみ、ハロウィンの表現に関心を持とうとする。 【評価資料】 授業プリント(塗り絵)/ファイル(提出物)/活動の様子で評価する。	Halloween Lessons ・ハロウィンを楽しもう	・ハロウィンについて(動画) ・仮装 ・Trick or Treat ・ハロウィンに関するプリント学習(塗り絵)
	5	(知及技)英語を用いた数字の英語表現を聞き、音声やリズムに親しむことができる(小外国語(1)イ(7))。 (思判表力)英語を用いた数字の表現について、注目して見聞きしようとする(小外国語(2)ア)。 (学・人)英語を用いた数字の表現に関心を持つことができる。	(知・技) 数字を用いた色の英語表現を聞き、音声やリズムに親しもうとする。 (思・判・表)英語を用いた数字の表現について、注目して見聞きしようとする。 (主学)英語の音やリズムに親しみ、数字の表現に関心を持とうとする。 【評価資料】 授業プリント(塗り絵)/ファイル(提出物)/活動の様子で評価する。	・How many? ・数(1～10)の英語表現を楽しもう	・数1～10について(動画) ・数字に関するパズル ・数字に関するプリント学習(塗り絵)

	4	(知及技)外国の行事(クリスマス)に触れ、日本と外国の生活や違いを知ることができる。(小外国語(1)イ(i))。 (思判表力)英語を用いたクリスマスの表現について、注目して見聞きしようとする(小外国語(2)ア)。 (学・人)英語を用いたクリスマスの表現に関心を持つことができる。	(知・技)外国の行事(クリスマス)に触れ、日本と外国の生活や違いを知ろうとする。 (思・班・表)英語を用いたクリスマスの表現について、注目して見聞きしようとする。 (主学)英語の音やリズムに親しみ、クリスマスの表現に関心を持とうとする。 【評価資料】 授業プリント(塗り絵)/ファイル(提出物)/活動の様子で評価する。	Christmas Lessons ・クリスマスを楽しもう	・クリスマスについて(動画) ・クリスマスカードマッチング ・クリスマスに関するプリント学習(塗り絵)
3 学期	4	(知及技)英語を用いた動物の英語表現を聞き、音声やリズムに親しむことができる(小外国語(1)イ(f))。 (思判表力)英語を用いた動物の表現について、注目して見聞きしようとする(小外国語(2)ア)。 (学・人)英語を用いた動物の表現に関心を持つことができる。	(知・技)動物を用いた色の英語表現を聞き、音声やリズムに親しもうとする。 (思・班・表)英語を用いた動物の表現について、注目して見聞きしようとする。 (主学)英語の音やリズムに親しみ、動物の表現に関心を持とうとする。 【評価資料】 授業プリント(塗り絵)/ファイル(提出物)/活動の様子で評価する。	・What animal is it? ・動物の英語表現を楽しもう	・動物について(動画) ・動物に関するパズル ・動物に関するプリント学習(塗り絵)
	4	(知及技)英語を用いた食べもの(果物)の英語表現を聞き、音声やリズムに親しむことができる(小外国語(1)イ(f))。 (思判表力)英語を用いた食べもの(果物)の表現について、注目して見聞きしようとする(小外国語(2)ア)。 (学・人)英語を用いた食べもの(果物)の表現に関心を持つことができる。	(知・技)英語を用いた食べもの(果物)の英語表現を聞き、音声やリズムに親しもうとする。 (思・班・表)英語を用いた食べもの(果物)の表現について、注目して見聞きしようとする。 (主学)英語の音やリズムに親しみ、食べもの(果物)の表現に関心を持とうとする。 【評価資料】 授業プリント(塗り絵)/ファイル(提出物)/活動の様子で評価する。	・What fruits do you like? ・食べもの(果物)の英語表現を楽しもう	・食べもの(果物)について(動画) ・食べものに関するパズル ・食べものに関するプリント学習(塗り絵)
留意点 引継ぎ等					

単位数 / 配当時間	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	1 学年Ⅱ課程－A B		【教科書】新・10歳からのルール100①友だち・学校のルール (すずき出版) はじめての「よのなかルールブック」おやくそくえほん (日本図書センター) マナーやルールがどんどんわかる! みちかなマーク (ひかりのくに) その他、適宜絵本や、メディア等を教材に利用する。

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(A:自分自身に関する事)自分の特徴に気づき長所を伸ばしたり、過ちは素直に改め正直に明るく生きて生活したり、自分でやろうと決めた目標に向かって粘り強くやり抜く態度を育てる。 (B:人との関わりに関する事)家族など生活を支えてくれる人々への感謝の気持ちを持ち、友達との相互理解に努め、助け合う態度を育てる。 (C:集団や社会との関わりに関する事)約束や社会の決まりの意義を理解したり、働くことの大切さを知り進んでみんなの為に働いたりして、協力し合って楽しい学級や学校を作ろうとする態度を育てる。 (D:生命や自然、崇高な物との関わり)生命の尊さを知り、自然の素晴らしさや不思議さを感じとり、自然や動植物を大切にすることを育てる。		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4	【C:集団・社会】 ①同級生や上級生、先生に親しみを持ち、学校生活を楽しくもうとする心情を持つ。	①ようこそ、中学部へ(4) (よりよい学校生活、集団生活の充実)	①中学部の仲間と挨拶をしたり、互いに気持ちよく過ごすためのマナー(ふわふわことば)について考える。学校をささえる先生たちを確認する。
	4	【C:集団・社会】 ②法や決まりの意義を考え、理解した上で守り、自他の権利を大切に、守ろうとする。	②きまりって、必要?(4) (家族愛、家庭生活の充実) (規則の尊重)	②「ルールは必要?」という問から、対話の中で自分なりの答えを探す。(みんなが使うものは、大切に。ごみは決められたところにすてるなど)
	3	【A:自分】 ③命の大切さを知る。命をまもるためにどうするか考える。	③いのちをたいせつにするには(3) (正直、誠実) (善悪の判断、自律、自由と責任) (希望と勇気、努力と強い意志)	③慰霊の日や、ニュースの話題から、平和や命の大切さについて考える。
	2	【D:生命】 ④友達と互いに信頼し、学びあって友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築こうとする。	④みんなのいいところ望遠鏡(2) (命の尊さ)	④友達や家族のいいところを書き出し、掲示したり発表したりする。
2 学期	8	【B:人】 ⑤友達や周りの人の気持ちを感じ取る。	⑤人の気持ち(8) (親切、思いやり) (友情、信頼) (相互信頼、寛容) (感謝) (礼儀)	⑤「敬老の日」、「勤労感謝の日」の取り組みや、学校生活の様々な場面で友人や周りの人の思いやり、喜怒哀楽の気持ちを考え、感謝や寛容等の望ましい態度を知る。
	5	【A:自分】 ⑥人の立場に立って物事を考えようとする。	⑥自分の立場、人の立場(5) (善悪の判断、自律、自由と責任) (節度、節制)	⑥様々な場面や人間関係、立場に立ち望ましい態度を知る。(いけないことをしないために)
3 学期	5	【D:生命】 ⑦動物や植物の生命の大切さを知る。	⑦自然の生命(5) (自然愛護)	⑦動植物の生態を学び一つ一つの命の大切さを考える。
	4	【D:生命】 ⑧身のまわりのうつくしいものを探し、大切にしようとする。	⑧うつくしいもの、うつくしいところ(4) (感動、畏敬の念)	⑧動物や自然、身近な人の写真を活用し、すてきなところや大切にしたいところを考える。
留意点 引継ぎ等				

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材	
1/35	2 学年 Ⅱ課程 - A B		【教科書】 新・10歳からのルール100①友達・学校のルール (すずき出版) はじめの「よのなかルールブック」おやくそくえほん(日本図書センター) マナーやルールがどんなかわかる！みちかなマーク(ひかりのくに) その他、適宜絵本やメディア等を使用する。	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度				
年間目標 (A:自分自身に関する事)自分の特徴に気づき長所を伸ばしたり、過ちは素直に改め正直に明るく生活したり、自分でやろうと決めた目標に向かって粘り強くやり抜く態度を育てる。 (B:人との関わりに関する事)家族など生活を支えてくれる人々への感謝の気持ちを持ち、友達との相互理解に努め、助け合う態度を育てる。 (C:集団や社会との関わりに関する事)約束や社会の決まりの意義を理解したり、働くことの大切さを知り進んでみんなの為に働いたりして、協力し合っ楽しい学級や学校を作ろうとする態度を育てる。 (D:生命や自然、崇高な物との関わり)生命の尊さを知り、自然の素晴らしさや不思議さを感じとり、自然や動植物を大切にすることを育てる。				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して		【A:自分】 ①自分の特徴を知って、長所を認める。	・こんなことしてない？ ・キミはどんなふう友達と話をしているかな？ (個性の伸長)	・イラストを見て自分がしていることを考えてみる。 チェックシートを通して自分を知る。 ・学校生活の様々な場面で自分が「好き」だと感じているものを考えてみる。
1 学期	4	【C:集団・社会】 ①友達と互いに理解し、信頼し、助け合おうとすることができる。 ②自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にしようと思えることができる。	・好きなものをピンゴてお友達のことをもっと知ろう！ ・〇〇さんのすてきなところ「他己紹介」をしよう ・友だちのいいところ探しすぐろく (友情・信頼)(相互理解・寛容)	・ベアを決めて、お互いに好きなものを聞いていく。お互いに質問し合うことでコミュニケーションを図る。 ・友達の顔写真の周りに、いい言葉をいっぱい貼っていく。いいところを見つける素地を作る。 ・クラスメイトの好きなものを質問する「すぐろく」を通して、相手の見方や考え方に触れていく。
	6	【C:集団・社会】 沖縄の伝統と文化、産業に着目し、沖縄の面白さを知る。 【D:生命】 生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重しようとする。	・沖縄ってこんなにすてき！ (伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度) ・いのちをたいせつにするには(3) (正直、誠実) (善悪の判断、自律、自由と責任) (希望と勇気、努力と強い意志)	③慰霊の日や、ニュースの話題から、平和や命の大切さについて考える。
	2	【A:自分】 自立の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつ。 【A:自分】 真理を大切にし、物事を探求しようとする。	・このきまり「必要?」「必要じゃない?」(善悪の判断、自律、自由と責任) (真理の探究)	・夏休目を前に、生徒規則を読み合わせ、どうしてこのようなきまりがあるのか、必要かそうでないのかなど、自分や仲間とともに考え、意見を出そうとすることができる。
	4	【C:集団・社会】 働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役にたとうとする。	・街をきれいにしているのはだあれ? ・分担された清掃区域について、清掃の工夫点をまとめよう ・好きなことを仕事にしよう (勤労・公共の精神)	・公共物をきれいに使うのはどうしてか考えることができる。 ・清掃しているようすを写真で見て、何を頑張っているか、どのように工夫しているかポスターにする。 ・好きなことして仕事をしている人の動画やインタビューを見て、自分の好きなことを伸ばそうと考えることができる。
	2	【A:自分】 ①自分の特徴を知って、長所を認めようとする。 ②より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜こうとする。	・運動会、がんばりました！ (個性の伸長) (希望と勇気、努力と力強い意思)	・運動会の写真を見て、自分が頑張ったことに気づく。また、自分自身へ表彰状を作成し、自分を誇りに思う。
	6	【A:自分】 自由を大切にし、自律的に判断し、責任のある行動をする。 【B:人】 誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。 【C:集団・社会】 法やきまりの意義を理解した上でそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たす。 【D:生命】 よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、人間として生きる喜びを感じる。	・修学旅行に向けて (善悪の判断) (自律、自由と責任) (親切、思いやり) (規則の尊重) (感動、畏敬の念)	・修学旅行に向けて、旅行に関わるルール等を確認し、どうしてそのような決まりがあるのか考えることができる。
3 学期	12	【C:集団・社会】 法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たすこと。 【B:人】 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で異なる意見や立場を尊重すること。	・3年生に向けて、かっこいい3年生について考えよう。 (規則の尊重) (相互理解・寛容)	・学校のリーダーとしてどのようにふるまうか、どのように考えるかをみんなで考える。
留意点 引継ぎ等 ・学習の内容(題材やテーマ)において社会や自然を扱う場合、より学習効果が得られると考えた場合は校外にて学習(校外学習)を行う。				

単位数 / 配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
1/35	3学年 Ⅱ課程AB		「給食番長」大型絵本(図書室) 「まさるとガジュマル」絵本(図書室) 小3教科書

年間目標		(A:自分自身に関する事)自分の特徴に気づき長所を伸ばしたり、過ちは素直に改め正直に明るく生きて生活したり、自分でやろうと決めた目標に向かって粘り強くやり抜く態度を育てる。 (B:人との関わりに関する事)家族など生活を支えてくれる人々への感謝の気持ちを持ち、友達との相互理解に努め、助け合う態度を育てる。 (C:集団や社会との関わりに関する事)約束や社会の決まりの意義を理解したり、働くことの大切さを知り進んでみんなの為に働いたりして、協力し合って楽しい学級や学校を作ろうとする態度を育てる。 (D:生命や自然、崇高な物との関わり)生命の尊さを知り、自然の素晴らしさや不思議さを感じとり、自然や動植物を大切にすることを育てる。		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	3	【B:人】 ①身近にいる友達の良さについて気づき、温かい心で接することでよりよい友達関係を築く。	①友達紹介(3) (友情・信頼)	①友達について知っていることを紙に書いて紹介する。・友達から紹介された自分について嬉しかったことや気がついたことなど確かめ合う。・友達に感謝の気持ちを持つ。
	3	【C:集団・社会】 ②学校で働く人々に親しんだり、感謝しながら学級や学校の生活を楽しくする。	②「給食番長」(5) (よりよい学校生活)	②教師以外の学校で働く様々な仕事をする人に気がつく。・給食の調理員さんの思いや仕事の大変さを調べる。・感謝の気持ちを持ち、好き嫌いを減らして給食をいただくとする。 ※「給食番長」大型絵本(図書室)
	6	【D:生命】 ③生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重する。	③「まさるとガジュマル」(5) (命の尊さ)	③「慰霊の日」を前に沖縄戦について知っていることを発表する。・命のはかなさや大切さについて考える。・平和とは何かを知る。・平和に関する資料、動画、展示に触れる。 ※「まさるとガジュマル」絵本(図書室)
2 学期	4	【B:人】 ④家族のために自分ができることは何かを考え、進んで役に立つことをする。	④「清作のお手伝い」(5) (家族愛・家庭生活の充実)	④清作が行った手伝いの意味を考える。・手伝いにはどんなものがあるかを考える。・相手が喜ぶことや自分がやるべき事も手伝いになることを知る。 ※小3教科書P28～31
	5	【C:集団・社会】 ⑤校外学習に向けて、ルールやマナー、礼儀について学ぶ。	⑤公共交通機関のルールを学ぶ。 (2)(規則の遵守)	⑤写真やイラスト、動画教材から公共交通機関や施設でのルールやマナーを考えロールプレイを行う。
	2	【C:集団・社会】 ⑥我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着を持つ。	⑥きつねおどり(6) (伝統文化の尊重・国や郷土を愛する態度)	⑥自分の地域の伝統文化と他の地域の伝統文化を動画教材から違い考え、お互いの良さを知る。
3 学期	6	【A:自分】 ⑦自分の特徴に気がつき、好きなことを伸ばして個性とする。	⑦「三年元気組」(5) (個性の伸長)	⑦個性とは何かを考える。・友達や自分の特徴について紙に書く、発表する。・好きなことを見つけ、どうやって続けるかを考える。・続けた結果が長所になることをイメージする。・ワークシートを使って発表する。
	6	【B:人】 ⑧感謝の気持ちを表現する。	⑧感謝の気持ちを伝えよう(4) (感謝)	⑧これまで学習してきたことを振り返り、お世話になった人を知る。・手紙を書く。
留意点 引継ぎ等				

令和 8 年度 中学部 1～3 学年（Ⅱ課程AB）特別活動 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	1～3 学年 Ⅱ課程AB		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)学級活動における集団での活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動することができる。 (思判表力)学級、学校での人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (学・人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、学校生活における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、学校生活についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養うことができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	21	(学校行事(1)) 新しい先生や友達、教室を知り、新しい生活への希望や意欲を持つことができる。	・新しい先生や友達、教室を知り、新しい生活への希望や意欲を持つことができる。	・始業式、入学式	・先生や友達の名前を知る。 ・自分のクラスを知る。 ・校歌を聞いたり歌ったりする。
		(学級活動(1)ア、(3)ア) キャリアパスポートを活用し、自己理解を深め、学ぶこと、働くことを意識して学校生活に見通しを持ち、進んで学習に取り組むことができる。	・キャリアパスポートを活用し、自己理解を深め、学ぶこと、働くことを意識して学校生活に見通しを持ち、進んで学習に取り組むことができる。	・学級目標	・1学期の学習について知り、話し合っ学級目標や係分担任を決める。 ・個人目標を決める。 ・キャリアパスポートを記入する。
		(生徒会活動(2)) 他学年と交流し、一緒に楽しむことができる。	・他学年と交流し、一緒に楽しむことができる。	・新入生歓迎会	・自己紹介やレクなどを楽しみながら会に参加する。
		(学校行事(3)) 身体測定や検診の受け方を知り、手順に沿って受けることができる。	・身体測定や検診の受け方を知り、手順に沿って受ける様子がみられる。	・保健行事	・身体測定や検診があることを知り、必要に応じて事前に練習する。 ・身体測定や検診を受ける。
		(学級活動(3)ア) 図書室の仕組みや利用方法を知り、進んで活用することができる。	・図書室の仕組みや利用方法を知り、進んで活用しようとする。	・図書館の利用について	・図書室のオリエンテーションに参加する。 ・図書室を利用して本を借りる。
		(生徒会活動(1)) 生徒会の目的や活動内容を知り、生徒会活動の運営に協力することができる。	・生徒会の目的や活動内容を知り、生徒会活動の運営に協力しようとする。	・生徒総会	・生徒総会に参加する。 ・生徒会の目的や活動内容について知る。
		(学校行事(3)) 安全な避難方法を学習し、身を守るために必要な行動を身に付けることができる。	・安全な避難方法を学習し、身を守るために必要な行動をしようとする。	・火災避難訓練	・火災避難訓練に参加する。 ・事後学習で振り返りを行い、避難方法等を再確認する。
2 学期	21	自分や友達の変化や成長に気付くことができる。キャリアパスポートを活用して自己評価することができる。	・自分や友達の変化や成長に気付く様子がみられる。キャリアパスポートを活用して自己評価しようとする。	・1学期の振り返りと夏休みに向けて	・1学期を振り返る。 ・自分や友達のことについて発表したり、発表を聞いたりする。また、キャリアパスポートを記入する。
		(学校行事(1)) 儀式的行事の意義やその場にふさわしい参加の仕方を知り、マナーを守って参加できる。	・儀式的行事の意義やその場にふさわしい参加の仕方を知り、マナーを守って参加しようとする。	・終業式	・式にふさわしい服装や態度で終業式に参加する。 ・通知表を受け取り、1学期を振り返る。
		(学校行事(1)) 2学期の始まりに希望や意欲を持つ。	2学期の始まりに希望や意欲を持つ。	・始業式	・式にふさわしい服装や態度で終業式に参加する。 ・静かに話を聞いたり、校歌を歌ったりする。
		(学級活動(1)ア、(3)ア) キャリアパスポートを活用し、自己理解を深め、学ぶこと、働くことを意識して学校生活に見通しを持ち、進んで学習に取り組む。	キャリアパスポートを活用し、自己理解を深め、学ぶこと、働くことを意識して学校生活に見通しを持ち、進んで学習に取り組もうとする。	・2学期の学校生活	・2学期の学習について知り、話し合っ学級目標や係分担任を決める。 ・個人目標を決める。 ・キャリアパスポートを記入する。
		(学校行事(3)) 身体測定や検診の受け方を知り、手順に沿って受けることができる。	身体測定や検診の受け方を知り、手順に沿って受ける様子がみられる。	・保健行事	・身体測定や検診があることを知り、必要に応じて事前に練習する。 ・身体測定や検診を受ける。
		(学校行事(2)) 他の生徒と協力して日頃の学習や活動の成果を発表することができる。	他の生徒と協力して日頃の学習や活動の成果を発表しようとする。	・運動会(隔年)	・自分や友達役割を知り、協力しながら練習に取り組む。
		(学校行事(3)) 安全な避難方法を学習し、身を守るために必要な行動の仕方を知り、身に付ける。	安全な避難方法を学習し、身を守るために必要な行動の仕方を知り、身に付ける。	・地震津波火災避難訓練	・地震津波火災避難訓練に参加する。 ・事後学習で振り返りを行い、避難方法等を再確認する。
3 学期	13	(学校行事(3)) 生徒個々の体力の向上と強化を図り、自分の出場する種目に力一杯競技する態度を養う。	生徒個々の体力の向上と強化を図り、自分の出場する種目に力一杯競技しようとする。	・特別支援学校体育大会	・特別支援学校体育大会に参加し出場する種目に力一杯取り組む。 ・友達への応援をする。
		(学校行事(3)) 長距離走を通して、持久力の向上を図り、日頃の学習の成果を出せるようにすることができる。	長距離走を通して、持久力の向上を図り、日頃の学習の成果を出せるようにしようとする。	・校内マラソン大会	・校内マラソン大会に参加する。 ・自分のペースで完走をする。 ・自分が走らない時は応援をする。
		(学校行事(1)) 3学期の始まりに希望や意欲を持つことができる。	3学期の始まりに希望や意欲を持つ。	・3学期始業式	・式にふさわしい服装や態度で終業式に参加する。 ・静かに話を聞いたり、校歌を歌ったりする。
		(学級活動(1)ア、(3)ア) キャリアパスポートを活用し、自己理解を深め、学ぶこと、働くことを意識して学校生活に見通しを持ち、進んで学習に取り組むことができる。	キャリアパスポートを活用し、自己理解を深め、学ぶこと、働くことを意識して学校生活に見通しを持ち、進んで学習に取り組もうとする。	・3学期の学校生活	・3学期の学習について知り、話し合っ学級目標や係分担任を決める。 ・個人目標を決める。 ・キャリアパスポートを記入する。
3 学期	13	(学校行事(2)) 他の生徒と協力して日頃の学習や活動の成果を発表することができる。	他の生徒と協力して日頃の学習や活動の成果を発表しようとする。	・学習発表会(隔年)	・自分や友達役割を知り、協力しながら練習に取り組む。
		(生徒会活動(1)) 生徒会の活動を理解し、興味・関心を持つ。生徒会役員選挙について学習し、新しい生徒会役員を選出することができる。	生徒会の活動を理解し、興味・関心を持つ。生徒会役員選挙について学習し、新しい生徒会役員を選出しようとする。	・生徒会役員選挙(告示、投票なども含む)	・生徒会活動と生徒会役員選挙について学習する。 ・立候補者や推薦人の演説を聴き、投票する。 ・学習発表会の日時を知り、テーマについて話し合う。

	(生徒会活動(2)) 3年生の卒業をみんなで祝い、共に過ごした中学部の仲間と楽しい思い出を作ることができる。	3年生の卒業をみんなで祝い、共に過ごした中学部の仲間と楽しい思い出を作ろうとする。	・3年生を送る会	・3年生を送る会に参加し、3年生の卒業を祝う。 ・スライドを見て、思い出を振り返る。 ・感謝の気持ちを込めてプレゼントを渡す、受け取る。
	(学級活動(2ア)) 自分や友達の変化や成長に気付くことができる。キャリアパスポートを活用して自己評価することができる。	自分や友達の変化や成長に気付くことができる。キャリアパスポートを活用して自己評価しようとする。	・1年間の振り返りと次年度にむけて	・1年間を振り返る。 ・自分や友達のことについて発表したり、発表を聞いたりする。 ・キャリアパスポートを記入する。
	(学校行事(1)) 1年間の修了を知り、儀式的行事の意義やその場にふさわしい参加の仕方を知り、マナーを守って参加することができる。	1年間の修了を知り、儀式的行事の意義やその場にふさわしい参加の仕方を知り、マナーを守って参加しようとする。	・卒業式、修了式、離任式	・式にふさわしい服装や態度で卒業式に参加する。 ・静かに話を聞いたり、校歌を歌ったりする。 ・卒業証書や修了証書を受け取り、1年間を振り返る。
年間を通して	(遠足・集団宿泊的行事) 集団宿泊活動において、平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、人間関係などの集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができる。	校外学習及び修学旅行を通して、平素と異なる生活環境から、見聞を広めることができる。	・校外学習 ・修学旅行(2学年)	・校外にて、様々な生活環境の変化を通して、見聞を広げることができる。 ・集団活動を通して、人間関係の在り方を学ぶことができる。 ・公共のマナーを理解することができる。
留意点 引継ぎ等				

令和 8 年度 中学部 1 年 (Ⅱ課程AB) 総合的な学習の時間 年間指導計画

単位数 /配当時数	生徒	担当者	教科書/副教材
1/35	1学年 Ⅱ課程A		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 探求的な見方・考え方を働かせ、課題の解決に必要な知識及び技能を身につける。 (思判表力) 実社会や実生活の中から問いを見だし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報をまとめ・表現することができる。 (学・人) 探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、社会に参画する態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	3	(知及技) 学級や学年の仲間に関心をもって話を聞くことができる。	(知・技) 学級や学年の仲間の話や発表を静かに聞き、相手のことを知ろうとしている。	・中1オリエンテーション ・教科の教室について調べよう ・自分の1週間の時間割を調べて表にまとめよう (4月)	・学級担任制と異なる中学部の教科担当制について調べ、自分の時間割を表にまとめて掲示し発表する。 ・ICT等を活用し、中学部の授業内容について調べ、興味のあることを発表する。
	3	(知及技) 自分の興味・関心や得意なことについて振り返り、働くことや職業についての基本的な知識を身につけることができる。	(知・技) 自分の興味・関心や得意なことについて振り返り、働くことや職業についての基本的な知識を身につけようとしている。	・進路学習 (5月)	・職業や仕事に関する情報を調べ、問いを持って学習に取り組む。 ・自分の考えをワークシートや話し合いで表現し、友だちの意見にも耳を傾ける。
	3	(思判表力) 慰霊の日の意味や歴史について学び、自分の考えをもちながら、平和の大切さに気づくことができる。	(思・判・表) 慰霊の日の意味や歴史について学び、自分の考えをもちながら、平和の大切さについて考えようとしている。	・平和集会事前事後学習 (6月)	・平和集会の事前事後学習を通して、みんなで考え話し合う。また、自分の感想を書いた絵で表現する。
	3	(学・人) 他校の生徒との交流を通して、お互いのよさを認め合い、協力して活動することができる。 (知及技) 地域社会の様子に関心を持ち、公共施設の利用方法、マナーについて理解する。	(主学) 交流を通して親睦を深め、お互いを理解しようとしている。 (知・技) 地域社会の様子に関心を持ち、公共施設の利用方法、マナーについて理解しようとしている。	・交流学習①(中城中) ・校外学習 (7月)	・中城中学校についてスライドを通して学んだり、中城中学校の生徒と一緒に作業学習を行う。 ・施設の利用方法を知り、集団生活のマナーやルールに対する意識を高める。
2 学期	4	(知及技) よい挨拶の仕方や望ましい距離感について知ることができる。 (思判表力) 適度な距離を考えて相手と会話することができる。	(知・技) よい挨拶の仕方や望ましい距離感について知ろうとしている。 (思・判・表) 教師と一緒に、適度な距離を考えて相手と会話をしようとしている。	・お事にむけて、お話の仕方を考えよう	・挨拶の仕方や、距離感について実践も交えながら取り組んでいく。
	6	(知及技) 交流先の学校について知ることができる。 (学・人) お手紙交流を通して親睦を深め、お互いを理解し合うことができる。 (学・人) 集団行動や校外でのルールやマナーを身につけ、生活経験を広げることができる。	(知・技) 教師と一緒に交流先の学校について調べようとしている。 (主学) お手紙交流を通して親睦を深め、お互いを理解しようとしている。 (主学) 集団行動や校外でのルールやマナーを身につけ、生活経験を広げようとしている。	・交流学習②(球陽中) ・校外学習 (10月)(12月)	・交流先の学校について関心を持つことができる。 ・手紙を通して、学校紹介、自己紹介、授業の紹介をする。 ・施設の利用方法や買い物について確認し、お金の扱い等を練習する。
	4	(知及技) 働くことの意味や自分に合った仕事について考えたり調べたりすることができる。	(知・技) 自分に合った仕事について考えたり調べたりしようとしている。	・進路学習 (11月)	・興味のある職業や福祉事業所を調べたり、高等部への進学意識を高める。
3 学期	3	(思判表力) 職業について調べる体験を通して、得た知識や自分と違う考えもあることに気付くことができる。	(思・判・表) 職業について調べる体験を通して、得た知識や自分と違う考えもあることに気付くようとしている。	・進路学習 (1月)	・職業や仕事に関する情報を調べ、問いを持って学習に取り組む。 ・自分の考えをワークシートや話し合いで表現し、友だちの意見にも耳を傾ける。
	3	(知及技) 共に過ごした中学部の仲間と楽しい思い出を振り返り、仲間の卒業後の進路について知ることができる。	(知・技) 共に過ごした中学部の仲間と楽しい思い出を振り返り、仲間の卒業後の進路について知ろうとしている。	・3年生送る会事前学習 (2月)	・3年生への・感謝の気持ちを込めてプレゼントを作製する。
	3	(学・人) 1年間を振り返り、発表することができる。	(主学) 1年間を振り返り、発表しようとしている。	・1年間のまとめ	・楽しかったことや頑張りたいことを感想文にまとめて発表する。
留意点 引継ぎ等					

令和 8 年度 中学部 2 年 (Ⅱ課程AB) 総合的な学習の時間 年間指導計画

単位数 /配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	2 学年 Ⅱ課程 AB		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人) 学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学) 主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 探求的な見方・考え方を働かせ、課題の解決に必要な知識及び技能を身につける。 (思判表力) 実社会や実生活の中から問いを見いだし、その解決に向けて見直しをもって調べ、集めた情報をまとめ・表現することができる。 (学・人) 探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、社会に参画する態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	3	(知及技) 学級や学年の仲間に関心をもって話を聞くことができる。	(知・技) 学級や学年の仲間と話や発表を静かに聞き、相手のことを知ろうとしている。	・中 2 オリエンテーション ・教科の教室について調べよう ・自分の 1 週間の時間割を調べて表にまとめよう (4月)	・学級担任制と異なる中学部の教科担当制について調べ、自分の時間割を表にまとめて掲示し発表する。 ・ICT等を活用し、中学部の授業内容について調べ、興味のあることを発表する。
	3	(知及技) 自分の興味・関心や得意なことについて振り返り、働くことや職業についての基本的な知識を身につけることができる。	(知・技) 自分の興味・関心や得意なことについて振り返り、働くことや職業についての基本的な知識を身につけようとしている。	・進路学習 (5月)	・職業や仕事に関する情報を調べ、問いを持って学習に取り組む。 ・自分の考えをワークシートや話し合いで表現し、友だちの意見にも耳を傾ける。
	3	(思判表力) 慰霊の日の意味や歴史について学び、自分の考えをもちながら、平和の大切さに気づくことができる。	(思・判・表) 慰霊の日の意味や歴史について学び、自分の考えをもちながら、平和の大切さについて考えようとしている。	・平和集会 (6月)	・平和集会の事前事後学習を通して、みんなで考え話し合う。また、自分の感想を書いたり絵で表現する。
	3	(学・人) 他校の生徒との交流を通して、お互いのよさを認め合い、協力して活動することができる。 (知及技) 地域社会の様子に関心を持ち、公共施設の利用方法、マナーについて理解することができる。	(主学) 交流を通して親睦を深め、お互いを理解しようとしている。 (知・技) 地域社会の様子に関心を持ち、公共施設の利用方法、マナーについて理解しようとしている。	・交流学習① (中城中) ・社会見学 (校外学習) ・社会見学事後学習 (7月)	・中城中学校についてスライドを通して学んだり、中城中学校の生徒と一緒に作業学習を行う。 ・施設の利用方法を知り、集団生活のマナーやルールに対する意識を高める。
2 学期	3	(知及技) 修学旅行について理解を深めるとともに、行く先や移動方法について調べることができる。 (知及技) 校内実習について理解を深めるとともに、必要な作業やルールを身につけることができる。	(知・技) 修学旅行について関心を持ち、行き先や、移動手段について調べ、理解しようとしている。 (知・技) 校内実習について理解を深めるとともに、必要な作業やルールを身につけようとしている。	・修学旅行事前学習① ・校内実習事前学習 (9月)	・修学旅行に向け、行き先、移動方法、移動時間を調べる。 ・動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、修学旅行の内容を具体的にイメージする。 ・校内実習における目標を作成する。
	4	(思判表力) 実習での自分の行動や気づきを振り返り、学んだことを発表することができる。 (学・人) お手紙交流を通して親睦を深め、お互いを理解し合うことができる。 (学・人) 集団行動や校外でのルールやマナーを身につけ、生活経験を広げることができる。	(思・判・表) 実習での自分の行動や気づきを振り返り、学んだことを発表したり表現したりしようとしている。 (主学) お手紙交流を通して親睦を深め、お互いを理解しようとしている。 (主学) 集団行動や校外でのルールやマナーを身につけ、生活経験を広げようとしている。	・校内実習事後学習 ・交流学習② (球陽中) ・社会体験学習 (校外学習) (修学旅行事前学習②) (10月)	・反省をまとめたり、写真や動画を使って実習内容を発表することができる。 ・手紙を通して、学校紹介、自己紹介、授業の紹介をする。 ・施設の利用方法や買い物について確認し、お金の扱い等を練習する。
	4	(知及技) 働くことの意味や自分に合った仕事について考えたり調べたりすることができる。 (知及技) 修学旅行について理解を深めるとともに、行く先や移動方法についてまとめることができる。	(知・技) 働くことの意味や自分に合った仕事について考えたり調べたりしようとしている。 (知・技) 修学旅行について関心を持ち、行き先や、移動手段について調べ、まとめようとしている。	・進路学習 ・修学旅行壮行会 ・修学旅行事前学習③ (11月)	・興味のある職業や福祉事業所を調べたり、高等部への進学意識を高める。 ・修学旅行壮行会に向け、調べた内容をまとめる。
	3	(知及技) 写真の整理の仕方 (時系列・テーマ別など) を学び、アルバム等にまとめる技術を身につけることができる。	(知・技) 写真の整理の仕方 (時系列・テーマ別など) を学び、アルバム等にまとめる技術を身につけようとしている。	・修学旅行事後学習 (12月)	・思い出の写真を集めて、修学旅行の思い出をまとめる。
	3	(思判表力) 職業について調べる体験を通して、得た知識や自分と違う考えもあることに気付くことができる。	(思・判・表) 職業について調べる体験を通して、得た知識や自分と違う考えもあることに気付くようとしている。	・進路学習 (1月)	・職業や仕事に関する情報を調べ、問いを持って学習に取り組む。 ・自分の考えをワークシートや話し合いで表現し、友だちの意見にも耳を傾ける。
3 学期	3	(知及技) 共に過ごした中学部の仲間と楽しい思い出を振り返り、仲間の卒業後の進路について知ることができる。	(知・技) 共に過ごした中学部の仲間と楽しい思い出を振り返り、仲間の卒業後の進路について知ろうとしている。	・3年生送る会事前学習 (2月)	・3年生への・感謝の気持ちを込めてプレゼントを製作する。
	3	(学・人) 1年間を振り返り、発表することができる。	(主学) 1年間を振り返り、発表しようとしている。	・1年間のまとめ	・楽しかったことや頑張りたいことを感想文にまとめて発表する。
	留意点 引継ぎ等	・実社会や実生活の具体的な場所や環境 (公共施設、商業施設、公共の場など) での活動が、より教育効果 (または般化) を見込めると判断した場合には実際の			

令和 8 年度 中学部 3 年 (Ⅱ課程 A B) 総合的な学習の時間 年間指導計画

単位数 /配当時数	生徒	担当者	教科書/副教材
1/35	3 学年 Ⅱ課程 A B		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 探求的な見方・考え方を働かせ、課題の解決に必要な知識及び技能を身につける。 (思判表力) 実社会や実生活の中から問いを見いだし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報をまとめ・表現することができる。 (学・人) 探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、社会に参画する態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	3	(知及技) 学級や学年の仲間に関心をもって話を聞くことができる。	(知・技) 学級や学年の仲間の話や発表を静かに聞き、相手のことを知ろうとしている。	・中3オリエンテーション ・教科の教室について調べよう ・自分の1週間の時間割を調べて表にまとめよう(4月)	・自分の時間割を表にまとめて掲示し発表する。 ・ICT等を活用し、中学部の授業内容について調べ、興味のあることを発表する。
	3	(知及技) 自分の興味・関心や得意なことについて学び、自分の考えをもちながら、職業についての基本的な知識を身につけることができる。	(知・技) 自分の興味・関心や得意なことについて振り返り、働くことや職業についての基本的な知識を身につけようとしている。	・進路学習 ・施設見学事前学習(5月)	・職業や仕事に関する情報を調べ、問いを持って学習に取り組む。 ・自分の考えをワークシートや話し合いで表現し、友だちの意見にも耳を傾ける。
	3	(思判表力) 慰霊の日の意味や歴史について学び、自分の考えをもちながら、平和の大切さに気づくことができる。 (思判表力) 幅広い職業観を基に、自分の得意なことを考え、自分の将来や未来について想像することができる。 (知及技) 地域社会の様子に関心を持ち、公共施設の利用方法、マナーについて理解する。	(思・判・表) 慰霊の日の意味や歴史について学び、自分の考えをもちながら、平和の大切さについて考えようとしている。 (思判表力) 幅広い職業観を基に、自分の得意なことを考え、自分の将来や未来について想像しようとしている。 (知・技) 地域社会の様子に関心を持ち、公共施設の利用方法、マナーについて理解しようとしている。	・平和集会 ・施設見学(校外学習) ・施設見学事後学習 ・社会見学事前学習(6月)	・平和集会の事前事後学習を通して、みんなで話を話し合う。また、自分の感想を書いた絵で表現する。
	3	(学・人) 他校の生徒との交流を通して、お互いのよさを認め合い、協力して活動することができる。 (知及技) 学んだり体験したことと、生活や職業との関連を考えることができる。	(主学) 交流を通して親睦を深め、お互いを理解しようとしている。 (知・技) 学んだり体験したことと、生活や職業との関連を考えようとしている。	・交流学習①(中城中) ・社会見学(校外学習) ・社会見学事後学習(7月)	・中城中学校についてスライドを通して学んだり、中城中学校の生徒と一緒に作業学習を行う。 ・施設の利用方法を知り、集団生活のマナーやルールに対する意識を高める。
	3	(知及技) 校内実習について理解を深めるとともに、必要な作業やルールを身につけることができる。	(知・技) 校内実習について理解を深めるとともに、必要な作業やルールを身につけようとしている。	・校内実習事前学習(9月)	・動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、校内実習の内容を具体的にイメージする。 ・校内実習における目標を作成する。
2 学期	4	(思判表力) 実習での自分の行動や気づきを振り返り、学んだことを発表することができる。 (学・人) お手紙交流を通して親睦を深め、お互いを理解し合うことができる。	(思・判・表) 実習での自分の行動や気づきを振り返り、学んだことを発表したり表現したりしようとしている。 (主学) お手紙交流を通して親睦を深め、お互いを理解しようとしている。	・校内実習事後学習 ・交流学習②(球陽中)(10月)	・反省をまとめたり、写真や動画を使って実習内容を発表することができる。 ・手紙を通して、学校紹介、自己紹介、授業の紹介をする。
	4	(知及技) 働くことの意味や自分に合った仕事について考えたり調べたりすることができる。	(知及技) 働くことの意味や自分に合った仕事について考えたり調べたりしようとしている。	・進路学習 ・校外学習事前学習(11月)	・興味のある職業や福祉事業所を調べたり、高等部への進学意識を高める。
	3	(学・人) 集団行動や校外でのルールやマナーを身につけ、生活経験を広げることができる。	(主学) 集団行動や校外でのルールやマナーを身につけ、生活経験を広げようとしている。	・校外学習 ・校外学習事後学習(12月)	・施設の利用方法や買い物について確認し、お金の扱い等を練習する。
	3	(知及技) 写真の整理の仕方(時系列・テーマ別など)を学び、アルバム等にまとめる技術を身につけることができる。	(知及技) 写真の整理の仕方(時系列・テーマ別など)を学び、アルバム等にまとめる技術を身につけようとしている。	・3年間の写真振り返り活動(1月)	・思い出の写真を集めてICT等を活用し、アレンジする。
3 学期	3	(知及技) 卒業後の進学、就職について知り、理解する。	(知・技) 卒業後の進学、就職について知り、理解しようとしている。	・進路学習(2月)	・進学を意識し、自分が今できることを考えて行動する。入試に向けて、マナー等を練習する。
	3	(学・人) 1年間を振り返り、発表することができる。	(主学) 1年間を振り返り、発表しようとしている。	・1年間のまとめ	・楽しかったことや頑張りたいことを感想文にまとめて発表する。
留意点 引継ぎ等					